

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン イクトクガクエン 学校法人 幾徳学園							
フリガナ大学の名称	カナガワコウカダイガク 神奈川県厚木市下荻野1030番地							
大学の目的	本学は、教育基本法に則り、学校教育法の定める大学として広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究し、豊かな教養と円滑な人格を備えた有為な人材を育成して文化の発展と人類福祉の増進に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	現有の教育研究組織における進学需要や人材需要への対応として、最近の受験生の進学需要や企業等の人材需要の高い分野における養成規模の充実を図ることとし、入学選抜の機能が低下しない範囲での入学定員の変更を行う。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	工学部	年	人	年次人	人		年月 第1年次	神奈川県厚木市 下荻野1030番地
	機械工学科	4	120	—	480	学士（工学）	昭和50年4月 第1年次	
	電気電子情報工学科	4	78 (70)	—	312 (280)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	応用化学科	4	60	—	240	学士（工学）	昭和50年4月 第1年次	
	臨床工学科	4	40	—	160	学士（工学）	平成27年4月 第1年次	
	情報学部							
	情報工学科	4	155 (140)	—	620 (560)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	4	100 (95)	—	400 (380)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	情報メディア学科	4	165 (150)	—	660 (600)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	創造工学部							
	自動車システム開発工学科	4	55 (50)	—	220 (200)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	ロボット・メカトロニクス学科	4	50 (40)	—	200 (160)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次	
	ホームエレクトロニクス開発学科	4	40	—	160	学士（工学）	平成20年4月 第1年次	
	応用バイオ科学部							
応用バイオ科学科	4	125 (120)	—	500 (480)	学士（工学）	平成29年4月 第1年次		
栄養生命科学科	4	80	—	320	学士（栄養学）	平成22年4月 第1年次		
看護学部								
看護学科	4	80	—	320	学士（看護学）	平成27年4月 第1年次		
計		1,148 (1,085)		4,592 (4,340)				
同一設置者内における変更状況 （定員の移行、名称の変更等）	該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	—	単位	

教員	学部等の名称	専任教員等					助手	兼任 教員等	
		教授	准教授	講師	助教	計			
組	新 工学部 機械工学科	8 (8)	7 (7)	0 (0)	3 (3)	18 (18)	2 (2)	18 (18)	
	工学部□ 電気電子情報工学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	18 (18)	
	工学部□ 応用化学科	6 (6)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	27 (27)	
	工学部□ 臨床工学科	6 (6)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	6 (6)	
	情報学部 情報工学科	14 (14)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	20 (20)	1 (1)	3 (3)	
	情報学部 情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	8 (8)	4 (4)	1 (1)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	11 (11)	
	情報学部□ 情報メディア学科	9 (9)	9 (9)	0 (0)	4 (4)	22 (22)	0 (0)	9 (9)	
	創造工学部 自動車システム開発工学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	14 (14)	0 (0)	16 (16)	
	創造工学部□ ロボット・メカトロニクス学科	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	11 (11)	
	創造工学部□ ホームエレクトロニクス開発学科	4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	15 (15)	
	応用バイオ科学部 応用バイオ科学科	9 (9)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	16 (16)	0 (0)	34 (34)	
	応用バイオ科学部□ 栄養生命科学科	9 (9)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	13 (13)	5 (5)	16 (16)	
	看護学部 看護学科	8 (6)	6 (4)	6 (4)	4 (3)	24 (17)	10 (6)	79 (21)	
	の	計	102 (100)	58 (56)	7 (5)	23 (22)	190 (183)	18 (14)	- (-)
概	既設分	基礎・教養教育センター	16 (16)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	115 (115)
	工学教育研究推進機構	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
	情報教育研究センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	
	教育開発センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
	教職教育センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
	計	18 (18)	9 (9)	0 (0)	2 (2)	29 (29)	1 (1)	- (-)	
要	合計	120 (118)	67 (65)	7 (5)	25 (24)	219 (212)	19 (15)	- (-)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		47 (47)	46 (46)	93 (93)					
	技 術 職 員		0 (0)	15 (15)	15 (15)					
	図 書 館 専 門 職 員		0 (0)	14 (14)	14 (14)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	7 (7)	7 (7)					
	計		47 (47)	82 (82)	129 (129)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	89,659.42 m ²	0 m ²	0 m ²	89,659.42 m ²					
	運 動 場 用 地	38,015.93 m ²	0 m ²	0 m ²	38,015.93 m ²					
	小 計	125,685.09 m ²	0 m ²	0 m ²	125,685.09 m ²					
	そ の 他	6,828.40 m ²	0 m ²	0 m ²	6,828.40 m ²					
	合 計	134,503.75 m ²	0 m ²	0 m ²	134,503.75 m ²					
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	100,302.33 m ² (100,302.33 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	100,302.33 m ² (100,302.33 m ²)						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	77 室	34 室	94 室	14 室 (補助職員 3人)	1 室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	大学全体			213 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	236,526 [60,549] (236,526 [60,549])	7,209 [5,035] (7,209 [5,035])	6,826 [5,033] (6,826 [5,033])	6,933 (6,933)	18,612 (18,612)	89 (89)			
	計	236,526 [60,549] (236,526 [60,549])	7,209 [5,035] (7,209 [5,035])	6,826 [5,033] (6,826 [5,033])	6,933 (6,933)	18,612 (18,612)	89 (89)			
図 書 館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体			
	5,021.54 m ²	629席		232,000冊						
体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体			
	6,706.61 m ²	野球場1面、サッカー場1面、テニスコート4面								
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 (図書費には、 電子ジャーナル、 データベース、 その他の経費 (運用コスト を含む))	
	教員1人当り研究費等		209千円	209千円	209千円	209千円	— 千円	— 千円		
	共同研究費等		239,360千円	239,360千円	239,360千円	239,360千円	— 千円	— 千円		
	図 書 購 入 費	71,977千円	71,977千円	71,977千円	71,977千円	71,977千円	— 千円	— 千円		
	設 備 購 入 費	110,000千円	164,000千円	150,000千円	150,000千円	150,000千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,574千円	1,412千円	1,422千円	1,432千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	神奈川工科大学							定員超過率は暫定値 平成27年度入学定員減(△20人)	
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度		所 在 地
	工学部	年	人	年次 人	人		倍			
	機械工学科	4	120	—	520	学士(工学)	1.18	昭和50年度		神奈川県厚木市 下荻野1030番地
	電気電子情報工学科	4	70	—	280	学士(工学)	1.15	昭和50年度		
	応用化学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.22	昭和50年度		
臨床工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.13	平成27年度			

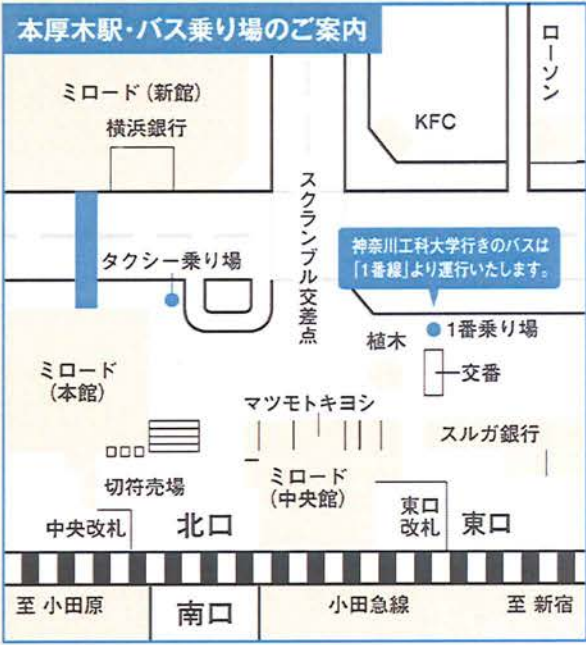
既設大学等の状況	大学の名称		神奈川工科大学						所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
	情報学部						1.18		
	情報工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.23	平成15年度	
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	4	95	—	390	学士(工学)	1.11	平成16年度	平成27年度入学定員減(△5人)
	情報メディア学科	4	150	—	640	学士(工学)	1.18	平成16年度	平成27年度入学定員減(△20人)
	創造工学部						1.18		
	自動車システム開発工学科	4	50	—	250	学士(工学)	1.11	平成20年度	平成27年度入学定員減(△25人)
	ロボット・メカトロニクス学科	4	40	—	240	学士(工学)	1.26	平成20年度	平成27年度入学定員減(△40人)
	ホームエレクトロニクス学科	4	40	—	180	学士(工学)	1.17	平成20年度	平成27年度入学定員減(△10人)
	応用バイオ科学部						1.13		
	応用バイオ科学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.19	平成20年度	
	栄養生命科学科	4	80	—	320	学士(栄養学)	1.01	平成22年度	
	看護学部						1.08		
	看護学科	4	80	—	160	学士(看護学)	1.08	平成27年度	
	工学研究科博士前期課程						0.95		神奈川県厚木市下荻野1030番地
	機械工学専攻	2	14	—	28	修士(工学)	0.75	平成元年度	
電気電子工学専攻	2	16	—	32	修士(工学)	0.68	平成元年度		
応用化学・バイオサイエンス専攻	2	16	—	32	修士(工学)	1.09	平成元年度		
機械システム工学専攻	2	14	—	28	修士(工学)	0.57	平成2年度		
情報工学専攻	2	18	—	36	修士(工学)	1.47	平成5年度		
ロボット・メカトロニクスシステム専攻	2	6	—	12	修士(工学)	1.16	平成22年度		
工学研究科博士後期課程						0.40			
機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成5年度		
電気電子工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.33	平成6年度		
応用化学・バイオサイエンス専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.33	平成5年度		
機械システム工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.50	平成5年度		
情報工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.83	平成8年度		
附属施設の概要	<p>①名称：情報教育研究センター 目的：教育、研究及び事務処理等の適正な管理運用に努める 所在地：神奈川県厚木市下荻野1030番地 設置年月：昭和58年3月 規模等：総面積1,748㎡ (教育用PC) ハードウェア 富士通社製パソコンFMV-ESPRIMO D550/B 347台</p> <p>②名称：工学教育研究推進機構 目的：研究・教育活動の支援及び先端学術の研究 所在地：神奈川県厚木市下荻野1030番地 設置年月：平成8年4月 規模等：総面積 3,267.9㎡ / 大型設備装置(ナノテクノロジー室等10室) 実験実習室(化学・物理)、研究開発プロジェクト、工作工場</p> <p>③名称：先進技術研究所 目的：先進技術による実用化を目的とする研究開発 所在地：神奈川県厚木市下荻野1030番地 設置年月：平成26年6月 規模等：総面積 1,038㎡ / 研究プロジェクト(3プロジェクト)</p>								

学校法人幾徳学園 収容定員変更認可等に関する組織の移行表

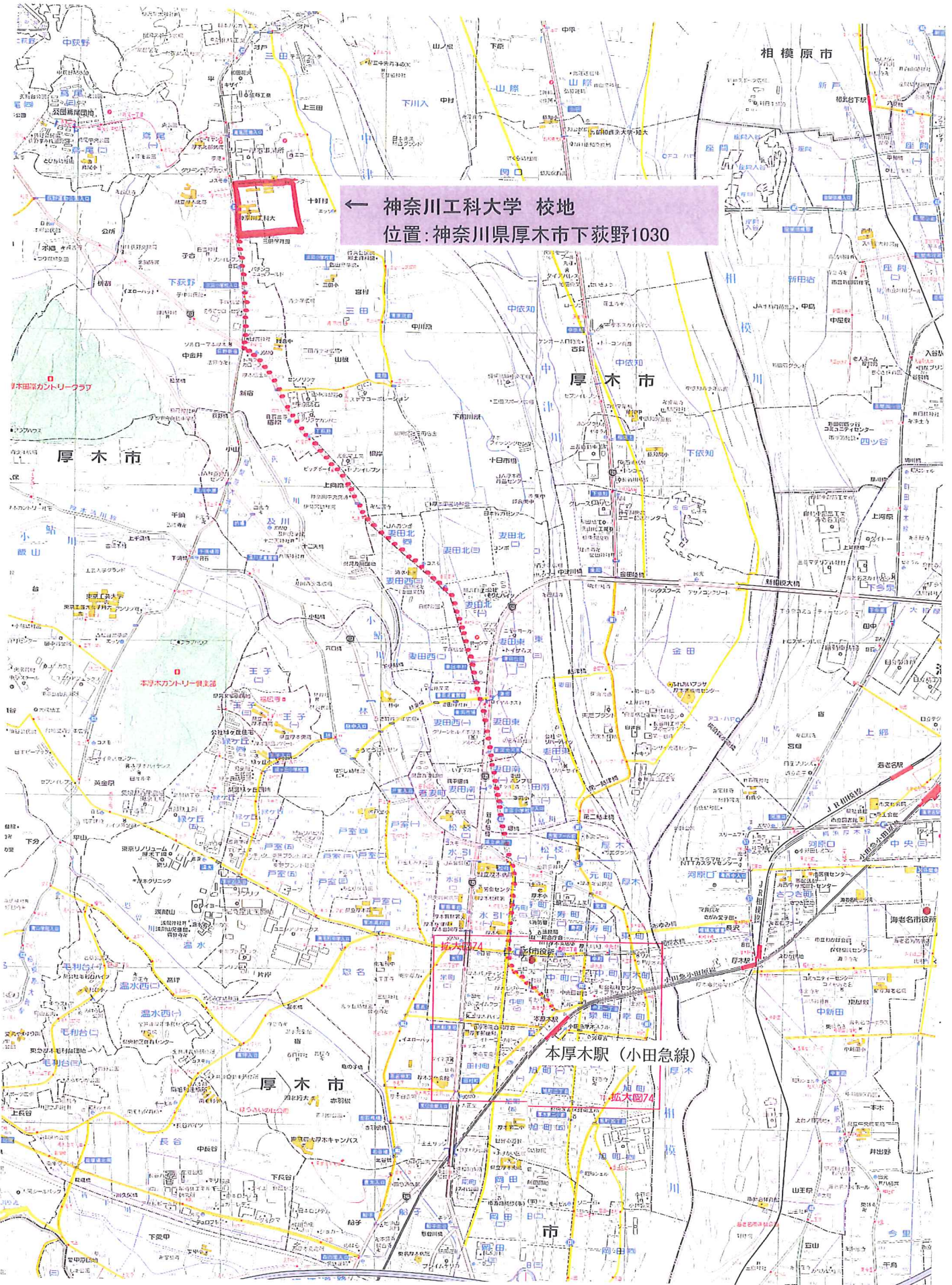
平成28年度	入学 定員	収容 定員		平成29年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
神奈川工科大学				神奈川工科大学			
工学部				工学部			
機械工学科	120	480		機械工学科	120	480	
電気電子情報工学科	70	280	⇒	電気電子情報工学科	78	312	定員変更(8)
応用化学科	60	240		応用化学科	60	240	
臨床工学科	40	160		臨床工学科	40	160	
情報学部				情報学部			
情報工学科	140	560	⇒	情報工学科	155	620	定員変更(15)
情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	95	380	⇒	情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	100	400	定員変更(5)
情報メディア学科	150	600	⇒	情報メディア学科	165	660	定員変更(15)
創造工学部				創造工学部			
自動車システム 開発工学科	50	200	⇒	自動車システム 開発工学科	55	220	定員変更(5)
ロボット・ メカトロニクス学科	40	160	⇒	ロボット・ メカトロニクス学科	50	200	定員変更(10)
ホームエレクトロニクス 開発学科	40	160		ホームエレクトロニクス 開発学科	40	160	
応用バイオ科学部				応用バイオ科学部			
応用バイオ科学科	120	480	⇒	応用バイオ科学科	125	500	定員変更(5)
栄養生命科学科	80	320		栄養生命科学科	80	320	
看護学部				看護学部			
看護学科	80	320		看護学科	80	320	
計		1,085	4,340	計		1,148	4,592
神奈川工科大学大学院				神奈川工科大学大学院			
工学研究科 博士前期課程				工学研究科 博士前期課程			
機械工学専攻	14	28		機械工学専攻	14	28	
電気電子工学専攻	16	32		電気電子工学専攻	16	32	
応用化学・ バイオサイエンス専攻	16	32		応用化学・ バイオサイエンス専攻	16	32	
機械システム工学専攻	14	28		機械システム工学専攻	14	28	
情報工学専攻	18	36		情報工学専攻	18	36	
ロボット・メカトロニクス システム専攻	6	12		ロボット・メカトロニクス システム専攻	6	12	
計		84	168	計		84	168
工学研究科 博士後期課程				工学研究科 博士後期課程			
機械工学専攻	2	6		機械工学専攻	2	6	
電気電子工学専攻	2	6		電気電子工学専攻	2	6	
応用化学・ バイオサイエンス専攻	2	6		応用化学・ バイオサイエンス専攻	2	6	
機械システム工学専攻	2	6		機械システム工学専攻	2	6	
情報工学専攻	2	6		情報工学専攻	2	6	
計		10	30	計		10	30

■神奈川県内における厚木市の位置

■最寄り駅からの交通機関



神奈川県厚木市 神奈川工科大学 校地位置関係図



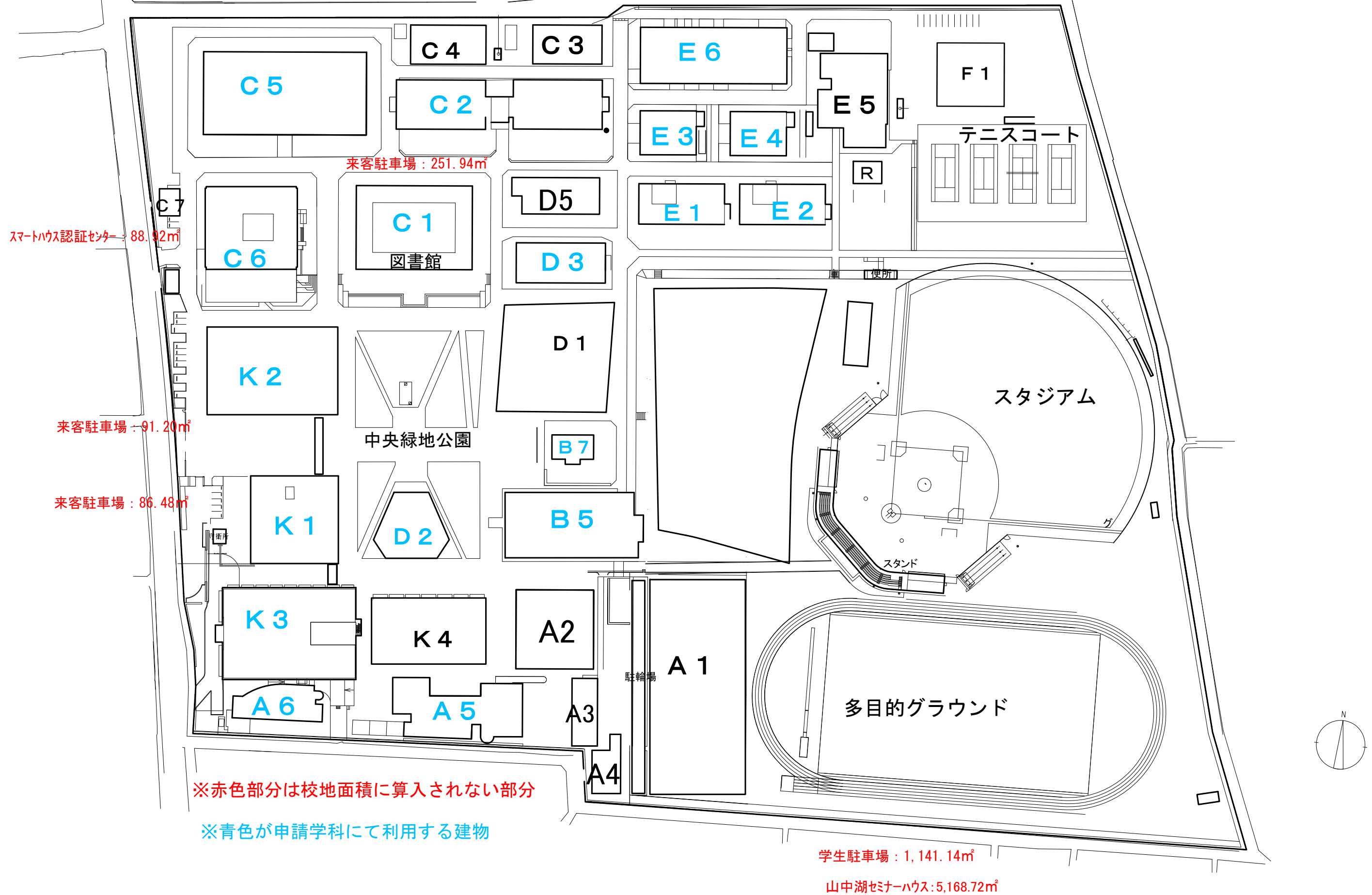
← 神奈川工科大学 校地
位置: 神奈川県厚木市下荻野1030

本厚木駅 (小田急線)

学校法人幾徳学園 神奈川工科大学 校舎配置図

校地面積：127,675.35㎡（校舎敷地+運動場敷地）

敷地合計：134,503.75㎡（校舎敷地：89,659.42㎡、運動場用地：38,015.93㎡、**その他敷地（駐車場、山中湖セミナーハウス等）：6,828.4㎡**）



※赤色部分は校地面積に算入されない部分

※青色が申請学科にて利用する建物

神奈川工科大学学則

(昭和50年4月1日制定)

第1章 総 則

(目 的)

第 1 条 本学は、教育基本法に則り、学校教育法の定める大学として広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究し、豊かな教養と円満な人格を備えた有為な人材を育成して文化の発展と人類福祉の増進に寄与することを目的とする。

(建学の理念)

第1条の2 本学は、広く勉学意欲旺盛な学生を集め、豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性に富んだ技術者を育てて科学技術立国に寄与するとともに、教育・研究を通じて地域社会との連携強化に努める。

(教育目的と目標)

第1条の3 本学は、教育の目的・目標を「別表A」に定め、これを公表するものとする。

(人材の養成及び教育研究上の目的)

第1条の4 本学は、学部、学科、課程ごとの人材の養成及び教育研究上の目的を「別表B」にそれぞれ定め、これを公表するものとする。

第1条の5 (自己評価等)

本学は、その教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うよう努めるものとする。

(学部・学科及び収容定員)

第 2 条 本学に次の学部及び学科を置き、その収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	120 名	480 名
	電気電子情報工学科	78 名	312 名
	応用化学科	60 名	240 名
	臨床工学科	40 名	160 名
情報学部	情報工学科	155 名	620 名
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	100 名	400 名
	情報メディア学科	165 名	660 名
創造工学部	自動車システム開発工学科	55 名	220 名
	ロボット・メトロニクス学科	50 名	200 名
	ホームエレクトロニクス開発学科	40 名	160 名
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	125 名	500 名
	栄養生命科学科	80 名	320 名
看護学部	看護学科	80 名	320 名
計		1,148 名	4,592 名

2. 前項の他に教職課程及び学芸員課程を置く。

(留学生別科)

第2条の2 本学に留学生別科を置く。

2. 留学生別科の課程及び収容定員は、次のとおりとする。

別科名	課程	入学定員	収容定員
留学生別科	日本語研修課程	40名	40名

3. 留学生別科に関する規程は、別に定める。

第2章 職員組織

(職員)

第3条 本学に次の職員を置く。

学長

教育職員（教授・准教授・講師・助教・助手及びその他の教員）

事務職員・技術職員等

2. 職員及びその職制に関する規則は別に定める。

(学長)

第4条 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2. 学長のもとに副学長を置くことができる。

3. 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(教育職員の職務)

第5条 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

2. 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

3. 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

4. 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

5. 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

(職員の事務分掌)

第6条 学長のもとに教学事項に関する事務を分掌するため、副学長、学部長、学科長、教務主任、学生部長、入学委員長、キャリア就職センター委員長、自己評価委員長、図書館長、情報教育研究センター所長、工業教育研究推進機構長、教育開発センター所長、基礎・教養教育センター所長、系列総会会長、国際センター所長及び教職教育センター所長を置く。

2. 学長のもとに一般事項に関する事務を分掌するため事務局を置く。

第3章 教授会及び大学協議会

(教授会)

第7条 大学に教授会を置く。

2. 教授会は、専任教授をもって組織する。
3. 教授会は、学長が招集し、その議長となる。
4. 教授会は、教授現在員の過半数が出席しなければ開催することができない。
5. 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
6. 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
7. 教授会の組織には、准教授その他の職員を加えることができる。

(大学協議会)

- 第7条の2 本学に大学協議会を置く。
2. 大学協議会に関する規定は、別に定める。

第4章 修業年限・学年・学期及び休日・休業日

(修業年限)

- 第8条 本学の修業年限は4年とする。

(在学期間)

- 第9条 本学学生の在学期間は、通算して8年を超えることはできない。

(学 年)

- 第10条 学年は4月1日より始まり3月31日に終わる。

(学 期)

- 第11条 学年を分けて、次の2学期とする。

(1)前期 4月1日から9月30日まで

(2)後期 10月1日から3月31日まで

2. 前項の規定にかかわらず、後期に属する授業科目は夏期休業終了後から始まる。

(休 日)

- 第12条 休日は次のとおりとする。

(1)日 曜 日

(2)国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3)創立記念日 5月7日

2. 前項に定めた休日は都合により授業日にする可能性がある。

(休 業 日)

- 第13条 休業日は次のとおりとする。

(1)春期休業 3月21日から 4月7日まで

(2)夏期休業 7月21日から 9月15日まで

(3)冬期休業 12月21日から翌年1月10日まで

2. 前項に定めた休業日は都合により多少移動することがある。
3. 臨時休業については、その都度学長が定めるものとする。

第5章 教育課程及び履修方法

(授業科目)

第 14 条 本学の授業科目の区分は、次に示す共通基盤教育、専門教育並びに教職及び学芸員に関する科目とする。

共通基盤教育：豊かな人間性と広い視野を養うとともに、総合的な判断力を養うための科目群。

専門教育：科学技術者としての基盤を培うための専門基礎導入科目、専門基礎科目並びにそれぞれの専門分野において有為な科学技術者を養成するための専門科目群。

(授業科目及び単位数)

第 15 条 授業科目の種類及び単位数は、別表第 1 から第 4 までのとおりとする。

(履修方法)

第 16 条 学生は、前条に定める授業科目及び別に定める「履修規程」に従い授業科目（以下「科目」という）を必修及び選択により履修しなければならない。

2. 履修しようとする科目については、科目担当教員の承認を受けなければならない。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第16条の2 学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2. 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条の3 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修（平成3年度文部省告示第68号）を、教授会が教育上有益と認めた場合は、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2. 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第16条の4 学生が入学前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2. 学生が入学前に行った前条第1項に規定する学修を、教授会が教育上有益と認めた場合は、本学における履修とみなし、単位を与えることができる。

3. 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。

(科目の単位)

第 17 条 各授業科目の単位数は、教授会において定めるものとする。

2. 授業科目の単位数の算定に当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、原則として次の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習、製図及び実技については、30時間から45時間までの範囲で必要と認められる時間の授業をもって1単位とする。
 - (4) 講義と演習を併用する科目については、講義10時間と演習10時間の授業をもって1単位とする。
 3. 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して単位数を定めることができる。

(1年間の授業期間)
- 第17条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。
- (修了認定の方法)
- 第18条 科目修了の認定は、平素の成績及び筆記試験又は論文等による。但し実験・実習・演習・製図・保健体育実技等は、平素の成績によって認定することができる。
- (修了認定の資格)
- 第19条 各科目について、出席すべき時間数の3分の2以上に達しない者は、その科目の修了認定を受ける資格が与えられないものとする。
- (修了認定の評価)
- 第20条 科目の成績は、秀・優・良・可・不可の5段階をもって表示し、不可は、未修了とする。
- (成績評価基準等の明示)
- 第20条の2 本学の授業科目は、授業の方法及び内容並びに1年間の授業計画をあらかじめ明示するものとする。
2. 成績評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切におこなうものとする。
- (教育職員の組織的研修等)
- 第20条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第6章 卒業及び学位授与

(卒業)

- 第21条 本学に4年以上在学し、別表第5に規定する卒業要件を充足した者には、卒業証書を授与する。
- (教員の免許状)
- 第22条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
2. 本学の学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、別表第

4の3に掲げるとおりとする。

(学位授与)

第 23 条 本学を卒業した者には、学科の分野により次の学位を授与する。

- (1) 学士 (工学)
- (2) 学士 (栄養学)
- (3) 学士 (看護学)

第7章 入学・転学・休学・復学・退学等

(入学の時期)

第 24 条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

(入学の資格)

第 25 条 本学の第1年次に入学できるものは、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程 (昭和26年文部省令第13号) により文部科学大臣の行なう大学入学資格検定に合格した者
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の許可)

第 26 条 入学志願者に対しては、学力試験の結果及び出身学校長から送付された調査書等を資料として選考し、入学を許可する。但し、必要に応じて面接試験を行うことがある。

(入学手続)

第 27 条 入学の許可を得た者は、指定の期限内に所定の様式による保証人連署の誓約書、出身高等学校の卒業証明書、その他必要書類及び所定の入学納付金を提出しなければならない。

2. 前項の手続を指定の期限内に行なわなかった者については、入学許可を取り消す。

(保証人)

第 28 条 保証人は、父母又は独立の生計を営む成年者で本人の身上に関する一切の責任を負い得る者でなければならない。

(学士入学)

第 29 条 本学を卒業し、さらに他の学科に入学を志願する者若しくは他の修学年限4年の大学を卒業し、さらに本学に入学を志願する者がいるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。

(再入学)

- 第 30 条 やむを得ない事由により、本学の学籍を離れた者で同一学科に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。
(編 入 学)
- 第 31 条 第 3 年次又は 2 年次においては欠員ある場合は大学 2 年次又は 1 年次終了者、短期大学卒業生、高等専門学校卒業生、専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び学校教育法施行規則第 92 条の 3 で認められた入学志願者について試験を行い編入学を許可することがある。
2. 編入学の時期は、学年始めとし、本人の既修の授業科目単位数についてはその一部又は全部を本学において認定し、今後履修すべき授業科目、単位数を決定する。
(転部・転科)
- 第 32 条 在学中に転部又は転科を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考の上、転部又は転科を許可することがある。
(休 学)
- 第 33 条 病気その他やむを得ない理由で休学しようとする者は、その理由を詳記した休学願を保証人連署の上提出し、許可を受けなければならない。なお、病気のときは、医師の診断書を添えなければならない。
2. 休学の期間は 1 年を超えることはできない。但し、特別の事情があるときは、その期間の延長を許可することがある。なお、その場合通算して 4 年以上にはならない。
3. 休学した期間は、これを在学期間に算入しない。
(復 学)
- 第 34 条 休学者はその理由が消滅したときは、その旨を保証人連署の上願い出で許可を受け、復学することができる。
(転 学)
- 第 35 条 在学者が他の大学に入学又は転学しようとするときは、あらかじめ許可を受けなければならない。但し、二重学籍については、これを認めない。
(退 学)
- 第 36 条 在学者が退学しようとするときは、その事由を詳記した願書を保証人連署の上願い出で、許可を受けなければならない。
(除 籍)
- 第 37 条 次の各号の一に該当する者は除籍する。
- (1) 在学期間が所定の年数を超える者
- (2) 納付金等を滞納し催告してもこれに応じない者

第 8 章 外国人留学生

(外国人留学生)

- 第 38 条 外国人で本学に留学を志願する者は、選考の上、入学を許可する。

第 9 章 研究生・科目等履修生・単位互換履修生・特別聴講学生

(研 究 生)

- 第 39 条 研究生は、本学教員の直接の助言指導を受け、特定の研究課題について研究する

ものとする。

2. 研究生として入学を志願できる者は次のとおりとする。
 - (1) 本学又は他の大学を卒業した者
 - (2) 大学卒業程度の学力があると認められた者
 3. 研究生として入学を志願する者は、研究しようとする事項を記載した入学願書に履歴書及び検定料を添えて願い出なければならない。また、入学願書には、指導教員の選定につき希望を記載するものとする。
 4. 研究生の在学期間は1年とする。但し、引続き在学を希望する者に対しては、さらに在学期間を延長することができる。
 5. 研究生は、指導教員及び科目担当教員の承認を得て講義、実験及び演習等に出席することができる。
 6. 研究生は、研究期間終了時に研究事項を記載した報告書を提出しなければならない。
(科目等履修生)
- 第 40 条 第25条に定める者で本学において特定の科目の履修を志願する者があるときは、一般の授業に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
2. 科目等履修生の入学時期は学期の始めとする。
 3. 科目等履修生で、履修科目の試験に合格した者に対しては、単位を与える。
(単位互換履修生・特別聴講学生)
- 第 41 条 他の大学又は短期大学との協定に基づき、本学において特定の科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、単位互換履修生又は特別聴講学生として入学を許可することがある。
(研究生等の規則)
- 第 42 条 特別の規定のない限り本学則の規程は、研究生、科目等履修生、単位互換履修生及び特別聴講学生にもこれを準用する。但し、第16条、第21条、第23条はこの限りでない。

第10章 入学検定料・学生納付金

(入学検定料・学生納付金)

- 第 43 条 入学検定料及び年間学生納付金の納入額は「別表第6」に定めるとおりとする。なお、研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の納付金は「別表第7」に定めるとおりとする。
2. 学生納付金等は、所定の期限までに、納入しなければならない。
 3. 学生納付金中授業料は、年額を2回に均等分割し納入するものとする。
但し、研究生、科目等履修生及び特別聴講学生は分納を認めない。
 4. 在学生に対しては、事情により授業料の全額又は一部免除を行うことがある。
 5. 転学、退学した者又は、その在学した期間に対応する学生納付金を納入しなければならない。
 6. 休学した場合、その休学期間中における学生納付金は、事由により該当期間中の納付金を減免することがある。

7. 既に納付した納付金は、別に定めがある場合を除き、これを返還しない。

第11章 賞 罰

(表彰)

- 第 44 条 在学生にして人物並びに学業優秀な者に対しては、これを表彰することがある。

(懲戒)

- 第 45 条 本学所定の規則に違反し、秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者は懲戒処分とする。

2. 懲戒は訓告、停学及び退学とする。

(懲戒による退学)

- 第 46 条 前条の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行うことができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- (2) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
- (3) 学業を怠り成業の見込みがないと認められた者
- (4) 正当の理由がなくて出席が常でない者

第12章 学生の指導と課程外教育

(生活指導)

- 第 47 条 在学生の個人並びに集団の生活指導と課程外の教育を重視し、そのための諸機関を置く。

(健康管理)

- 第 48 条 在学生の健康管理のために健康管理室を置く。

第13章 研 究 所

(研 究 所)

- 第 49 条 本学に必要な応じて研究所を置くことができる。

2. 研究所に関する規程は、別に定める。

第14章 公開講座及び講習会等

(公開講座等)

- 第 50 条 本学は、文化の向上、成人教育その他の目的のために公開講座・講習会等を開設することがある。

- 附 則 1. この学則の実施に関する必要な細則は、別に「履修規程」等に定める。

2. この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

3. この学則の改正は、昭和53年4月1日から施行する。

4. この学則の改正は、昭和54年4月1日から施行する。

5. この学則の改正は、昭和55年4月1日から施行する。

6. この学則の改正は、昭和56年4月1日から施行する。

7. この学則の改正は、昭和57年4月1日から施行する。

8. この学則の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

9. この学則の改正は、昭和59年4月1日から施行する。

10. この学則の改正は、昭和60年4月1日から施行する。

11. この学則の改正は、昭和61年4月1日から施行する。但し、第2条の規定にかかわらず昭和62年度から平成6年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	180名
	電気工学科	180名
	工業化学工学科	170名
	機械システム工学科	100名
	情報工学科	100名
計		730名

12. この学則の改正は、昭和62年4月1日から施行する。
 13. この学則の改正は、昭和63年4月1日から施行する。
 14. この学則の改正は、平成元年4月1日から施行する。
 15. 第2条及び附則11の定めにかかわらず、機械システム工学科及び情報工学科の入学定員については、平成2年度から平成10年度までの間次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械システム工学科	130名
	情報工学科	130名

- この学則の改正は、平成2年4月1日から施行する。
 16. この学則の改正は、平成3年4月1日から施行する。
 17. 第23条の改正は、平成4年3月1日から施行する。
 18. この学則の改正は、平成4年4月1日から施行する。
 19. この学則の改正は、平成5年4月1日から施行する。
 20. この学則の改正は、平成6年4月1日から施行する。
 21. 第2条及び附則11の定めにかかわらず、機械工学科、電気電子工学科及び工業化学工学科の入学定員については、引き続き平成7年度から平成11年度までの期間において次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	180名
	電気電子工学科	180名
	工業化学工学科	170名

- この学則の改正は、平成7年4月1日から施行する。
 ただし、神奈川工科大学工学部電気工学科の名称は、改正後の学則第2条、第22条第2項、別表第2、別表第3、別表第5及び附則21（入学定員に限る）の規定にかかわらず、平成7年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
 22. 附則21に定める工業化学工学科の学科名称は、平成8年度から応用化学科とする。
 23. この学則の改正は、平成8年4月1日から施行する。
 ただし、神奈川工科大学工学部工業化学工学科の名称は、改正後の学則第2条、第22条第2項、別表第2、別表第3、別表第5及び附則22の規定にかかわらず、平成8年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

24. 第2条及び附則15の定めにかかわらず、情報工学科の入学定員については、平成9年度から平成10年度までの間次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	情報工学科	190名

この学則の改正は、平成9年4月1日から施行する。

25. この学則の改正は、平成10年4月1日から施行する。
26. 第2条、附則11、附則15及び附則24の定めにかかわらず、機械システム工学科及び情報工学科の入学定員については、平成11年度に限り次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械システム工学科	130名
	情報工学科	190名

この学則の改正は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、神奈川工科大学工学部機械システム工学科の名称は、改正後の学則第2条、第22条第2項、別表第2、別表第3、及び別表第5の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

27. この学則の改正は、平成12年4月1日から施行する。
- ただし、第2条の規定にかかわらず、機械工学科、電気電子工学科、応用化学科、システムデザイン工学科、情報工学科の平成12年度の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	160名
	電気電子工学科	168名
	応用化学科	164名
	システムデザイン工学科	127名
	情報工学科	170名

28. この学則の改正は、平成13年4月1日から施行する。
- ただし、第2条の規定にかかわらず、機械工学科、電気電子工学科、応用化学科、システムデザイン工学科、情報工学科の平成13年度の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	160名
	電気電子工学科	166名
	応用化学科	163名
	システムデザイン工学科	124名
	情報工学科	215名

29. この学則の改正は、平成14年4月1日から施行する。
- ただし、第2条の規定にかかわらず、機械工学科、電気電子工学科、応用化学科、システムデザイン工学科の平成14年度の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	1 5 0名
	電気電子工学科	1 4 4名
	応用化学科	1 5 2名
	システムデザイン工学科	1 2 1名

30. この学則の改正は、平成15年4月1日から施行する。
 ただし、第2条の規定にかかわらず、機械工学科、電気電子工学科、応用化学科、システムデザイン工学科の平成15年度の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工 学 部	機械工学科	1 4 6名
	電気電子工学科	1 4 2名
	応用化学科	1 5 1名
	システムデザイン工学科	1 1 7名

なお、工学部情報工学科は、平成15年3月31日をもって廃止する。

また、平成15年3月31日に工学部情報工学科に在学し、平成15年4月1日に情報学部情報工学科に在学する者が、工学部情報工学科で修得した単位は、情報学部情報工学科で修得したものとみなす。

31. この学則の改正は、平成16年4月1日から施行する。
 なお、工学部情報ネットワーク工学科は、平成16年3月31日をもって廃止する。
 また、平成16年3月31日に工学部情報ネットワーク工学科に在学し、平成16年4月1日に情報学部情報ネットワーク工学科に在学する者が、工学部情報ネットワーク工学科で修得した単位は、情報学部情報ネットワーク工学科で修得したものとみなす。
32. この学則の改正は、平成17年4月1日から施行する。
33. この学則の改正は、平成18年4月1日から施行する。

なお、工学部システムデザイン工学科及び福祉システム工学科は、平成18年3月31日をもって廃止する。ただし、工学部電気電子工学科、システムデザイン工学科及び福祉システム工学科は、改正後の学則第2条、第22条第2項、別表第1、別表第2別表第3、及び別表第5の規定にかかわらず、平成18年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

34. この学則の改正は、平成19年4月1日から施行する。
35. この学則の改正は、平成20年4月1日から施行する。
 なお、工学部自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科及び応用バイオ科学科は、平成20年3月31日をもって廃止する。また、平成20年3月31日に工学部自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科及び応用バイオ科学科に在学し、平成20年4月1日に創造工学部自動車システム開発工学科及びロボット・メカトロニクス学科並びに応用バイオ科学部応用バイオ科学科に在学する者が、工学部自動車システム開発工学科で修得した単位は、創造工学部自動車システム開発工学科で修得したものとみなし、工学部ロボット・メカトロニクス学科で修得した単位は、創造工学部ロボット・メカトロニクス学科で修得したものとみなし、工学部応用バイオ科学科で修得した単位は、応用バイ

オ科学部応用バイオ科学科で修得したものとみなす。

36. この学則の改正は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
37. この学則の改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
38. この学則の改正は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
39. この学則の改正は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
40. この学則の改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
41. この学則の改正は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
42. この学則の改正は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
43. この学則の改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
44. この学則の改正は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

別表A「教育目的と教育目標」

『考え、行動する人材の育成』 —社会で活躍できる人づくり—

この教育目的を実現するために、以下の4項目を本学の教育目標とする。

- (1) 創造する力
- (2) 豊かな人間性
- (3) コミュニケーション能力
- (4) 基礎学力

別表B「学部、学科等の人材の養成及び教育研究上の目的」

【基礎・教養教育センター】

基礎科目、教養科目を通して、工学系、情報系、バイオ系の専門教育を学ぶための共通の基礎的な知識を身に付け、また、社会人として生きていくための教養をもち、自分で物事を考えていくことのできる能力を身に付けることを目的とする。

【教職課程】

社会や子どもの変化にともなう多様な教育ニーズに対応できる能力を養うとともに、個性豊かな創造性や新たな課題へ積極的に挑戦できる意欲と実践力を持つ教師の育成を目的とする。特に本学の特質を生かし、工学基礎学力をもとにした科学教育に貢献できる教師の育成を目指す。

【学芸員課程】

欧米では早くから学校教育や生涯教育の一環として、博物館を利用した教育が盛んに行われてきており、わが国においても近年この気運が特に高まってきている。博物館には人類の築いてきた文化遺産やその研究成果が、工芸品や古文書、標本といった主として「モノ」の形をとって所蔵・展示されているが、博物館の専門職として博物館法に定められた専門事項に加えて、科学や文化に深い理解と洞察を有する資質豊かな学芸員を育成することを目的とする。

【工学部】

「工学の基幹となるべき基礎的分野を十分に教授し、併せてグローバル化を志向する」ことを柱とし、さらに、人類の要望と、地球・地域環境の保全、エネルギー源の確保など、国際的な課題についてイノベーションが求められており、工学技術の新しい展開に関して基礎から応用へ向けて創造性を身に付けた人材を養成することを目的とする。

○機械工学科

豊かな教養と幅広い視野をもち、創造性豊かで探求心あふれる機械技術者を養成することを教育方針とする。また、技術者としての社会的責任と倫理観をもち、急変する地球環境の保全やグローバル化・高度化する工業製品の開発・設計・生産に貢献できる技術者を養成する。さらに、機械工学の基礎知識を十分に身につけ、これをもとに、生涯にわたって機械および機械システムを設計する能力を継続的に構築できる技術者を養成することを目的とする。

○電気電子情報工学科

基礎学力の修得を重視し、体験型授業によりコミュニケーション能力、問題解決（デザイン）能力、情報活用力を養い、社会的要請に応えられる能力を備えた技術者を養成する。特に、学生の個性を生かした有為な技術者を養成することを目的とする。

○応用化学科

応用化学は多岐にわたる産業基盤技術の礎であり、なおかつ学際、専門領域の基礎となる学問である。そのため、応用化学諸分野（生物化学、医薬有機合成、環境化学、エネルギー化学）で必須となる基礎知識の習熟と応用力を養成し、さらに社会の要請に沿った柔軟な発想力と優れたコミュニケーション能力を有する科学技術者を養成することを目的とする。

○臨床工学科

臨床工学に関する専門的知識と実践的技術を有し、医療機器の安全性確保と有効性維持に貢献するとともに、チーム医療の中で臨床工学技士の役割を果たしていくことができる人材を養成する。また、医療機器関係を扱う技術者として必要となる工学や医学の基本的な知識と高度化する医療技術や医療機器に関する専門知識と技術を身に付け、医療機器を研究開発するための基礎的素養を養成することを目的とする。

【情報学部】

数理学および自然科学的素養に加えて、情報システム、ネットワーク応用システム、メディアコンテンツなどの開発に深く係わる社会科学的素養も十分身に付けた新しいタイプのエンジニアを養成するとともに、幅広い視野と実践力を持つ情報技術（IT）分野の総合エンジニア、すなわち「理系のスキルと文系のセンスを兼ね備えたITのプロフェッショナル」を養成することを目的とする。

○情報工学科

情報工学は電気、制御、数理などの工学分野と密接な関係を持ち、さらに、生命科学、社会科学、人文科学、経営科学をも基盤とする。また、極めて広範囲の応用分野を持つ特性を踏まえ、各種のシステム・ソフトウェア技術を機軸とする高度な専門性ととも、多方面の専門家と協調しつつ問題解決を図るコミュニケーション力と、深い教養と幅広い視野を身につけた創造性豊かな情報技術者を養成することを目的とする。

○情報ネットワーク・コミュニケーション学科

インターネットや携帯電話を初めとする日常生活の重要な社会基盤である情報ネットワークのさらなる高度化を実現する担い手として、情報処理基礎技術とネットワーク技術およびその応用技術の全てに精通した、新しい情報ネットワーク技術者を養成することを目的とする。

○情報メディア学科

豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性豊かで探究心あふれる情報メディア技術者やコンテンツ制作者を養成することを教育方針とする。また、社会人者としての社会的責任と倫理観を持ち、拡大する情報メディアとそれを利用するアプリケーションやコンテンツを生涯にわたって開発し、創作できる人材を養成することを目的とする。

【創造工学部】

人にも環境にも優しい社会の創出を目指し、裾野の広い業界を有し、かつ技術の発展とともにたえず先進性を追求している分野を取り扱い、「ものづくり」に強い人材を育成することを教育方針とする。具体的には、工学と情報をベースに、ものづくりデザイン教育を柱として（学部共通科目として位置づけている）、創造性、発案力、企画力、分析力、展開力を修得し、問題発見解決型の素養を身につけた人材を養成することを目的とする。

○自動車システム開発工学科

基礎となる工学技術を統合し、それらを自動車に代表される製品開発に応用できる技術者を養成する。つまり、製品開発の源流（市場調査や企画）を含め、製品の仕様決定、概念設計、詳細設計、実験、製造等の一連の過程を担え、自らの手で情報を入力し、適切に判断できる技術者を育成する。とりわけ、自動車におけるインテリジェント化、環境、安全性、快適性に対する理解を深め、これからの自動車産業を支える技術者を養成することを目的とする。

○ロボット・メカトロニクス学科

確かな技術力と幅広い視野を身につけ、自ら問題を発見して解決できる能力を有する高度な技術者を育成することを目的とする。具体的には、人々の生活を豊かにする次世代の“ロボット”や“生活支援機器”を開発する技術者を育てる。そのため、機械工学、電気電子工学、情報工学などのロボット・メカトロニクスの要素技術に加え、人と関わり合う“次世代ロボット”に必要な人間工学やプロダクトデザインの知識も学ぶ。さらに、システムインテグレーションの代表であるロボットやマイクロコンピュータを利用した組み込み機器などをテーマにした創造教育により、修得した知識を実際のものづくりに活かせる確かな技術者を養成する。

○ホームエレクトロニクス開発学科

人間と社会との関わりを理解した上で、社会に貢献できるものづくり技術者を養成することを目的とする。具体的には、電気電子工学の基礎やICT技術を修得し、家庭でのエネルギー管理や家電製品の機能と構成技術の理解を深め、製品開発などをテーマとしたプロジェクト学習やデザイン教育を通して修得した課題解決力や企画提案力を備えた技術者を養成する。

【応用バイオ科学部】

生命科学は、「バイオテクノロジー」に基盤を置いた「細胞、DNA、微生物など」のミクロな分野から、エンジニアも含む「食糧生産、エネルギー生産、医薬品生産、環境保全など」で展開されるマクロな分野までの幅広い領域を包括する学問である。本学部では「生命科学」をはじめ、生命科学に関連する「健康科学」や「栄養科学」を含む幅広い基礎知識と高い実践力に加え、生命科学や栄養学などに関する基礎的な素養を持ち、豊かな創造性とチャレンジ精神を身に付けたバイオ技術者・バイオ支援技術者や科学的センスに富んだ管理栄養士を養成することを目的とする。

○応用バイオ科学科

生命科学を生活に役立てるための基本的な知識を持ち、さらに最新の生命科学技術を学ぶことにより、地域社会はもとより、地球社会に貢献でき、国際性豊かに活躍できるバイオ技術者、バイオ支援技術者を養成することを目的とする。

○栄養生命科学科

健康な社会を目指すとともに、環境を大切にし、人間としての優しさ、豊かさ、思いやりをもてる人材の育成を目指す。そして、「生命科学」「健康科学」および「栄養科学」を学修することにより、健康・保健教育・指導や栄養教育・指導の実践を担える科学的センスに富んだ管理栄養士並びに食品衛生管理者、食品衛生監視員、栄養教諭を養成することを目的とする。

【看護学部】

豊かな人間性の形成により、生命の尊厳を基調とした倫理観を身につけ、看護技術に関する専門の技能を有して、看護技術の革新の推進やそれを役立たせることを職業とし、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献することができる看護師を養成することを目的とする。

○看護学科

看護学分野に関する基礎的な知識及び基本的な技術と実践能力を有したうえで、看護師として生涯成長し続けるための基盤となる資質と能力を有すると共に、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

別表第1 (2017年度入学生)

外国語系科目

(△自由、一配当なし)

授業科目	必選別																		単位数	標準年次		
	工学部									情報学部			創造工学部			応用バイオ科学部					看護学部	特別専攻
	MS	MJ	MF	EA	EB	EC	CA	CJ	A	I	N	D	V	RS	H	B	L	U				
ドイツ語	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	2	
フランス語	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	2	
中国語	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	2	
海外研修英語	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	1・2・3・4	
海外異文化研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	1・2・3・4	
合計																			10			

(注) 1. 卒業要件上、任意として集計される。

留学生科目

(○選択、一配当なし)

授業科目	必選別																		単位数	標準年次		
	工学部									情報学部			創造工学部			応用バイオ科学部					看護学部	特別専攻
	MS	MJ	MF	EA	EB	EC	CA	CJ	A	I	N	D	V	RS	H	B	L	U				
言語と文化Ⅰ	○	—	○	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	2	
言語と文化Ⅱ	○	—	○	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	2	
自己表現法Ⅰ	○	—	○	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	3	
自己表現法Ⅱ	○	—	○	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	3	
日本語・日本事情Ⅰ	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	1	
日本語・日本事情Ⅱ	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	2	1	
合計																			12			

(注) 1. 留学生以外の履修は、認めない。

2. 人文社会系、英語基礎系および言語応用系の一部科目に読み替えることがある。

3. 但しC Jコース生に読み替えはしない。

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

工学部 機械工学科

S:クリエイティブエンジニアコース J:グローバルエンジニアコース F:航空宇宙学専攻

T:機械工学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次
		S	J	F	T		
専門基礎導入	a群 微分積分学I-c	□	□	□	-	3	1
	微分積分学I-d	□	□	□	-	3	1
	解析学I	-	-	-	◎	3	1
	b群 基礎数学	□	-	-	-	2	1
	微分積分学II-c	□	□	□	-	3	1・2
	微分積分学II-d	□	□	□	◎	3	1・2
	c群 線形代数学I-a	□	□	□	-	2	1
	線形代数学I-b	□	□	□	◎	2	1
	d群 線形代数学II-a	□	□	□	-	2	1
	線形代数学II-b	□	□	□	◎	2	1
	機械系数学	○	◎	◎	◎	2	2
	ベクトル解析	○	○	○	○	2	2
	フーリエ解析	○	○	○	○	2	2
	確率統計	○	◎	◎	-	2	2
	確率統計S	-	-	-	◎	2	2
	関数論I	○	○	○	-	2	2
	関数論II	○	○	○	-	2	2
	物理・化学ユニットプログラム	◎	◎	◎	-	3	1
	物理・化学ユニットプログラムS	-	-	-	◎	3	1
	e群 基礎力学I-a	■	-	■	-	2	1
	基礎力学I-c	□	□	□	-	3	1
	基礎力学I-d	□	□	□	-	3	1
	物理学A	-	-	-	◎	3	1
	f群 基礎力学II-a	■	-	■	-	2	2
	基礎力学II-c	□	□	□	-	3	1
	基礎力学II-d	□	□	□	-	3	1
	物理学B	-	-	-	◎	3	1
	g群 基礎電磁気学I-a	□	□	□	-	2	1
	基礎電磁気学I-b	□	□	□	-	2	1
	物理学C	-	-	-	◎	2	2
h群 基礎電磁気学II-a	□	□	□	-	2	2	
基礎電磁気学II-b	□	□	□	-	2	2	
物理学D	-	-	-	◎	2	2	
振動と波動	○	○	-	○	2	2	
熱・統計物理学	○	○	-	○	2	3	
量子物理	○	○	-	○	2	3	
基礎化学I-a	○	○	○	-	2	1	
基礎化学II-a	○	○	-	-	2	1	
化学A	-	-	-	○	2	1	
化学B	-	-	-	○	2	1	
基礎生物学	○	○	-	-	2	2	
生物学概論I	○	○	-	-	2	1	
生物学概論II	○	○	-	-	2	1	
ライフサイエンスI	-	-	-	○	2	1	
ライフサイエンスII	-	-	-	○	2	1	
地学概論I	○	○	-	○	2	2	
地学概論II	○	○	-	○	2	2	
材料力学I	◎	◎	◎	◎	2	1	
a群 材料力学II	□	-	-	-	2	2	
材料力学IIJ	□	◎	◎	◎	2	2	
生産加工学	◎	◎	◎	◎	2	2	
b群 流れ学I	□	-	-	-	2	2	
流れ学IJ	□	◎	◎	◎	2	2	
c群 流れ学II	□	-	-	-	2	2	
流れ学IIJ	□	◎	◎	◎	2	2	
d群 熱力学I	□	-	-	-	2	2	
熱力学IJ	□	◎	◎	◎	2	2	
e群 熱力学II	□	-	-	-	2	2	
熱力学IIJ	□	◎	◎	◎	2	2	
機械力学入門	◎	◎	◎	◎	2	2	
f群 機械力学I	□	-	-	-	2	2	
機械力学IJ	□	◎	◎	◎	2	2	
応用力学	○	-	-	-	2	2	
応用力学J	-	◎	-	◎	2	2	
機械工学特別演習I	-	-	-	◎	1	1	
機械工学特別演習II	-	-	-	◎	1	1	
機械工学特別演習III	-	-	-	◎	1	2	
機械工学特別演習IV	-	-	-	◎	1	2	

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

工学部 機械工学科

S:クリエイティブエンジニアコース J:グローバルエンジニアコース F:航空宇宙学専攻

T:機械工学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、一配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		S	J	F	T			
専門	プログラミング基礎	○	○	○	—	2	1	
	実践プログラミング	○	○	○	—	2	2	
	数値シミュレーション	○	○	○	—	2	3	
	機械及び電気工学実験	◎	◎	◎	◎	2	2	
	機械工学特別講義	○	○	—	—	1	3	
	航空宇宙学特別講義	—	—	◎	◎	1	3	
	輪講	○	○	○	○	2	4	
	材料力学Ⅲ	○	◎	◎	◎	2	2	
	材料工学	○	◎	◎	◎	2	2	
	流体力学	○	○	○	○	2	3	
	応用熱力学	○	○	○	○	2	3	
	伝熱工学	○	◎	◎	◎	2	3	
	機械力学Ⅱ	○	○	—	—	2	3	
	機械力学ⅡJ	—	◎	◎	◎	2	3	
	制御工学	○	◎	◎	—	2	3	
	ロボット工学	○	○	—	—	2	4	
	自動車工学	○	○	—	—	2	3	
	航空宇宙工学	○	○	○	○	2	3	
	航空宇宙	飛行力学入門	—	—	◎	◎	2	2
		飛行力学	—	—	○	○	2	3
		航空宇宙工学概論	—	—	○	○	2	1
		航空無線工学(認定)	—	—	○	○	2	2
		航空宇宙機構造力学	—	—	◎	◎	2	3
		高速空気力学	○	○	○	○	2	4
		航空宇宙推進工学	—	—	○	○	2	3
		宇宙機システム工学	—	—	○	○	2	3
		航空宇宙通信システム	—	—	○	○	2	4
		飛行制御概論	—	—	○	○	2	2
	航空法概論	—	—	○	○	2	2	
	航空宇宙海外留学関連	留学英語Ⅰ	○	○	○	—	3	1
		留学英語Ⅱ	○	○	○	—	3	1
		留学英語Ⅲ	○	○	○	—	1	2
		留学英語Ⅳ	○	○	○	—	2	2
		Aviation Fundamental and English	—	—	○	—	3	2
		海外航空宇宙学研修A	—	—	○	—	2	3
		海外航空宇宙学研修B	—	—	○	—	2	3
	海外航空宇宙学研修C	—	—	○	—	2	3	
	海外航空宇宙学研修D	—	—	○	—	2	3	
	設計開発およびプロジェクト	機械設計法Ⅰ	◎	◎	◎	◎	2	2
		機械設計法Ⅱ	◎	◎	◎	◎	2	2
		機械製図基礎	◎	◎	◎	◎	1	2
		創造実験	—	○	○	—	2	3
		海外機械工学研修Ⅰ	○	○	○	—	2	1・2・3
		機械製図ユニット	◎	◎	◎	◎	2	2
		創造設計ユニットⅠ	◎	—	—	—	4	3
		機械設計製図ユニット	—	◎	—	□	2	3
		航空機設計	—	—	◎	—	2	3
		機械工学プロジェクトⅠ	◎	◎	—	□	2	1
		機械工学プロジェクトⅡ	◎	◎	—	□	2	1
		航空宇宙実験プロジェクト	—	—	◎	—	4	1
		航空宇宙プロジェクト	—	—	○	—	2	3
		創造設計ユニットⅡ	□	—	—	—	4	3
		機械応用実験	—	□	□	○	2	3
		海外機械工学研修Ⅱ	□	□	□	□	4	3
		海外機械工学特別専攻留学	—	—	—	□	2	3
	1年生機械工学特別専攻ゼミⅠ	—	—	—	◎	1	1	
	1年生機械工学特別専攻ゼミⅡ	—	—	—	◎	1	1	
	2年生機械工学特別専攻ゼミⅠ	—	—	—	◎	1	2	
	2年生機械工学特別専攻ゼミⅡ	—	—	—	◎	1	2	
	卒業研究Ⅰ	—	○	○	○	3	3	
	卒業研究Ⅱ	◎	◎	◎	◎	6	4	
	(Stop the CO ₂ プログラム)							
		Stop the CO ₂ 入門	○	—	—	—	2	1
		Stop the CO ₂ とライフデザイン	○	—	—	—	2	1
		Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ	○	—	—	—	1	1
		Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ	○	—	—	—	2	2
		Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ	○	○	—	—	2	3
		Stop the CO ₂ 最前線	○	○	—	—	2	3
		環境と新エネルギー	○	○	—	—	2	3
		新素材と省エネ技術	○	○	—	—	2	3
合計						S:188 J:171 F:182 T:154		
(教職関連)								
工業概論	教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。							
職業指導Ⅰ								
職業指導Ⅱ								
木材加工概論								
金属加工概論								
機械概論								
電気概論								
栽培概論								
情報とコンピュータ概論								
幾何学								
代数学								
統計学								

*1:春・夏休みに集中講義(1日4時間、週5日、2週)で行われる。尚、留学英語Ⅰ修得者は基盤教育科目の英語Ⅰ、ⅡおよびⅢを受講免除とする【CAP外科目】

*2:春・夏休みに集中講義(1日4時間、週5日、2週)で行われる。尚、留学英語Ⅱ修得者は基盤教育科目の英語Ⅳ、ⅤおよびⅥを受講免除とする【CAP外科目】

*3:Aviation Fundamental and English修得者は基盤教育科目の科学技術英語ⅠおよびⅡを受講免除とする

*4:Sコースは創造設計ユニットⅡと海外機械工学研修Ⅱの選択必修であり、Jコースは機械応用実験と海外機械工学研修Ⅱの選択必修である。

*5:協定により受講可能なレギュラーコース科目に関しては、SSCCでの単位取得により自由科目としての単位認定を原則とする。ただし、単位取得した科目の内容と、SSCCにおける他科目の履修状況により認定できない場合もある。

(注) 1. 他コースの選択科目を履修する場合は、自由科目として履修できる。

2. 「海外機械工学研修」および「インターンシップ」は春季または夏季休業期間中に実施する。

3. ■(選択必修科目)は、履修制限科目(同群の再履修者専用科目)である。

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

工学部 電気電子情報工学科

A:実践的エンジニアコース B:グローバルエンジニアコース

C:電気工事・施工管理エキスパートコース T:環境エネルギー特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-該当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門基礎導入	電気電子数学	◎	◎	◎	○	3	1	
	a群							
	微分積分学I-c	□	□	□	-	3	1	
	微分積分学I-d	□	□	□	-	3	1	
	b群	微分積分学II-c	□	□	□	-	3	2
		微分積分学II-d	□	□	□	-	3	2
		線形代数学I-a	□	□	□	-	2	1
		線形代数学I-b	□	□	□	-	2	1
		線形代数学II-a	□	□	□	-	2	2
		線形代数学II-b	□	□	□	-	2	2
	c群	基礎数学	□	-	□	-	2	1
		ベクトル解析	○	□	○	○	2	2
		フーリエ解析	○	□	○	○	2	2
		解析学I	-	-	-	◎	3	1
		解析学II	-	-	-	○	2	1
		微分方程式	-	-	-	○	3	2
		線形代数学	-	-	-	◎	3	1
		確率統計	○	○	○	-	2	2
		確率統計S	-	-	-	○	2	1
		関数論I	○	○	○	-	2	2
		関数論II	○	○	○	-	2	2
		物理・化学ユニットプログラム	◎	◎	◎	-	3	2
		物理・化学ユニットプログラムS	-	-	-	◎	3	2
	d群	基礎力学I-a	■	-	■	-	2	1
		基礎力学I-b	□	□	□	-	2	1
		基礎力学I-d	□	□	□	-	3	1
		基礎力学II-a	●	-	●	-	2	2
		基礎力学II-b	○	○	○	-	2	1
		基礎力学II-d	○	○	○	-	3	1
		物理学A	-	-	-	◎	3	1
		物理学B	-	-	-	◎	3	1
		振動と波動	○	○	○	○	2	2
		基礎化学I-a	○	○	○	-	2	1
	基礎化学II-a	○	○	○	-	2	1	
	化学A	-	-	-	○	2	1	
	化学B	-	-	-	○	2	1	
		生物学概論I	○	○	○	-	2	2
		生物学概論II	○	○	○	-	2	2
		ライフサイエンスI	-	-	-	○	2	1
		ライフサイエンスII	-	-	-	○	2	1
	専門基礎	基礎電気回路I	◎	◎	◎	-	3	1
		基礎電気回路II	◎	◎	◎	-	3	1・2
基礎電子回路		◎	◎	◎	-	3	2	
a群								
電気磁気学I		□	-	□	-	3	2	
電気磁気学I-EB		□	◎	□	◎	3	2	
b群								
電気磁気学II		□	-	□	-	3	2	
電気磁気学II-EB		□	◎	□	◎	3	2	
電気電子入門講座(認定)		○	◎	○	○	2	1	
電気電子ユニット入門		○	○	○	-	2	1	
c群		プログラミング入門	○	□	○	○	2	1
		回路解析I	○	□	○	◎	3	2
		回路解析II	○	□	○	◎	3	2
		アナログ電子回路	○	□	○	-	2	2
		論理回路	○	□	○	-	2	2
		電気電子計測	○	□	○	○	2	2
C言語		○	◎	○	○	2	2	
電気回路I		-	-	-	◎	2	1	
電気回路II		-	-	-	◎	2	1	
電子回路I		-	-	-	◎	2	1	
電子回路II		-	-	-	◎	2	2	
電子回路III	-	-	-	◎	2	2		
(ユニットプログラム)								
	電気電子基礎ユニット	◎	◎	◎	◎	3	1	
	電気電子応用ユニット	◎	◎	◎	◎	4	2	

別表第2 専門教育（2017年度入学生）

工学部 電気電子情報工学科

A：実践的エンジニアコース B：グローバルエンジニアコース

C：電気工事・施工管理エキスパートコース T：環境エネルギー特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次
		A	B	C	T		
専門	a群 環境・エネルギー*	○	□	○	-	2	2
	電気機器学	○	□	○	○	2	3
	制御工学	○	□	○	○	2	3
	b群 半導体工学	○	□	○	○	2	2
	電気電子材料	○	□	○	○	2	3
	電子デバイス	○	□	○	○	2	3
	c群 電子通信工学	○	□	○	○	2	2
	コンピュータ工学	○	□	○	○	2	3
	電磁波とその応用	○	□	○	○	2	3
	エネルギーと電力システム制御*	○	○	○	○	2	3
	電力システム工学	○	○	○	○	2	3
	電気法規及び施設管理	○	○	○	○	2	3
	パワーエレクトロニクス	○	○	○	○	2	3
	プラズマ工学	○	○	○	○	2	3
	光エレクトロニクス	○	○	○	○	2	3
	モバイル・ユビキタス	○	○	○	○	2	3
	デジタル通信とネットワーク	○	○	○	○	2	3
	マイコン回路設計講座	○	○	○	○	2	1・2・3・4
	基礎LSI設計講座	○	○	○	○	2	1・2・3・4
	電気情報技術者(検定)Ⅰ	○	-	○	○	2	1・2・3・4
	電気情報技術者(検定)Ⅱ	○	-	○	○	2	1・2・3・4
	環境とエレクトロニクス	-	-	-	□	2	2
	エネルギーマネジメントシステム	-	-	-	□	2	3
	環境と再生可能エネルギー	-	-	-	□	2	3
	電気工事士講座(検定)Ⅰ	○	-	○	-	2	1・2・3・4
	電気工事士講座(検定)Ⅱ	○	-	◎	-	2	1・2・3・4
	電気電子設計製図	○	◎	◎	○	2	3
(ユニットプログラム)							
電気電子専門ユニット	◎	◎	◎	◎	4	3	
d群 電気電子発展ユニット	□	-	□	-	2	3	
電気電子設計及び特別研究ユニット	□	◎	□	◎	3	3	
1年生特別専攻ゼミⅠ	-	-	-	◎	1	1	
1年生特別専攻ゼミⅡ	-	-	-	◎	1	1	
2年生特別専攻ゼミⅠ	-	-	-	◎	1	2	
2年生特別専攻ゼミⅡ	-	-	-	◎	1	2	
特別専攻海外研修	-	-	-	◎	2	3	
電気電子工学ゼミ	◎	◎	◎	◎	2	4	
卒業研究	◎	◎	◎	◎	6	4	
合計					A:175 B:153 C:175 T:144		
(Stop the CO ₂ プログラム)							
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。					
Stop the CO ₂ とライフデザイン							
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ							
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ							
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ							
Stop the CO ₂ 最前線							
新素材と省エネ技術 (教職関連)							
工業概論		教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。					
職業指導Ⅰ							
職業指導Ⅱ							
木材加工概論							
金属加工概論							
機械概論							
電気概論							
栽培概論							
情報とコンピュータ概論							
幾何学							
代数学							
統計学							

*: Stop the CO₂関連科目

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

工学部 応用化学科

A: 化学応用コース J: 総合化学エンジニアコース T: 医生命科学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別			単位数	標準年次	
		A	J	T			
専門基礎導入	化学系数学	◎	◎	○	3	1	
	a群	線形代数学	-	-	○	3	1
		線形代数学I-a	○	□	-	2	1
		線形代数学II-a	○	□	-	2	2
	解析学I	-	-	◎	3	1	
	解析学II	-	-	○	2	1	
	微分方程式	-	-	○	3	2	
	確率統計	○	○	-	2	2	
	確率統計S	-	-	◎	2	1	
	b群	基礎力学I-a	□	□	-	2	1
		基礎力学I-d	□	□	-	3	1
	c群	基礎力学II-a	○	□	-	2	1
		基礎力学II-d	○	□	-	3	1
	d群	基礎電磁気学I-a	□	□	-	2	2
		基礎電磁気学I-b	□	□	-	2	2
	e群	基礎電磁気学II-a	○	□	-	2	2
		基礎電磁気学II-b	○	□	-	2	2
	物理学A	-	-	◎	3	1	
	物理学B	-	-	○	3	1	
	物理学C	-	-	○	2	2	
	物理学D	-	-	○	2	2	
	物理・化学ユニットプログラム	○	◎	-	3	3	
	物理・化学ユニットプログラムS	-	-	◎	3	3	
	f群	基礎化学I-b	□	□	-	2	1
		基礎化学I-d	□	□	-	3	1
	基礎化学II-b	○	○	-	2	1	
	基礎化学II-d	○	○	-	3	1	
	化学A	-	-	◎	2	1	
	化学B	-	-	◎	2	1	
	基礎生物学	○	○	-	2	2	
	生物学概論I	○	○	-	2	1・2	
	生物学概論II	○	○	-	2	1・2	
	地学概論I	○	○	-	2	2	
地学概論II	○	○	-	2	2		
ライフサイエンスI	-	-	◎	2	1		
ライフサイエンスII	-	-	◎	2	1		
専門基礎	生命と物質, エネルギー	◎	◎	◎	1	1	
	生活と環境の化学	◎	◎	◎	1	1	
	化学基礎演習	◎	◎	○	1	1	
	コンピュータ技術の応用	○	◎	○	2	3	
	分析化学	◎	◎	◎	2	1	
	環境化学実験	◎	◎	◎	2	1	
	化学技術と分離操作	○	◎	○	2	3	
	流体とエネルギー	○	◎	○	2	3	
	応用化学概論	◎	◎	◎	2	2	
	実験デザイン基礎編	◎	◎	◎	1	1	
	実験デザイン応用編	◎	◎	◎	1	2	
	医科学概論	-	-	◎	2	1	
	専門基礎	a群	地球と生命の元素	□	-	-	2
非金属元素の化学			□	◎	◎	2	1
b群		身の回りの金属元素	□	-	-	2	2
		金属元素の化学	□	◎	◎	2	2
c群		有機医薬品化学入門	□	-	-	2	1
		基礎有機化学	□	◎	◎	2	1
d群		医薬品の効果と反応	□	-	-	2	2
		有機官能基の化学	□	◎	◎	2	2
e群		化学反応はなぜ進行するのか	□	-	-	2	2
		物理化学基礎	□	◎	◎	3	2
f群		化学反応とエネルギー	□	-	-	2	2
	溶液の性質と熱力学	□	◎	◎	2	2	
g群	化学反応の応用技術	□	-	-	2	2	
	化学工学基礎	□	◎	◎	2	2	
h群	合成化学実験ユニットプログラム	□	-	-	4	2	
	合成化学実験ユニットプログラムJ	□	◎	◎	4	2	
i群	物理化学実験ユニットプログラム	□	-	-	4	2	
	物理化学実験ユニットプログラムJ	□	◎	◎	4	2	

別表第2 専門教育 (2017年度入学生)

工学部 応用化学科

A : 化学応用コース J : 総合化学エンジニアコース T : 医生命科学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育 区分	授 業 科 目		必 選 別			単 位 数	標 準 年 次
			A	J	T		
プロジェクト専門科目	生物化学	生物物質化学	○	-	-	2	2
		生物物質化学J	○	□	○	2	2
		生物化学	○	□	○	2	3
		バイオプロセス化学	○	□	○	2	3
		生物工学	○	□	○	2	3
	医薬有機合成	医薬・有機合成入門	○	-	-	2	2
		医薬・有機合成入門J	○	□	○	2	2
		有機反応化学	○	□	◎	2	3
		高分子化学	○	□	○	2	3
		医薬品合成化学	○	□	◎	2	3
	環境化学	環境化学基礎	○	-	-	2	2
		環境化学基礎J	○	□	○	2	2
		大気・水質環境 *	○	□	○	2	3
		環境保全・エコロジー *	○	□	○	2	3
	エネルギー化学	環境化学計測	○	□	○	2	3
		エネルギー化学入門	○	-	-	2	2
		エネルギー化学入門J *	○	□	○	2	2
		量子化学	○	□	○	2	3
		エネルギー材料科学	○	□	○	2	3
			エネルギーシステムデザイン	○	□	○	2
専門	応用化学実験		◎	-	-	2	3
	応用化学実験J		-	◎	◎	2	3
	生物化学実験		-	◎	◎	2	3
	セラミックス材料		○	○	○	2	3
	電気化学		○	○	○	2	3
	化学プラント工学		○	○	○	2	3
	生産工学		○	○	○	2	3
	化学反応工学		○	○	○	2	3
	総合物理学概論		○	○	○	2	3
	総合化学概論		○	○	○	2	3
	生理学		-	-	◎	2	2
	薬理学		-	-	◎	2	2
	生命機能材料化学		-	-	◎	2	3
	基礎医学		-	-	◎	2	2
	免疫化学		-	-	◎	2	3
	応用化学ゼミ		○	◎	-	1	2
	1年生特別専攻ゼミ I		-	-	◎	1	1
	1年生特別専攻ゼミ II		-	-	◎	1	1
	2年生特別専攻ゼミ I		-	-	◎	1	2
	2年生特別専攻ゼミ II		-	-	◎	1	2
3年生特別専攻ゼミ		-	-	◎	1	3	
海外化学研修 I		○	○	○	2	1・2・3	
応用化学特別講義		◎	○	○	1	3	
卒研準備群	機器分析ユニットプログラム		□	□	○	4	3
	特別専攻海外研修		□	-	□	2	3
	海外化学研修 II		□	□	□	4	3
総合化学ゼミ		○	◎	◎	1	4	
甲種危険物取扱者 (検定)		○	○	○	2	1・2・3・4	
卒業研究		◎	-	-	6	4	
卒業研究 J		-	◎	-	6	4	
卒業研究 (特別専攻)		-	-	◎	6	4	
(Stop the CO ₂ プログラム)							
Stop the CO ₂ 入門		○	○	-	2	1	
Stop the CO ₂ とライフデザイン		○	○	-	2	1	
Stop the CO ₂ プロジェクト I		○	○	-	1	1	
Stop the CO ₂ プロジェクト II		○	○	-	2	2	
Stop the CO ₂ プロジェクト III		○	○	-	2	3	
Stop the CO ₂ 最前線		○	○	-	2	3	
環境と新エネルギー		○	○	-	2	3	
新素材と省エネ技術		○	○	-	2	3	
合計			A : 206 J : 176 T : 166				
(教職関連)							
工業概論		教科に関する専門科目					
職業指導 I		別表第4-2参照					
職業指導 II		(注1) 卒業要件単位数には含まない。					
地学実験		(注2) 教職課程登録者のみ履修可。					

(注) 1. 専門基礎導入科目の同一名称科目 (a~d付き) は、何れかの科目を択一し、履修すること。

2. CAコース生は、選択必修科目について、各群から1科目を選択し履修すること。

プロジェクト専門科目で名称の末尾がJ、J無しとなっている科目を履修する場合は択一すること。

3. CJコース生は、専門基礎導入科目選択必修科目の各群および卒研準備群において1科目を選択し履修すること。また、プロジェクト専門科目から4科目以上 (択一したプロジェクトから3科目以上を含む) を履修すること。

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

工学部 臨床工学科

(◎必修、○選択)

科目区分	授業科目の名称	必選別	単位数	標準年次	
専門基礎科目	医学概論	◎	2	1	
	解剖学	◎	2	1	
	基礎医学実習	◎	2	1	
	医学的基礎	公衆衛生学	◎	2	1
		生理学	◎	2	1
		病理学	◎	2	2
		生化学	◎	2	2
		免疫学	◎	2	2
		薬理学	◎	2	2
		看護学概論	◎	2	2
	理工学的基礎	電気工学Ⅰ(直流回路、交流回路)	◎	2	1
		電気工学Ⅱ(過渡現象、電磁気学)	◎	2	1
		電気工学実習	◎	1	1
		電子工学Ⅰ(基礎)	◎	2	2
		電子工学Ⅱ(発展)	◎	2	2
		電子工学実習	◎	1	2
		医用電気電子工学実習	○	1	3
		機械工学	◎	2	1
		機械工学演習	◎	1	1
		材料工学	◎	2	2
		計測工学	◎	2	2
		応用数学	◎	2	1
	応用数学演習	◎	1	1	
	医療情報工学技術の基礎	医療統計学	○	1	2
		システム制御工学Ⅰ(基礎)	◎	2	3
		システム制御工学Ⅱ(発展)	◎	2	3
		システム制御工学実習	◎	1	3
		情報処理工学	◎	2	1
		情報処理工学実習	◎	1	1
		医療情報セキュリティ	○	2	3
専門科目	医用生体工学	医用工学概論	◎	2	1
		生体計測機器学Ⅰ(基礎)	◎	2	1
		生体計測機器学Ⅱ(発展)	◎	2	2
		生体計測機器学実習	◎	2	2
		生体物性工学	◎	2	3
	医用機器学	医用機器学概論	◎	2	1
		医用治療機器学Ⅰ(基礎)	◎	2	2
		医用治療機器学Ⅱ(発展)	◎	2	2
		医用治療機器学実習	◎	2	2
		放射線概論	○	2	3
		画像診断機器学	○	2	3
	生体機能代行技術学	生体機能代行装置学Ⅰ(基礎)	◎	2	2
		生体機能代行装置学Ⅱ(発展)	◎	2	2
		血液浄化装置学	◎	2	2
		呼吸療法装置学	◎	2	3
		体外循環装置学	◎	2	3
		生体機能代行装置学実習Ⅰ(基礎)	◎	2	3
		生体機能代行装置学実習Ⅱ(発展)	◎	1	3
	医用安全管理学	医用機器安全管理学	◎	2	3
		医用機器安全管理学実習	◎	2	3
		関係法規	◎	2	2
		人間工学	○	2	2
		臨床人間工学	○	2	3
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ(外科、内科、感染症等)	◎	2	2
		臨床医学総論Ⅱ(腎臓泌尿器系、消化器系等)	◎	2	3
臨床医学総論Ⅲ(麻酔科学、手術部医学)		◎	2	3	
臨床検査概論		○	2	3	
救急救命医学		○	2	3	
チーム医療論		○	2	4	
臨床実習	臨床実習	◎	4	4	
その他	臨床工学セミナー	○	2	4	
	卒業研究	◎	4	4	
合計			119		

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

情報学部 情報工学科

A:一般 B:スポーツ情報科学コース C:サウンドコミュニケーションコース

T:ICTスペシャリスト特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門基礎導入	基礎数学	○	○	○	-	2	1	
	数理論理学	○	○	○	○	2	1	
	離散数学	○	○	○	○	2	1	
	解析学Ⅰ	-	-	-	◎	3	1	
	解析学Ⅱ	-	-	-	○	2	1	
	微分方程式	-	-	-	○	3	2	
	線形代数学	-	-	-	◎	3	1	
	確率統計S	-	-	-	◎	2	1	
	微分積分学Ⅰ-c	○	○	○	-	3	1	
	微分積分学Ⅰ-d	○	○	○	-	3	1	
	線形代数学Ⅰ-a	○	○	○	-	2	1	
	線形代数学Ⅰ-b	○	○	○	-	2	1	
	微分積分学Ⅱ-c	○	○	○	-	3	2	
	微分積分学Ⅱ-d	○	○	○	-	3	2	
	線形代数学Ⅱ-a	○	○	○	-	2	2	
	線形代数学Ⅱ-b	○	○	○	-	2	2	
	数理統計学	○	○	○	-	2	2	
	物理学A	-	-	-	◎	3	1	
	a群	物理学B	-	-	-	□	3	1
		化学A	-	-	-	□	2	1
		ライフサイエンスⅠ	-	-	-	□	2	1
	物理学C	-	-	-	○	2	2	
	物理学D	-	-	-	○	2	2	
	化学B	-	-	-	○	2	1	
	ライフサイエンスⅡ	-	-	-	○	2	1	
	b群	情報と科学技術	○	○	○	□	2	1
		情報と知的財産権	○	○	○	□	2	1
		情報と文化	○	○	○	□	2	1
	(集中講義)							
		実践的マーケティング論	○	○	○	○	2	3
	実践的マネジメント論	○	○	○	○	2	3	
専門基礎	情報工学リテラシー	◎	◎	◎	◎	2	1・2	
	計算機概論	◎	◎	◎	◎	2	1	
	計算機アーキテクチャー	○	○	○	○	2	1	
	ソフトウェア基礎論	◎	◎	◎	◎	2	1	
	アルゴリズムとデータ構造	○	○	○	○	2	2	
	ネットワーク基礎論	○	○	○	○	2	2	
	WEB技術入門	○	○	○	○	2	2	
	システム工学	○	○	○	○	2	2	
	経営管理論	○	○	○	○	2	2	
	論理回路	○	○	○	○	2	1	
	電気回路	○	○	○	○	2	1	
	マルチメディア入門	○	○	○	○	2	2	
	情報理論	○	○	○	○	2	2	
	(スポーツ情報科学コース)							
		スポーツ科学	○	○	-	○	2	1
		スポーツ情報科学概論	○	○	-	○	2	1
	(サウンドコミュニケーションコース)							
		発声生理学	-	-	○	-	2	1
		音声録音技術	-	-	○	-	2	1
	(ユニットプログラム)							
		C言語基礎ユニットⅠ	◎	◎	◎	◎	2	1
		C言語基礎ユニットⅡ	◎	◎	◎	◎	1	1
		C言語基礎ユニットⅢ	◎	◎	◎	◎	2	1
		C言語基礎ユニットⅣ	○	○	○	○	1	1
		情報工学基礎ユニットⅠ	◎	◎	◎	◎	2	2
	(特別専攻演習)							
		ICT特別演習Ⅰ	-	-	-	◎	1	1
		ICT特別演習Ⅱ	-	-	-	◎	1	1
		ICT特別演習Ⅲ	-	-	-	◎	1	2
		ICT特別演習Ⅳ	-	-	-	◎	1	2

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

情報学部 情報工学科

A:一般 B:スポーツ情報科学コース C:サウンドコミュニケーションコース

T:ICTスペシャリスト特別専攻

(◎必修、○選択必修、○選択、一配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門	情報工学特別講義	◎	◎	◎	◎	1	2	
	プログラム言語処理	○	○	○	○	2	2	
	オペレーティングシステム	○	○	○	○	2	3	
	情報技術者概論	○	○	○	○	2	3	
	C++言語	○	○	○	○	3	2	
	JAVA言語	○	○	○	○	3	2	
	ソフトウェア工学	○	○	○	○	2	2	
	コンピュータネットワーク	○	○	○	○	2	2	
	中級IT国家資格取得支援講義	○	○	○	○	2	2	
	UMLモデリング	○	○	○	○	2	3	
	ネットワーク管理論	○	○	○	○	2	3	
	モバイルコンピューティング	○	○	○	○	2	3	
	オブジェクト指向分析設計論	○	○	○	○	2	3	
	情報セキュリティ	○	○	○	○	2	3	
	システム管理論	○	○	○	○	2	3	
	上級IT国家資格取得支援講義	○	○	○	○	2	3	
	ヒューマンインターフェース	○	○	○	○	2	2	
	オペレーションズリサーチ	○	○	○	○	2	2	
	情報技術と企業経営	○	○	○	○	2	2	
	WEBプログラミング	○	○	○	○	2	3	
	情報システム概論	○	○	○	○	2	3	
	情報デザイン論	○	○	○	○	2	3	
	経営情報システム	○	○	○	○	2	3	
	データ管理設計	○	○	○	○	2	3	
	ソフトウェアモデル論	○	○	○	○	2	3	
	生産流通サービス論	○	○	○	○	2	3	
	論理回路設計	○	○	○	○	2	2	
	人工知能基礎論	○	○	○	○	2	2	
	信号処理基礎	○	○	○	○	2	2	
	データベース	○	○	○	○	2	3	
	組み込みシステム	○	○	○	○	2	3	
	知識工学	○	○	○	○	2	3	
	認識処理工学	○	○	○	○	2	3	
	情報検索システム	○	○	○	○	2	3	
	データベース管理論	○	○	○	○	2	3	
	分散システム	○	○	○	○	2	3	
	組み込みソフトウェア工学	○	○	○	○	2	3	
	自然言語処理	○	○	○	○	2	3	
	生産ソフトウェアシステム	○	○	○	○	2	3	
	(スポーツ情報科学コース)							
		スポーツ統計解析	○	○	—	○	2	2
		スポーツ映像処理	○	○	—	○	2	2
		スポーツ計測処理	○	○	—	○	2	2
	スポーツ映像分析	○	○	—	○	2	2	
	トレーニングと情報技術	○	○	—	○	2	3	
	スポーツ情報分析	○	○	—	○	2	3	
(サウンドコミュニケーションコース)								
	音響学入門	—	—	○	—	2	2	
	音声コミュニケーション概論	—	—	○	—	2	2	
	コンテンツ文化論	—	—	○	—	2	3	
	音響シミュレーション	—	—	○	—	2	3	
	サウンドコミュニケーション基礎Ⅰ	—	—	○	—	2	2	
	サウンドコミュニケーション基礎Ⅱ	—	—	○	—	2	2	
(ユニットプログラム)								
	情報工学基礎ユニットⅡ	◎	◎	◎	◎	2	2・3	
	情報工学応用ユニットⅠ	◎	—	—	◎	3	3	
	情報工学応用ユニットⅡ	◎	—	—	◎	3	3	
	スポーツ情報科学ユニットⅠ	—	◎	—	—	3	3	
	スポーツ情報科学ユニットⅡ	—	◎	—	—	3	3	
	サウンドコミュニケーションユニットⅠ	—	—	◎	—	3	3	
	サウンドコミュニケーションユニットⅡ	—	—	◎	—	3	3	
(卒業研究関係)								
	情報工学セミナー	◎	—	—	◎	2	4	
	1年生特別専攻セミナーⅠ	—	—	—	◎	1	1	
	1年生特別専攻セミナーⅡ	—	—	—	◎	1	1	
	2年生特別専攻セミナーⅠ	—	—	—	◎	1	2	
	2年生特別専攻セミナーⅡ	—	—	—	◎	1	2	
	ICTスペシャリストセミナー	—	—	—	◎	2	3	
	ICT特別演習Ⅴ	—	—	—	◎	1	3	
	ICT特別演習Ⅵ	—	—	—	◎	1	3	
	卒業研究	◎	◎	◎	◎	6	4	
(目的別プログラム)								
	プロジェクト研究Ⅰ	○	○	○	—	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究Ⅱ	○	○	○	—	1	1・2・3・4	
(海外実習系)								
	ICT海外研修Ⅰ	—	—	—	◎	2	3	
	ICT海外研修Ⅱ	—	—	—	○	2	3	
(検定系)								
	初級情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	基本情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	応用情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	高度情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
合計						A:193 B:193 C:193 T:214		
(Stop the CO ₂ プログラム)								
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。						
Stop the CO ₂ とライフデザイン								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ								
Stop the CO ₂ 最前線								
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術 (教職関連)								
工業概論		教科に関する専門科目						
職業指導Ⅰ		別表第4-2参照						
職業指導Ⅱ		(注1)卒業要件単位数には含まない。						
情報と職業		(注2)教職課程登録者のみ履修可。						

別表第2 専門教育（2017年度入学生）

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

A：一般 B：スポーツ情報科学コース C：サウンドコミュニケーションコース

T：ICTスペシャリスト特別専攻

（◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし）

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門基礎導入	基礎数学	○	○	○	－	2	1	
	数理論理学	○	○	○	○	2	1	
	離散数学	○	○	○	○	2	1	
	解析学Ⅰ	－	－	－	◎	3	1	
	解析学Ⅱ	－	－	－	○	2	1	
	微分方程式	－	－	－	○	3	2	
	線形代数学	－	－	－	◎	3	1	
	確率統計S	－	－	－	◎	2	1	
	微分積分学Ⅰ-c	○	○	○	－	3	1	
	微分積分学Ⅰ-d	○	○	○	－	3	1	
	線形代数学Ⅰ-a	○	○	○	－	2	1	
	線形代数学Ⅰ-b	○	○	○	－	2	1	
	微分積分学Ⅱ-c	○	○	○	－	3	2	
	微分積分学Ⅱ-d	○	○	○	－	3	2	
	線形代数学Ⅱ-a	○	○	○	－	2	2	
	線形代数学Ⅱ-b	○	○	○	－	2	2	
	数理統計学	○	○	○	－	2	2	
	物理学A	－	－	－	◎	3	1	
	a群	物理学B	－	－	－	□	3	1
		化学A	－	－	－	□	2	1
		ライフサイエンスⅠ	－	－	－	□	2	1
	物理学C	－	－	－	○	2	2	
	物理学D	－	－	－	○	2	2	
	化学B	－	－	－	○	2	1	
	ライフサイエンスⅡ	－	－	－	○	2	1	
	b群	情報と科学技術	○	○	○	□	2	1
		情報と知的財産権	○	○	○	□	2	1
		情報と文化	○	○	○	□	2	1
	(集中講義)							
		実践的マーケティング論	○	○	○	○	2	3
	実践的マネジメント論	○	○	○	○	2	3	
専門基礎	情報ネットワーク工学Ⅰ	○	○	○	○	2	1	
	情報ネットワーク概論	○	○	○	○	2	1	
	情報ネットワーク工学Ⅱ	○	○	○	○	2	1	
	情報ネットワークリテラシー	◎	◎	◎	◎	2	1	
	情報セキュリティ概論	○	○	○	○	2	1	
	(スポーツ情報科学コース)							
		スポーツ科学	○	○	－	○	2	1
		スポーツ情報科学概論	○	○	－	○	2	1
	(サウンドコミュニケーションコース)							
		発声生理学	－	－	○	－	2	1
		音声録音技術	－	－	○	－	2	1
	(ユニットプログラム)							
		情報ネットワーク導入ユニットⅠ	◎	◎	◎	◎	4	1
		情報ネットワーク導入ユニットⅡ	◎	◎	◎	◎	4	1
	(特別専攻演習)							
		ICT特別演習Ⅰ	－	－	－	◎	1	1
		ICT特別演習Ⅱ	－	－	－	◎	1	1
		ICT特別演習Ⅲ	－	－	－	◎	1	2
		ICT特別演習Ⅳ	－	－	－	◎	1	2

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

A:一般 B:スポーツ情報科学コース C:サウンドコミュニケーションコース

T:ICTスペシャリスト特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、一配当なし)

教育 区分	授 業 科 目	必 選 別				単位数	標 準 年 次	
		A	B	C	T			
専 門	ネットワーク工学	○	○	○	○	2	2	
	インターネットアプリケーション	○	○	○	○	2	2	
	インターネット技術	○	○	○	○	2	2	
	Web技術	○	○	○	○	2	2	
	ネットワークルーティング	○	○	○	○	2	3	
	ネットワークプログラミング	○	○	○	○	2	3	
	ネットワークインターフェース	○	○	○	○	2	3	
	ネットワーク解析技法	○	○	○	○	2	3	
	通信工学	○	○	○	○	2	2	
	マルチメディア処理	○	○	○	○	2	2	
	情報セキュリティマネジメント	○	○	○	○	2	2	
	光通信技術	○	○	○	○	2	2	
	メディア表現工学	○	○	○	○	2	2	
	情報セキュリティと法制度	○	○	○	○	2	2	
	情報理論	○	○	○	○	2	2	
	ソフトウェア工学	○	○	○	○	2	2	
	デジタル移動通信	○	○	○	○	2	3	
	ヒューマンインターフェース	○	○	○	○	2	3	
	電子認証	○	○	○	○	2	3	
	データベース	○	○	○	○	2	3	
	モバイルネットワーク	○	○	○	○	2	3	
	ソーシャルメディア技術	○	○	○	○	2	3	
	ネットワークセキュリティ	○	○	○	○	2	3	
	分散処理	○	○	○	○	2	3	
	(スポーツ情報科学コース)							
		スポーツ統計解析	○	○	—	○	2	2
		スポーツ映像処理	○	○	—	○	2	2
		スポーツ計測処理	○	○	—	○	2	2
		スポーツ映像分析	○	○	—	○	2	2
		トレーニングと情報技術	○	○	—	○	2	3
		スポーツ情報分析	○	○	—	○	2	3
	(サウンドコミュニケーションコース)							
		音響学入門	—	—	○	—	2	2
		音声コミュニケーション概論	—	—	○	—	2	2
		コンテンツ文化論	—	—	○	—	2	3
	音響シミュレーション	—	—	○	—	2	3	
	サウンドコミュニケーション基礎Ⅰ	—	—	○	—	2	2	
	サウンドコミュニケーション基礎Ⅱ	—	—	○	—	2	2	
(ユニットプログラム)								
	情報ネットワーク基礎ユニットⅠ	◎	◎	◎	◎	4	2	
	情報ネットワーク基礎ユニットⅡ	◎	◎	◎	◎	4	2	
	情報ネットワークコースユニット	◎	—	—	◎	4	3	
	情報ネットワーク応用ユニット	◎	—	—	◎	4	3	
	スポーツ情報科学ユニットⅠ	—	◎	—	—	3	3	
	スポーツ情報科学ユニットⅡ	—	◎	—	—	3	3	
	サウンドコミュニケーションユニットⅠ	—	—	◎	—	3	3	
	サウンドコミュニケーションユニットⅡ	—	—	◎	—	3	3	
(卒業研究関係)								
	情報ネットワーク基礎セミナー	◎	◎	◎	◎	2	4	
	1年生特別専攻セミナーⅠ	—	—	—	◎	1	1	
	1年生特別専攻セミナーⅡ	—	—	—	◎	1	1	
	2年生特別専攻セミナーⅠ	—	—	—	◎	1	2	
	2年生特別専攻セミナーⅡ	—	—	—	◎	1	2	
	ICTスペシャリストセミナー	—	—	—	◎	2	3	
	ICT特別演習Ⅴ	—	—	—	◎	1	3	
	ICT特別演習Ⅵ	—	—	—	◎	1	3	
	卒業研究	◎	◎	◎	◎	6	4	
(目的別プログラム)								
	プロジェクト研究Ⅰ	○	○	○	—	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究Ⅱ	○	○	○	—	1	1・2・3・4	
(海外実習系)								
	ICT海外研修Ⅰ	—	—	—	◎	2	3	
	ICT海外研修Ⅱ	—	—	—	○	2	3	
(検定系)								
	初級情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	基本情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	応用情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	高度情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	ネットワーク技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	応用ネットワーク技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
合計						A:158 B:156 C:168 T:179		
(Stop the CO ₂ プログラム)								
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。 但し、特別専攻においては卒業要件単位数に含まない。						
Stop the CO ₂ とライフデザイン								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ								
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ								
Stop the CO ₂ 最前線								
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術								
(教職関連)								
工業概論		教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。						
職業指導Ⅰ								
職業指導Ⅱ								
情報と職業								

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

情報学部 情報メディア学科

A:一般 B:スポーツ情報科学コース C:サウンドコミュニケーションコース

T:ICTスペシャリスト特別専攻

(◎必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門基礎導入	基礎数学	○	○	○	-	2	1	
	数理論理学	○	○	○	○	2	1	
	離散数学	○	○	○	○	2	1	
	解析学Ⅰ	-	-	-	◎	3	1	
	解析学Ⅱ	-	-	-	○	2	1	
	微分方程式	-	-	-	○	3	2	
	線形代数学	-	-	-	◎	3	1	
	確率統計S	-	-	-	◎	2	1	
	微分積分学Ⅰ-c	○	○	○	-	3	1	
	微分積分学Ⅰ-d	○	○	○	-	3	1	
	線形代数学Ⅰ-a	○	○	○	-	2	1	
	線形代数学Ⅰ-b	○	○	○	-	2	1	
	微分積分学Ⅱ-c	○	○	○	-	3	2	
	微分積分学Ⅱ-d	○	○	○	-	3	2	
	線形代数学Ⅱ-a	○	○	○	-	2	2	
	線形代数学Ⅱ-b	○	○	○	-	2	2	
	数理統計学	○	○	○	-	2	2	
	物理学A	-	-	-	◎	3	1	
	a群	物理学B	-	-	-	□	3	1
	化学A	-	-	-	□	2	1	
	ライフサイエンスⅠ	-	-	-	□	2	1	
	物理学C	-	-	-	○	2	2	
	物理学D	-	-	-	○	2	2	
	化学B	-	-	-	○	2	1	
	ライフサイエンスⅡ	-	-	-	○	2	1	
	b群	情報と科学技術	○	○	○	□	2	1
	情報と知的財産権	○	○	○	□	2	1	
	情報と文化	○	○	○	□	2	1	
	(集中講義)							
		実践的マーケティング論	○	○	○	○	2	3
	実践的マネジメント論	○	○	○	○	2	3	
専門基礎	情報メデ	○	○	○	○	2	1	
	ゲーム制作論	○	○	○	○	2	1	
	メディアコンテンツ制作概論	○	○	○	○	2	2	
	Web制作	○	○	○	○	2	2	
	マルチメディア入門	○	○	○	○	2	2	
	デジタルデザイン	○	○	○	○	2	2	
	ビジュアルシミュレーション	○	○	○	○	2	3	
	フィジカルコンピューティング	○	○	○	○	2	3	
	情報メディアプロデュース論	○	○	○	○	2	3	
	IT基礎	◎	◎	◎	◎	4	1	
	計算機構成論	○	○	○	○	2	2	
	情報理論と信号処理	○	○	○	○	2	2	
	メディア・セキュリティ	○	○	○	○	2	3	
	応用プログラミングA	○	○	○	○	3	2	
	応用プログラミングB	○	○	○	○	3	2	
	応用プログラミングC	○	○	○	○	1	3	
	ソフトウェア開発	○	○	○	○	2	3	
	スポーツ科学	○	○	-	○	2	1	
	スポーツ情報科学概論	○	○	-	○	2	1	
	発声生理学	○	-	○	○	2	1	
音声録音技術	○	-	○	○	2	1		
(特別専攻演習)								
	ICT特別演習Ⅰ	-	-	-	◎	1	1	
	ICT特別演習Ⅱ	-	-	-	◎	1	1	
	ICT特別演習Ⅲ	-	-	-	◎	1	2	
	ICT特別演習Ⅳ	-	-	-	◎	1	2	
専門	Webシステム	○	○	○	○	2	2	
	コラボレイティブWeb	○	○	○	○	2	2	
	データベース	○	○	○	○	2	3	
	インタラクションデザイン	○	○	○	○	2	3	
	映像メディアシステム	○	○	○	○	2	2	
	画像情報処理	○	○	○	○	2	2	
	ヒューマンインターフェース	○	○	○	○	2	3	
	画像認識システム	○	○	○	○	2	3	
	サウンド解析	○	○	○	○	2	2	
	音楽論	○	○	○	○	2	2	
	コンピュータ音楽制作	○	○	○	○	2	3	
	サウンド情報処理	○	○	○	○	2	3	
	グラフィックス基礎論	○	○	○	○	2	2	
	CGデザイン	○	○	○	○	2	2	
	CGアニメーション	○	○	○	○	2	3	
	メディアアート	○	○	○	○	2	3	
	ゲームデザイン論	○	○	○	○	2	2	
	ゲームグラフィックス	○	○	○	○	2	2	
	ゲームプログラミング	○	○	○	○	2	3	
	ゲームAI	○	○	○	○	2	3	
キャラクター	キャラクター概論Ⅰ	○	○	○	○	2	2	
キャラクター概論Ⅱ	○	○	○	○	2	2		
キャラクター創作論	○	○	○	○	2	3		
キャラクター制作	○	○	○	○	2	3		

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

A:一般 B:スポーツ情報科学コース C:サウンドコミュニケーションコース
T:ICTスペシャリスト特別専攻

(◎必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別				単位数	標準年次	
		A	B	C	T			
専門	スポーツ統計解析	○	○	-	○	2	2	
	スポーツ映像処理	○	○	-	○	2	2	
	スポーツ計測処理	○	○	-	○	2	2	
	スポーツ映像分析	○	○	-	○	2	2	
	トレーニングと情報技術	○	○	-	○	2	3	
	スポーツ情報分析	○	○	-	○	2	3	
	音響学入門	○	-	○	○	2	2	
	音声コミュニケーション概論	○	-	○	○	2	2	
	コンテンツ文化論	○	-	○	○	2	3	
	音響シミュレーション	○	-	○	○	2	3	
	サウンドコミュニケーション基礎	-	-	○	-	2	2	
	サウンドコミュニケーション基礎	-	-	○	-	2	2	
	(ユニットプログラム)							
		情報メディア基盤ユニット	◎	◎	◎	◎	4	1
		情報メディア導入ユニット	◎	◎	◎	◎	4	1
		情報メディア基礎ユニットI	◎	◎	◎	◎	2	2
		情報メディア基礎ユニットII	◎	◎	◎	◎	2	2
		情報メディア専門ユニットI	◎	◎	◎	◎	3	3
		情報メディア専門ユニットII	◎	◎	◎	◎	3	3
		スポーツ情報科学ユニットI	-	◎	-	-	3	3
		スポーツ情報科学ユニットII	-	◎	-	-	3	3
		サウンドコミュニケーションユニットI	-	-	◎	-	3	3
		サウンドコミュニケーションユニットII	-	-	◎	-	3	3
	(卒業研究関係)							
		情報メディアセミナー	◎	◎	◎	◎	2	4
	1年生特別専攻セミナーI	-	-	-	◎	1	1	
	1年生特別専攻セミナーII	-	-	-	◎	1	1	
	2年生特別専攻セミナーI	-	-	-	◎	1	2	
	2年生特別専攻セミナーII	-	-	-	◎	1	2	
	ICTスペシャリストセミナー	-	-	-	◎	2	3	
	ICT特別演習V	-	-	-	◎	1	3	
	ICT特別演習VI	-	-	-	◎	1	3	
	卒業研究	◎	◎	◎	◎	6	4	
(海外実習系)								
	国際情報メディア実習	○	○	○	○	1	1・2・3・4	
	海外情報メディア研修I	○	○	○	○	2	2	
	海外情報メディア研修II	○	○	○	○	2	3	
	海外情報メディア研修III	○	○	○	○	2	3	
	ICT海外研修I	-	-	-	◎	2	3	
	ICT海外研修II	-	-	-	○	2	3	
(目的別プログラム)								
	メディア実践講座	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	ゲームクリエイター特訓	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	プロダクションCGクリエイター特訓	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	キャラクタクリエイター特訓	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	プロジェクト研究I	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究II	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究III	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究IV	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究V	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
	プロジェクト研究VI	○	○	○	-	1	1・2・3・4	
(資格・検定系)								
	IT応用	○	○	○	○	2	2	
	メディア技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	初級情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	基本情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	応用情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
	高度情報技術者(検定)	○	○	○	○	2	1・2・3・4	
合計						A:208 B:202 C:196 T:221		
(Stop the CO ₂ プログラム)								
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。						
Stop the CO ₂ とライフデザイン								
Stop the CO ₂ プロジェクトI								
Stop the CO ₂ プロジェクトII								
Stop the CO ₂ プロジェクトIII								
Stop the CO ₂ 最前線								
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術								
(教職関連)								
工業概論		教科に関する専門科目						
職業指導I		別表第4-2参照						
職業指導II		(注1)卒業要件単位数には含まない。						
情報と職業		(注2)教職課程登録者のみ履修可。						

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 創造工学部 自動車システム開発工学科
 A：一般 T：次世代自動車開発特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年次		
		A	T				
専門基礎導入	a群 微分積分学Ⅰ-c	□	-	3	1		
	微分積分学Ⅰ-d	□	-	3	1		
	b群 基礎数学	□	-	2	1		
	微分積分学Ⅱ-c	□	-	3	1・2		
	微分積分学Ⅱ-d	□	-	3	1		
	解析学Ⅰ	-	◎	3	1		
	解析学Ⅱ	-	◎	2	1		
	微分方程式	-	◎	3	2		
	c群 線形代数学Ⅰ-a	□	-	2	1		
	線形代数学Ⅰ-b	□	-	2	1		
	d群 線形代数学Ⅱ-a	□	-	2	1		
	線形代数学Ⅱ-b	□	-	2	1		
	線形代数学	-	◎	3	1		
	機械系数学	◎	-	2	2		
	ベクトル解析	-	○	2	2		
	確率統計	○	-	2	2		
	確率統計S	-	○	2	1		
	フーリエ解析	-	○	2	2		
	e群 基礎力学Ⅰ-a	□	-	2	1		
	基礎力学Ⅰ-c	□	-	3	1		
	基礎力学Ⅰ-d	□	-	3	1		
	f群 基礎力学Ⅱ-a	□	-	2	2		
	基礎力学Ⅱ-c	□	-	3	1		
	基礎力学Ⅱ-d	□	-	3	1		
	g群 基礎電磁気学Ⅰ-a	□	-	2	1		
	基礎電磁気学Ⅰ-b	□	-	2	1		
	h群 基礎電磁気学Ⅱ-a	□	-	2	2		
	基礎電磁気学Ⅱ-b	□	-	2	2		
	物理学A	-	◎	3	1		
	物理学B	-	◎	3	1		
	物理学C	-	◎	2	2		
	物理学D	-	○	2	2		
振動と波動	-	○	2	2			
熱・統計物理学	○	○	2	3			
量子物理	○	○	2	3			
基礎化学Ⅰ-a	○	-	2	3			
化学A	-	◎	2	1			
化学B	-	○	2	1			
物理・化学ユニットプログラム	◎	-	3	1			
物理・化学ユニットプログラムS	-	◎	3	1			
ライフサイエンスⅠ	-	○	2	1			
専門基礎	創造工学部共通	ものづくりデザインの基礎	○	○	2	2	
		C言語	○	○	2	1	
		C言語演習	○	○	1	2	
	i群	基礎電子回路	□	-	2	2	
	基礎電子回路S	□	◎	2	2		
	V科専門基礎	工学基礎演習Ⅰ	○	-	1	1	
		工学基礎演習Ⅱ	○	-	1	1	
		基礎製図	◎	◎	2	1	
		自動車のための情報・通信入門	◎	◎	2	2	
		自動車要素設計Ⅰ	◎	◎	2	2	
		自動車要素設計Ⅱ	◎	◎	2	2	
		j群	機械力学	□	-	2	2
		機械力学S	□	◎	2	2	
		k群	材料力学	□	-	2	2
		材料力学S	□	◎	2	2	
		l群	熱力学	□	-	2	2
		熱力学S	□	◎	2	2	
		力学演習	○	-	1	2	
m群		流体力学	□	-	2	2	
流体力学S		□	◎	2	2		

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

創造工学部 自動車システム開発工学科

A: 一般 T: 次世代自動車開発特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目		必選別		単位数	標準年次
			A	T		
専門	インテリジェント化	自動車制御システムのプログラミング	○	○	2	3
		数値シミュレーションの基礎	○	○	2	3
		制御工学	○	-	2	3
		制御工学S	-	□	2	3
		制御ハードウェア	○	○	2	3
		自動車制御プロセッサ	○	○	2	2
		次世代自動車制御	○	□	2	3
		次世代自動車情報通信	○	□	2	3
	電気自動車	カーエレクトロニクス	○	○	2	2
		次世代自動車動力	○	□	2	3
		電気自動車システム工学	○	○	2	3
	先進自動車性能	マルチボディダイナミクス	○	-	2	2
		マルチボディダイナミクスS	-	□	2	2
		次世代自動車力学	○	□	2	3
		カーエアロダイナミクス	○	-	2	3
		カーエアロダイナミクスS	-	□	2	3
		機構学	○	○	2	3
		次世代自動車安全	○	□	2	3
	スマートストラクチャ	自動車開発プロセス概論	○	○	2	2
		材料強度力学	○	-	2	2
		材料強度力学S	-	□	2	2
		自動車用材料学	○	○	2	3
		次世代車両構造ダイナミクス	○	□	2	3
		オートモーティブエンジニアリング	○	○	2	3
		自動車のための加工学	○	○	2	3
		環境・交通	応用熱力学	○	-	2
	応用熱力学S	-	□	2	2	
自動車エンジン工学*	○	○	2	3		
車と社会	○	○	2	3		
(ユニットプログラム)						
	自動車システム工学プロジェクト入門	◎	-	2	1	
	自動車システム工学プロジェクトI	○	-	2	2	
	自動車システム工学プロジェクトII	○	-	2	2	
	自動車開発プロジェクト	○	-	2	2	
	自動車開発プロジェクトI	○	-	2	3	
	自動車開発プロジェクトII	○	-	2	3	
	次世代自動車開発プロジェクトI	-	◎	2	2	
	次世代自動車開発プロジェクトII	-	○	2	2	
	次世代自動車開発プロジェクトIII	-	○	2	2	
	次世代自動車開発プロジェクトIV	-	○	2	3	
	次世代自動車開発プロジェクトV	-	○	2	3	
(総合科目)						
	1年生特別専攻ゼミI	-	◎	1	1	
	1年生特別専攻ゼミII	-	◎	1	1	
	2年生特別専攻ゼミI	-	◎	1	2	
	2年生特別専攻ゼミII	-	◎	1	2	
	海外自動車工学研修	○	-	2	2	
	海外自動車工学研修S	-	◎	2	3	
	輪講	○	○	2	4	
	卒業研究	◎	◎	6	4	
合計					A: 165 T: 137	
(Stop the CO ₂ プログラム)						
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。				
Stop the CO ₂ とライフデザイン						
Stop the CO ₂ プロジェクトI						
Stop the CO ₂ プロジェクトII						
Stop the CO ₂ プロジェクトIII						
Stop the CO ₂ 最前線						
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術						
(教職関連)						
工業概論		教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。				
職業指導I						
職業指導II						

*: Stop the CO₂関連科目

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科
 S：一般 T：ロボットクリエイター特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、-配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年次	
		S	T			
専門基礎導入	基礎数学	○	-	2	1	
	解析学Ⅰ	-	◎	3	2	
	線形代数学	-	◎	3	2	
	確率統計S	-	◎	2	2	
	a群	離散数学	-	□	2	2
		解析学Ⅱ	-	□	2	2
		ベクトル解析	-	□	2	2
		フーリエ解析	-	□	2	2
		微分方程式	-	□	3	2
	微分積分学Ⅰ-c	○	-	3	1	
	微分積分学Ⅰ-d	○	-	3	1	
	微分積分学Ⅱ-c	○	-	3	2	
	微分積分学Ⅱ-d	○	-	3	2	
	線形代数学Ⅰ-a	○	-	2	2	
	線形代数学Ⅰ-b	○	-	2	2	
	線形代数学Ⅱ-a	○	-	2	2	
	線形代数学Ⅱ-b	○	-	2	2	
	物理学A	-	◎			
	b群	物理学B	-	□	3	2
		化学A	-	□	2	2
		ライフサイエンスⅠ	-	□	2	2
	物理学C	-	○	2	3	
	物理学D	-	○	2	3	
	化学B	-	○	2	2	
	ライフサイエンスⅡ	-	○	2	2	
	基礎力学Ⅰ-a	○	-	2	1	
基礎力学Ⅰ-b	○	-	2	1		
基礎力学Ⅱ-a	○	-	2	1		
基礎力学Ⅱ-b	○	-	2	1		
振動と波動	○	○	2	2		
物理・化学ユニットプログラム	○	-	3	2		
専門基礎	創造工学部 科目群 共通	ものづくりデザインの基礎	○	○	2	2
		基礎電気回路	◎	-	2	1
		回路設計入門	◎	-	2	1
		組み込みソフトウェア設計	◎	-	2	2
		情報通信技術	◎	-	2	3
		センサ工学	◎	-	2	3
	ロボット・人間 特性基礎 科目群	プログラミング	◎	-	2	1
		応用力学	◎	-	2	1
		ロボット工学概論	◎	-	2	1
		設計製図	◎	-	2	2
コンピュータアーキテクチャ	○	○	2	1		
キャンパスライフ実践論	○	○	2	1		
人間工学	○	○	2	2		
生活ニーズと支援開発	○	○	2	1		
専門	ロボット・人間 特性応用 科目群	機構学	□	□	2	2
		材料力学	□	□	2	2
		機械力学	□	□	2	2
		CAD	□	□	2	2
		アナログ回路	□	□	2	2
		デジタル回路	□	□	2	2
		ロボットシミュレーション	□	□	2	2
		ロボット制御	□	□	2	2
		組み込み機器入門	□	□	2	3
		Android開発入門	□	□	2	3
		加齢と運動機能	□	□	2	2
		身体動作の科学	□	□	2	2
		プロダクトデザイン開発Ⅰ	□	□	2	3
		プロダクトデザイン開発Ⅱ	□	□	2	3

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科
 S：一般 T：ロボットクリエイター特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし)

教育区分	授業科目	必修別		単位数	標準年次	
		S	T			
専門	流れ学	○	○	2	3	
	画像処理工学	○	○	2	3	
	知能情報処理	○	○	2	3	
	メカトロニクス	○	○	2	3	
	ロボット製品設計	○	○	2	3	
	ヒューマン・ロボットインタラクション	○	○	2	3	
	ハードウェア記述言語	○	○	2	3	
	組み込み機器設計	○	○	2	3	
	Android開発実践	○	○	2	3	
	認知行動科学論	○	○	2	2	
	人間工学計測法	○	○	2	3	
	ユニ ット プ ロ グ ラ ム	ロボメカ基礎ユニットⅠ	○	○	4	1
		ロボメカ基礎ユニットⅡ	○	○	4	1
		ロボット開発設計ユニットⅠ	○	○	4	2
		ロボット開発設計ユニットⅡ	○	○	4	2
		ロボット開発設計ユニットⅢ	○	○	4	3
		ロボット開発設計ユニットⅣ	○	○	4	3
	特別 専 攻 科 目 群	ロボットクリエイター養成ゼミⅠ	－	◎	1	1
		ロボットクリエイター養成ゼミⅡ	－	◎	1	1
ロボットクリエイター養成ゼミⅢ		－	◎	1	2	
ロボットクリエイター養成ゼミⅣ		－	◎	1	2	
ロボットクリエイター養成ゼミⅤ		－	◎	1	3	
ロボットクリエイター養成ゼミⅥ		－	◎	1	3	
次世代ロボット開発Ⅰ（ロボット機械要素技術）		－	◎	2	1	
次世代ロボット開発Ⅱ（ロボット電子要素技術）		－	◎	2	1	
次世代ロボット開発Ⅲ（ロボット制御技術）		－	◎	2	2	
次世代ロボット開発Ⅳ（ロボット通信技術）		－	◎	2	2	
次世代ロボット開発Ⅴ（自律ロボット技術）		－	◎	2	3	
次世代ロボット開発Ⅵ（ロボット知能化技術） （集中講義）		－	◎	2	3	
アドバンスロボティクス		－	○	2	2	
ロボットインテリジェンス	－	○	2	2		
ネットワークロボティクス	－	○	2	3		
専門	輪講	◎	◎	2	4	
	卒業研究	◎	◎	6	4	
	プ ロ ジ エ ク ト 系 認 定	プロジェクト研究実践Ⅰ	○	○	2	1・2・3
		プロジェクト研究実践Ⅱ	○	○	2	1・2・3
		プロジェクト研究実践Ⅲ	○	○	2	1・2・3
		プロジェクト研究実践Ⅳ	○	○	2	1・2・3
		プロジェクト研究実践Ⅴ	○	○	2	1・2・3
		プロジェクト研究実践Ⅵ	○	○	2	1・2・3
	特別専攻海外創造工学研修	－	◎	2	1・2・3	
	海外創造工学研修	○	－	2	1・2・3・4	
	資 格 系 認 定	MOS検定（WORD）	○	○	1	1・2・3・4
MOS検定（EXCEL）		○	○	1	1・2・3・4	
初級情報処理技術者試験（検定）		○	○	2	1・2・3・4	
基本情報処理技術者試験（検定）		○	○	2	1・2・3・4	
合計				S：165 T：175		
(Stop the CO ₂ プログラム)						
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第4-4参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。				
Stop the CO ₂ とライフデザイン						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ						
Stop the CO ₂ 最前線						
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術 (教職関連)						
工業概論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ 木材加工概論 金属加工概論 機械概論 電気概論 栽培概論 情報とコンピュータ概論		教科に関する専門科目 別表第3-1-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。				

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科
 A：一般 T：環境エネルギー特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年数	
		A	T			
専門基礎導入	基礎数学	○	－	2	1	
	微分積分学 I-c	□	－	3	1	
	微分積分学 I-d	□	－	3	1	
	解析学 I	－	◎	3	1	
	解析学 II	－	◎	2	1	
	微分方程式	－	◎	3	2	
	線形代数学	－	◎	3	1	
	電気電子数学	◎	◎	3	1	
	確率統計 S	－	◎	2	1	
	ベクトル解析	－	◎	2	2	
	フーリエ解析	－	◎	2	2	
	基礎力学 I-d	◎	－	3	1	
	基礎力学 II-d	◎	－	3	1	
	基礎電磁気学 I-b	◎	－	2	2	
	基礎電磁気学 II-b	◎	－	2	2	
	物理学A	－	◎	3	1	
	物理学B	－	◎	3	1	
	物理学C	－	◎	2	2	
	物理学D	－	◎	2	2	
	振動と波動	◎	◎	2	2	
	量子物理	◎	◎	2	3	
	物理・化学ユニットプログラム	◎	－	3	2	
	物理・化学ユニットプログラムS	－	◎	3	2	
	基礎化学 I-a	◎	－	2	1	
	化学A	－	◎	2	1	
	化学B	－	◎	2	1	
	基礎生物学	◎	－	2	2	
ライフサイエンス I	－	◎	2	1		
ライフサイエンス II	－	◎	2	1		
特別専攻・専門基礎	電気回路 I	－	◎	2	1	
	電気回路 II	－	◎	2	1	
	電子回路 I	－	◎	2	1	
	電子回路 II	－	◎	2	2	
	電子回路 III	－	◎	2	2	
	電気磁気学 I-EB	－	◎	3	2	
	電気磁気学 II-EB	－	◎	3	2	
	回路解析 I	－	◎	3	2	
	回路解析 II	－	◎	3	2	
専門基礎	創造工学部共通	ものづくりデザインの基礎	◎	◎	2	2
		電気電子回路 I	◎	－	3	1
		電気電子回路 II	◎	－	3	1
		電気電子回路 III	◎	－	3	2
		情報技術の基礎	◎	◎	2	1
		C言語プログラム	◎	◎	2	1
		センサと計測技術	◎	◎	3	2
		メカトロニクスの基礎	◎	◎	2	2
		基礎専門	電気電子工学	◎	◎	2
	スマートハウスと製図		◎	◎	2	3
専門	プロダクトデザインと3DCAD	◎	◎	2	2	
	電気電子回路設計	◎	◎	3	3	
	ロボット家電と制御	◎	◎	2	3	
	家電製品と電気法規	◎	◎	2	3	
	家電製品と組込み技術	◎	◎	2	2	
	スマートハウスとエネルギー管理	◎	◎	2	2	

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科
 A：一般 T：環境エネルギー特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年数	
		A	T			
専門	デジタル音響機器と信号処理	○	○	2	3	
	ホームエレクトロニクス	◎	○	2	3	
	環境とエレクトロニクス *1	○	◎	2	2	
	エネルギーマネジメントシステム *1	○	◎	2	3	
	環境と再生可能エネルギー *1	○	◎	2	3	
	(問題解決型ユニットプログラム)					
	ものづくりプロジェクトⅠ	◎	◎	2	1	
	ものづくりプロジェクトⅡ	◎	◎	2	2	
	ものづくりチャレンジプロジェクト	○	○	2	1・2・3・4	
	企業連携プロジェクト入門	◎	◎	2	2	
	企業連携プロジェクトⅠ	◎	◎	3	3	
	企業連携プロジェクトⅡ	◎	◎	3	3	
	海外創造工学研修	○	○	2	1・2・3・4	
	(卒業研究関係)					
	ホームエレクトロニクス開発ゼミ	◎	◎	2	4	
	1年生特別専攻ゼミⅠ	－	◎	1	1	
	1年生特別専攻ゼミⅡ	－	◎	1	1	
	2年生特別専攻ゼミⅠ	－	◎	1	2	
	2年生特別専攻ゼミⅡ	－	◎	1	2	
	特別専攻海外研修	－	◎	2	3	
	卒業制作プロジェクト	□	－	6	4	
	卒業研究	□	◎	6	4	
	(認定)					
	家電技術者検定Ⅰ	○	○	2	1・2・3・4	
	家電技術者検定Ⅱ	○	○	2	1・2・3・4	
	家電情報技術者検定Ⅰ	○	○	2	1・2・3・4	
	家電情報技術者検定Ⅱ	○	○	2	1・2・3・4	
	Lab VIEW アカデミー検定	○	○	2	1・2・3・4	
	(集中講座)					
	エレクトロニクス入門講座 (認定)	○	○	2	1	
	マイコン回路設計講座	○	○	2	1・2・3・4	
	Lab VIEW 特訓講座	○	○	2	2・3・4	
	(Stop the CO ₂ プログラム)					
Stop the CO ₂ 入門	○	－	2	1		
Stop the CO ₂ とライフデザイン	○	－	2	1		
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ	○	－	1	1		
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ	○	－	2	2		
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ	○	－	2	3		
Stop the CO ₂ 最前線	○	－	2	3		
環境と新エネルギー	○	－	2	3		
新素材と省エネ技術	○	－	2	3		
合計				A:140 T:151		
(教職関連)						
工業概論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ 木材加工概論 金属加工概論 機械概論 電気概論 栽培概論 情報とコンピュータ概論 情報と職業	教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。					

(注) *1：一般コースの学生への開講期は4年次となる。また履修に関しては履修条件（104単位以上修得およびGPA 2.0以上）がある。

別表第2 専門教育（2017年度入学生）

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

A：一般 T：医生命科学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年次
		A	T		
専門基礎導入	基礎力学Ⅰ-a	○	-	2	1
	基礎力学Ⅱ-a	○	-	2	1
	基礎電磁気学Ⅰ-a	○	-	2	2
	物理・化学ユニットプログラム	◎	-	3	1
	基礎化学Ⅰ-a	○	-	2	1
	基礎化学Ⅱ-a	○	-	2	1
	地学概論Ⅰ	○	○	2	2
	地学概論Ⅱ	○	○	2	2
	解析学Ⅰ	-	◎	3	1
	解析学Ⅱ	-	○	2	1
	微分方程式	-	○	3	2
	線形代数学	-	○	3	1
	確率統計S	-	◎	2	1
	物理学A	-	◎	3	1
	物理学B	-	○	3	1
	物理学C	-	○	2	2
	物理学D	-	○	2	2
	物理・化学ユニットプログラムS	-	◎	3	1
	化学A	-	◎	2	1
	化学B	-	◎	2	1
ライフサイエンスⅠ	-	◎	2	1	
ライフサイエンスⅡ	-	◎	2	1	
専門基礎	生命科学Ⅰ	◎	○	2	1
	生命科学Ⅱ	◎	○	2	1
	微生物学	○	○	2	1
	バイオ工学基礎	◎	○	2	1
	バイオ物理化学Ⅰ	○	○	2	1
	バイオ物理化学Ⅱ	○	○	2	2
	生化学入門	◎	○	2	1
	分析化学	◎	◎	2	1
	有機化学	◎	◎	2	1
	生物無機化学	○	○	2	1
	化学・生物学基礎実験	-	◎	2	1
	化学・生物学基礎ユニットプログラム	◎	-	4	1
	バイオ基礎ユニットプログラム	◎	◎	3	1
	医科学概論	-	◎	2	1

別表第2 専門教育（2017年度入学生）

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

A：一般 T：医生命科学特別専攻

(◎必修、□選択必修、○選択、－配当なし)

教育区分	授業科目	必選別		単位数	標準年次	
		A	T			
専門	細胞生物学	○	○	2	2	
	分子生物学	○	○	2	2	
	遺伝子工学	○	○	2	2	
	応用微生物学	○	○	2	2	
	植物バイオテクノロジー	○	○	2	3	
	動物バイオテクノロジー	○	○	2	3	
	バイオ機器分析ユニットプログラム	◎	◎	4	2	
	機器分析実験	◎	○	2	3	
	生物工学	○	○	2	3	
	生物有機化学	○	◎	2	2	
	生化学Ⅰ	◎	◎	2	2	
	生化学Ⅱ	◎	◎	2	2	
	高分子科学	○	○	2	3	
	食品化学・微生物学実験	◎	◎	2	2	
	生化学実験	◎	◎	2	2	
	応用バイオ科学実験	◎	○	2	3	
	機器分析	○	-	2	3	
	バイオインフォマティクス実習	○	-	1	3	
	環境・エネルギー	公衆衛生学	○	○	2	2
		環境科学	○	-	2	2
		環境工学	○	-	2	3
		環境保全学	○	-	2	3
	健康・医療	基礎医学	○	◎	2	2
		病態薬理学	○	○	2	3
		免疫化学	○	◎	2	3
		創薬化学	○	-	2	3
		化粧品科学	○	○	2	3
		生理活性物質化学	○	○	2	3
	食品・食糧	生物機能科学	○	○	2	3
		食品機能化学	○	○	2	2
食品衛生学		○	-	2	2	
食品分析学		○	-	2	3	
食品工学		○	-	2	3	
食品加工学		○	-	2	3	
生理学	分子栄養学	○	-	2	3	
	生理学	-	◎	2	2	
	薬理学	-	◎	2	2	
	生命機能材料化学	-	◎	2	3	
	有機反応化学	-	◎	2	3	
	医薬品合成化学	-	◎	2	3	
	先端バイオ科学	○	○	2	3	
	バイオ製品科学	○	○	2	3	
	1年生特別専攻ゼミⅠ	-	◎	1	1	
	1年生特別専攻ゼミⅡ	-	◎	1	1	
	2年生特別専攻ゼミⅠ	-	◎	1	2	
	2年生特別専攻ゼミⅡ	-	◎	1	2	
	3年生特別専攻ゼミ	-	◎	1	3	
	輪講	◎	◎	2	4	
	卒業研究	◎	◎	6		
(オプションプログラム)						
	バイオ総合演習Ⅰ	○	○	1	2	
	バイオ総合演習Ⅱ	○	○	1	3	
	国際コミュニティバイオ英語Ⅰ	○	○	1	2	
	国際コミュニティバイオ英語Ⅱ	○	○	1	2	
	海外バイオ研修Ⅰ	○	○	2	1・2・3	
	海外バイオ研修Ⅱ	○	□	4	3	
	特別専攻海外研修	-	□	2	3	
	バイオ特別実験	○	○	1	1・2・3	
	機器分析特別実験	○	○	2	3	
	課題研究Ⅰ	○	-	1	1・2	
	課題研究Ⅱ	○	-	1	2・3	
	(認定)					
	バイオ技術者中級(検定)	○	○	2	1・2・3・4	
	バイオ技術者上級(検定)	○	○	2	1・2・3・4	
合計		A:146 T:162				
(Stop the CO ₂ プログラム)						
Stop the CO ₂ 入門		Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。				
Stop the CO ₂ とライフデザイン						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ						
Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ						
Stop the CO ₂ 最前線						
環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術 (教職関連)						
工業概論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ 地学実験		教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。				

別表第2 専門教育 (2017年度入学生)
 応用バイオ科学部 栄養生命科学科

(◎必修、○選択)

教育区分	授業科目	必選別	単位数	標準年次		
専門基礎導入	化学基礎	◎	2	1		
	化学基礎実験	◎	1	1		
	生物学概論Ⅰ	○	2	1		
	生物有機化学	○	2	1		
	生命科学概論	◎	2	1		
専門基礎	社会・環境と健康	栄養生命科学概論	◎	2	1	
		健康管理論	◎	2	2	
		公衆衛生学	◎	2	2	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	◎	2	1	
		解剖生理学Ⅱ	◎	2	2	
		解剖生理学実験	◎	1	2	
		生化学Ⅰ	◎	2	1	
		生化学実験Ⅰ	◎	1	1	
		生化学Ⅱ	◎	2	2	
		生化学実験Ⅱ	○	1	2	
		微生物学	○	2	1	
		微生物学実験	○	1	1	
		病理病態学Ⅰ	○	2	2	
	病理病態学Ⅱ	○	2	3		
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	◎	2	1	
		食品学実験Ⅰ	◎	1	1	
		食品学Ⅱ	◎	2	2	
		食品学実験Ⅱ	○	1	2	
		食品衛生学	◎	2	2	
		食品衛生学実験	◎	1	2	
		調理学	◎	2	1	
		調理学実習Ⅰ	◎	1	1	
		調理学実習Ⅱ	◎	1	1	
		調理学実験	◎	1	2	
	専門	基礎栄養学	基礎栄養学	◎	2	2
			基礎栄養学実験	◎	1	2
		応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	◎	2	2
応用栄養学Ⅱ			○	2	3	
応用栄養学Ⅲ			○	2	3	
応用栄養学実習			◎	1	3	
栄養教育論		栄養教育論Ⅰ	◎	2	2	
		栄養教育論Ⅱ	◎	2	3	
		栄養教育論Ⅲ	○	2	3	
		栄養教育論実習Ⅰ	◎	1	3	
		栄養教育論実習Ⅱ	○	1	3	
臨床栄養学		臨床栄養学Ⅰ	◎	2	2	
		臨床栄養学Ⅱ	◎	2	2	
		臨床栄養学Ⅲ	○	2	3	
		臨床栄養学Ⅳ	○	2	3	
		臨床栄養学実習Ⅰ	◎	1	3	
		臨床栄養学実習Ⅱ	◎	1	3	
公衆栄養学		公衆栄養学Ⅰ	◎	2	2	
		公衆栄養学Ⅱ	○	2	3	
		公衆栄養学実習	◎	1	3	

別表第2 専門教育（2017年度入学生）
 応用バイオ科学部 栄養生命科学科

(◎必修、○選択)

教育区分	授業科目		必選別	単位数	標準年次
専門	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	◎	2	2
		給食経営管理論Ⅱ	◎	2	2
		給食経営管理実習	◎	1	2
	総合演習・臨地実習	総合演習	○	2	3・4
		臨床栄養A臨地実習	○	3	4
		臨床栄養B臨地実習	○	2	4
		公衆栄養臨地実習	○	1	4
		給食経営臨地実習	○	1	3
		給食運営臨地実習	◎	1	3
	輪講		○	2	4
	卒業研究		◎	4	4
	専門発展科目	栄養サポートチーム(NST)論	○	2	3
		食品加工学	○	2	3
		食品工学	○	2	3
		食品官能評価論	○	2	3
		食品物性学	○	2	3
		食品分析学	○	2	3
		食品機能学	○	2	3
		管理栄養士基礎セミナー	○	2	2
		専門演習Ⅰ	○	1	4
専門演習Ⅱ		○	1	4	
給食経営システム論	○	2	3		
専門関連科目	分子栄養学	○	2	3	
	臨床生化学	○	2	4	
	Web技術入門	○	2	2	
	画像情報処理	○	2	2	
	情報統計	○	2	3	
	基礎栄養学概論	○	2	1	
プロジェクト科目	+α 資格取得プロジェクトⅠ(食品産業)	○	2	3・4	
	+α 資格取得プロジェクトⅡ(スポーツ栄養)	○	2	3・4	
	+α 資格取得プロジェクトⅢ(家電)	○	2	3・4	
	+α 資格取得プロジェクトⅣ(臨床栄養)	○	2	3・4	
	+α 資格取得プロジェクトⅤ(食育)	○	2	3・4	
合計				143	
(Stop the CO ₂ プログラム)					
Stop the CO ₂ 入門 Stop the CO ₂ とライフデザイン Stop the CO ₂ プロジェクトⅠ Stop the CO ₂ プロジェクトⅡ Stop the CO ₂ プロジェクトⅢ Stop the CO ₂ 最前線 環境と新エネルギー 新素材と省エネ技術			Stop the CO ₂ プログラム 別表第3参照 (注)卒業要件上、修得後の単位については、任意として集計される。		
(教職関連)					
学校栄養指導論 食育指導論			教科に関する専門科目 別表第4-2参照 (注1)卒業要件単位数には含まない。 (注2)教職課程登録者のみ履修可。		

別表第2 専門教育(2017年度入学生)

看護学部 看護学科

(◎必修、○選択)

教育区分	授業科目の名称	必選別	単位数	標準年次	
専門基礎導入・専門基礎教育	専門基礎導入	○	1	1	
	看護師のための生物・化学基礎	○	1	1	
	人体の構造と回復機能・疾病の病態学	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	◎	2	1
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	◎	2	1
		感染免疫学	◎	2	1
		病態学	◎	2	1
		薬理学	◎	2	2
		臨床栄養学	◎	2	3
		臨床心理学	◎	1	3
		疾病治療学Ⅰ(内科系)	◎	2	1
		疾病治療学Ⅱ(外科系)	◎	2	2
		疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	◎	1	2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	◎	1	2	
	社会保健支援と健康制度	社会福祉学	◎	2	3
		公衆衛生学	◎	1	2
		疫学Ⅰ	◎	1	3
		疫学Ⅱ	○	1	3
		保健医療福祉行政論Ⅰ	◎	1	3
		保健医療福祉行政論Ⅱ	○	2	3
		保健統計学Ⅰ	◎	1	3
保健統計学Ⅱ	○	1	4		
看護の基本	基礎看護学概論	◎	2	1	
	看護倫理	◎	1	2	
	看護技術総論(基本技術)	◎	1	1	
	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	◎	2	1	
	基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	◎	1	1	
	基礎看護技術Ⅲ(診療援助技術)	◎	2	2	
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	◎	1	2	
	健康教育学	◎	1	1	
	看護のための人間工学	◎	1	1	
	地域保健医療看護論	◎	1	1	
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	◎	1	1	
	基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程実習)	◎	2	2	
	人間の発達段階と看護活動	成人看護学概論	◎	1	1
成人看護活動論Ⅰ(急性期)		◎	2	1	
成人看護活動論Ⅱ(慢性期)		◎	2	2	
成人看護活動論Ⅲ(成人看護技術)		◎	1	2	
成人看護学実習Ⅰ(急性期)		◎	3	3・4	
成人看護学実習Ⅱ(慢性期)		◎	3	3・4	
老年看護学概論		◎	1	1	
老年看護活動論Ⅰ		◎	2	2	
老年看護活動論Ⅱ		◎	1	2	
老年看護学実習Ⅰ(地域)		◎	1	3	
老年看護学実習Ⅱ(施設)		◎	1	3・4	
老年看護学実習Ⅲ(病棟)		◎	2	3・4	
小児看護学概論		◎	1	2	
小児看護活動論Ⅰ		◎	2	2	
小児看護活動論Ⅱ		◎	1	3	
小児看護学実習Ⅰ(発達援助)		◎	1	3	
小児看護学実習Ⅱ(療養)		◎	1	3・4	
母性看護学概論		◎	1	2	
母性看護活動論Ⅰ		◎	2	2	
母性看護活動論Ⅱ		◎	1	3	
母性看護学実習	◎	2	3・4		
精神看護学概論	◎	1	2		
精神看護活動論Ⅰ	◎	2	2		
精神看護活動論Ⅱ	◎	1	3		
精神看護学実習	◎	2	3・4		
看護の統合と発展	在宅看護学概論	◎	1	2	
	在宅看護活動論Ⅰ	◎	2	2	
	在宅看護活動論Ⅱ	◎	1	3	
	在宅看護学実習	◎	2	3・4	
	医療安全学	◎	1	3	
	看護管理学	○	1	3	
	国際看護学	○	1	4	
	家族看護学	○	1	4	
	認知症ケア論	○	1	4	
	スピリチュアルケア論	○	1	4	
	実践総合演習(OSCE)	◎	1	3	
	看護統合実習	◎	2	4	
	専門職間連携活動論	◎	1	4	
医療機器と在宅技術Ⅰ	◎	1	3		
医療機器と在宅技術Ⅱ	◎	1	4		
災害看護学	◎	1	2		
災害看護活動論	◎	1	3		
看護研究	看護研究Ⅰ	◎	2	3	
	看護研究Ⅱ	◎	2	4	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	◎	1	2	
	公衆衛生看護活動論	○	2	3	
	公衆衛生看護管理論	○	1	4	
	学校看護学	○	1	3	
	産業看護学	○	1	3	
	公衆衛生看護技術論	○	1	3	
	産業・学校看護学実習	○	1	4	
公衆衛生看護学実習	○	4	4		
合計			121		

別表第3 Stop the CO₂プログラム(2017年度入学生)

- Mー工学部機械工学科 (MS クリエイティブエンジニアコース、MJ グローバルエンジニアコース、MF 航空宇宙学専攻)
 Eー工学部電気電子情報工学科 (EA 実践的エンジニアコース、EB グローバルエンジニアコース、EC 電気工事・施工管理助手コース)
 Cー工学部応用化学科 (CA 化学応用コース、CJ 総合化学エンジニアコース)
 Aー工学部臨床工学科
 Iー情報学部情報工学科 (スポーツ情報科学コース、サウンドコミュニケーションコース含む)
 Nー情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科 (スポーツ情報科学コース、サウンドコミュニケーションコース含む)
 Dー情報学部情報メディア学科 (スポーツ情報科学コース、サウンドコミュニケーションコース含む)
 Vー創造工学部自動車システム開発工学科
 Rー創造工学部ロボット・メカトロニクス学科
 Hー創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科
 Bー応用バイオ科学部応用バイオ科学科
 Lー応用バイオ科学部栄養生命科学科
 Uー看護学部看護学科
 特別専攻ー機械工学、環境エネルギー、医生命科学、ICTスペシャリスト、次世代自動車開発、ロボットクリエイター
 (○選択、△自由、-配当無し)

授業科目	必選別																	単位数	標準年次		
	工学部									情報学部			創造工学部			応用バイオ科学部				看護学部	特別専攻
	MS	MJ	MF	EA	EB	EC	CA	CJ	A	I	N	D	V	RS	H	B	L				
[Stop the CO ₂ 専用科目群]																					
a群	Stop the CO ₂ 入門	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	1	
	Stop the CO ₂ とライフデザイン	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	1	
	Stop the CO ₂ プロジェクトI	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	1	1	
b群	Stop the CO ₂ プロジェクトII	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	2	
	Stop the CO ₂ プロジェクトIII	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	3	
c群	Stop the CO ₂ 最前線	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	3	
	環境と新エネルギー	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	3	
	新素材と省エネ技術	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	2	3	
[各学科提供StopTheCO ₂ 関連科目群]																					
環境伝熱学	[M科開講科目]																				
環境・エネルギー	[E科開講科目]																				
エネルギーと電力システム制御	[E科開講科目]																				
環境保全・エコロジー	[C科開講科目]																				
大気・水質環境	[C科開講科目]																				
エネルギー化学入門J	[C科開講科目]																				
自動車エンジン工学	[V科開講科目]																				
スマートハウスとエネルギー管理	[H科開講科目]																				
微生物学	[B科開講科目]																				
生物工学	[B科開講科目]																				

- [Stop the CO₂専用科目群・各学科提供StopTheCO₂関連科目群] の配当学科以外の科目は、他学科履修となります。
- Stop the CO₂プログラムの科目から、15単位以上を修得した場合に修了証を交付する。
 なお、a群からc群は、各群1科目以上合計9単位以上の修得を条件とする。

別表第4の1 教職に関する科目(2017年度入学生)

(◎必修, □選択必修, - 配当無し)

授業科目	必修別								単位数	標準年次
	中学校			高等学校				栄養数論		
	数学	理科	技術	工業	数学	理科	情報			
教職概論	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	1
学校と教育の歴史	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	2
教育心理学	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	1
教育行政論	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	2
教育課程論	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	3
工業科教育法Ⅰ	-	-	-	◎	-	-	-	-	2	3
工業科教育法Ⅱ	-	-	-	◎	-	-	-	-	2	3
情報科教育法Ⅰ	-	-	-	-	-	-	◎	-	2	3
情報科教育法Ⅱ	-	-	-	-	-	-	◎	-	2	3
理科教育法Ⅰ	-	□	-	-	-	□	-	-	2	2
理科教育法Ⅱ	-	□	-	-	-	□	-	-	2	2
理科教育法Ⅲ	-	□	-	-	-	□	-	-	2	3
理科教育法Ⅳ	-	□	-	-	-	□	-	-	2	3
数学科教育法Ⅰ	□	-	-	-	□	-	-	-	2	2
数学科教育法Ⅱ	□	-	-	-	□	-	-	-	2	2
数学科教育法Ⅲ	□	-	-	-	□	-	-	-	2	3
数学科教育法Ⅳ	□	-	-	-	□	-	-	-	2	3
技術科教育法Ⅰ	-	-	□	-	-	-	-	-	2	2
技術科教育法Ⅱ	-	-	□	-	-	-	-	-	2	2
技術科教育法Ⅲ	-	-	□	-	-	-	-	-	2	3
技術科教育法Ⅳ	-	-	□	-	-	-	-	-	2	3
道徳教育の理論と実践	◎	◎	◎	-	-	-	-	◎	2	2
特別活動の指導法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	2
教育方法論	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	3
生徒指導	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	1
教育相談	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	2
教育実習Ⅰ	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	2	4
教育実習Ⅱ(事前事後指導1単位含)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	3	4
栄養教育実習	-	-	-	-	-	-	-	◎	2	3
教職実践演習(中・高)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	2	4
教職実践演習(栄養数論)	-	-	-	-	-	-	-	◎	2	4

別表第4の2 教科に関する専門科目(2017年度入学生)

- M-工学部機械工学科(MF-航空宇宙学専攻、MS-クリエイティブエンジニアコース、MJ-グローバルエンジニアコース、T-機械工学特別専攻)
 E-工学部電気電子情報工学科(EA-実践的エンジニアコース、EB-グローバルエンジニアコース、EC-電気工事・施工管理エキスパートコース、ET-環境エネルギー特別専攻)
 C-工学部応用化学科(CA-化学応用コース、CJ-総合化学エンジニアコース、CT-医生命科学特別専攻)
 I-情報学部情報工学科(A-一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース、T-ICTスペシャリスト特別専攻)
 N-情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科(A-一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース、T-ICTスペシャリスト特別専攻)
 D-情報学部情報メディア学科(A-一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース、T-ICTスペシャリスト特別専攻)
 V-創造工学部自動車システム開発工学科(A-一般、T-次世代自動車開発特別専攻)
 R-創造工学部ロボット・メカトロニクス学科(RS-一般、T-ロボットクリエイター特別専攻)
 H-創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科(A-一般、T-環境エネルギー特別専攻)
 B-応用バイオ科学部応用バイオ科学科(A-一般、T-医生命科学特別専攻)
 L-応用バイオ科学部栄養生命科学科

(◎必修、○選択、-配当なし)

授業科目	必選別								単位数	標準年限	
	中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状				栄養教諭一種免許状			
	技術	数学	理科	工業	数学	理科	情報				
	対象学科			対象学科				対象学科			
	M・E・R・H	M・E	C・B	M・E・C・I・N・D・V・R・H・B	M・E	C・B	I・N・D				L
教職関連	工業概論	-	-	-	◎	-	-	-	-	2	1
	職業指導Ⅰ	-	-	-	◎	-	-	-	-	2	3
	職業指導Ⅱ	-	-	-	◎	-	-	-	-	2	3
	情報と職業	-	-	-	-	-	-	○	-	2	3
	地学実験	-	-	◎	-	-	○	-	-	1	3
	幾何学	-	◎	-	-	◎	-	-	-	2	2
	代数学	-	○	-	-	○	-	-	-	2	3
	統計学	-	○	-	-	○	-	-	-	2	3
	木材加工概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	金属加工概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	機械概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	電気概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	栽培概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	情報とコンピュータ概論	◎	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	学校栄養指導論	-	-	-	-	-	-	-	◎	2	2
	食育指導論	-	-	-	-	-	-	-	◎	2	3

別表第4の3 教員免許状の種類（2017年度入学生）

免許状授与の所要資格を得させるための課程をおく学部・学科		免許状の種類	免許教科	
工学部	機械工学科 電気電子情報工学科	中学校教諭一種免許状	技術 数学	
		高等学校教諭一種免許状	工業 数学	
	応用化学科	中学校教諭一種免許状	理科	
		高等学校教諭一種免許状	工業 理科	
	情報学部	情報工学科 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 情報メディア学科	高等学校教諭一種免許状	工業
				情報
創造工学部	自動車システム開発工学科	高等学校教諭一種免許状	工業	
	ロボット・メカトロニクス学科	中学校教諭一種免許状	技術	
		高等学校教諭一種免許状	工業	
	ホームエレクトロニクス開発学科	中学校教諭一種免許状	技術	
高等学校教諭一種免許状		工業		
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	中学校教諭一種免許状	理科	
		高等学校教諭一種免許状	工業 理科	
	栄養生命科学科	栄養教諭一種免許状		

別表第4の4 学芸員課程に関する科目(2017年度入学生)

(◎必修)

授業科目		必選別				単位数	標準年次
		*工学部	情報学部	創造工学部	*応用バイオ科学部		
博物館に関する科目	生涯学習概論	◎	◎	◎	◎	2	1
	博物館概論	◎	◎	◎	◎	2	1
	博物館経営論	◎	◎	◎	◎	2	2
	博物館資料論	◎	◎	◎	◎	2	2
	博物館資料保存論	◎	◎	◎	◎	2	2
	博物館展示論	◎	◎	◎	◎	2	1
	博物館情報・メディア論	◎	◎	◎	◎	2	1
	博物館教育論	◎	◎	◎	◎	2	1
	博物館実習Ⅰ	◎	◎	◎	◎	1	2
	博物館実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	2	3

*工学部臨床工学科、応用バイオ科学部栄養生命科学科を除く。

- ・「学芸員」資格の要件：[学芸員課程に関する科目]の必修科目19単位を修得すること。
- ・「生涯学習概論」「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館情報・メディア論」「博物館教育論」の8科目16単位は、卒業要件の自由科目に含める事が出来る。

科目区分	概要	履修要件
博物館実習Ⅰ	事前実務指導 (学内実習など)	学芸員課程に関する科目のうち、必修科目10単位以上修得していること
博物館実習Ⅱ	博物館実習 (事前事後の指導を含む)	博物館実習Ⅰを修得していること

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

工学部 機械工学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数			
			S	J	F	
共通基盤教育	導入系	必修	1	1	1	
	倫理系	必修	-	2	2	
		選択	2	-	-	
	人文社会系	必修	2	2	2	
		a群	選択	4	6	4
		b群	選択	2	2	2
		c群	選択	2	2	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	4	-	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	1	1	
	英語基礎系	選択	4	4	4	
	言語応用系	必修	-	2	-	
		選択	4	3	4	
	数理情報系	必修	4	4	-	
		選択	2	2	6	
キャリア系	必修	3	3	3		
(小計)			(35)	(34)	(33)	
専門教育	必修		32	58	55	
	専門基礎導	a～h群 選必	17	20	18	
	専門基礎	a～f群 選必	12	-	-	
	専門	選必	4	2[4]	2[4]	
		選択	14	10	16	
	(小計)			(79)	(90)	(91)
任意			10	-	-	
合計			124	124	124	

機械工学特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
		必修	6	
	人文社会系	a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
(小計)			(38)	
専門教育	必修		27	
	専門基礎導入	必修	27	
	専門基礎	必修	24	
	専門	選必	8[10]	
		選択	-	
(小計)			(86)	
任意			-	
合計			124	

注1) S（クリエイティブエンジニア）コース、J（グローバルエンジニア）コース、F（航空宇宙学）専攻

注2) 各群から1科目を択一し修得すること。

注3) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

工学部 電気電子情報工学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数			
			A	B	C	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	1	1	
	倫理系	必修	—	2	—	
		選択	2	—	2	
	人文社会系	必修	2	2	2	
		a群	選択	4	6	4
		b群	選択	2	2	2
		c群	選択	2	2	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2	—	2
	健康・スポーツ系	選択	1	1	1	
	英語基礎系	選択	4	4	4	
	言語応用系	選必	—	3	—	
		選択	3	2	3	
	数理情報系	必修	4	4	4	
		選択	2	2	2	
キャリア系	必修	3	3	3		
(小計)			(32)	(34)	(32)	
専門教育	専門基礎導入	必修	34	47	38	
	専門基礎	a～d群	選必	7	9	7
		a～c群	選必	6	8	6
	専門	選択	8	—	8	
		a～d群	選必	2	6	2
		選択	22	16	18	
	(小計)			(79)	(90)	(79)
任意			13	—	13	
合計			124	124	124	

環境エネルギー特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
		必修	6	
	人文社会系	a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
(小計)			38	
専門教育	専門基礎導入	必修	15	
	専門基礎	必修	29	
	専門	必修	21	
		選必	4	
	選択	17		
(小計)			86	
合計			124	

注1) A（実践的エンジニア）コース、B（グローバルエンジニア）コース、C（電気工事・施工管理助手）コース

注2) 各コースともa, b, d群において各1科目を択一し修得すること。またBコースはc群において1科目以上修得すること。

注3) A・Cコースはa, b群から各1科目を択一し修得すること。Bコースはc群から3科目8単位以上の選択必修科目を修得する。

注4) A・Cコースは, d群から1科目を択一し修得すること。Bコースはa, b, c群から各1科目以上を選択し修得すること。

注5) 任意とは以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、
Stop the CO2プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

工学部 応用化学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数		
			A	J	
共通基盤教育	導入系	必修	1	1	
	倫理系	必修	—	2	
		選択	2	—	
	人文社会系	a 群	必修	2	2
			選必	—	2
			選択	—	4
		b 群	選必	—	2
			選択	4	—
			選択	2	—
		c 群	選必	—	2
			選択	2	—
			選択	2	—
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2	—
	健康・スポーツ系		選択	1	1
	英語基礎系		選択	4	4
	言語応用系		必修	—	3
選択			3	2	
数理情報系		必修	6	6	
キャリア系		必修	3	3	
(小計)			(32)	(34)	
専門教育			必修	23	58
	専門基礎導	a～f 群	選必	6	12
	専門基礎	a～i 群	選必	22	—
	専門	プロジェクト 専門科目	選必	—	8
		卒研準備群	選必	4	4
			選択	20	—
(小計)			(75)	(82)	
任意			17	8	
合計			124	124	

医生命科学特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a 群	選択	2
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
	(小計)			(38)
専門教育	専門基礎導入	必修	19	
	専門基礎	必修	35	
	専門	必修	30	
		選必	2	
(小計)			(86)	
合計			124	

注1) A（化学応用）コース、J（総合化学エンジニア）コース

注2) 各群から1科目を択一し修得すること。

注3) プロジェクト専門科目から4科目以上（択一したプロジェクトから3科目以上）を修得すること。

注4) 卒研準備群から1科目を択一し修得すること。

注5) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

工学部 臨床工学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系	a 群	選択	4
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	4	
	言語応用系	選択	3	
数理情報系	選択	2		
(小計)			(21)	
専門教育	専門基礎分野	人体の構造及び機能	必修	6
		医学的基礎	必修	14
		理工学的基礎	必修	20
		医療情報技術とシステム工学の基礎	必修	8
		(小計)		
	専門分野	医用生体工学	必修	10
		医用機器学	必修	8
		生体機能代行技術学	必修	13
		医用安全管理学	必修	6
		関連臨床医学	必修	6
		臨床実習	必修	4
		その他	必修	4
	(小計)			(51)
			選択	4
任意			12	
合計			136	

注1) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目

臨床工学技士の国家試験の受験資格を得るためには、医用電気電子工学実習、医療統計学、放射線概論、画像診断機器学、人間工学、臨床人間工学、臨床検査概論、救急救命医学、チーム医療論の9科目を履修しなければならない。

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

情報学部 情報工学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数			
			A	B	C	
共通基盤 教育	導入系	必修	1	1	1	
	倫理系	必修	2	2	2	
	人文社会系		必修	2	2	2
		a群	選択	4	4	4
		b群	選択	2	2	2
		c群	選択	2	2	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	2	2	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	1	1	
	英語基礎系	選択	4	4	4	
	言語応用系	選必	2	2	2	
		選択	1	1	1	
	数理情報系	必修	6	6	6	
	キャリア系	必修	3	3	3	
(小計)			(32)	(32)	(32)	
専門教育		必修	30	30	30	
		選択	45	45	45	
	(小計)			(75)	(75)	(75)
任意			17	17	17	
合計			124	124	124	

ICTスペシャリスト特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
	(小計)			(40)
	専門教育		必修	11
専門基礎導入		a群	選必	2
		b群	選必	2
専門基礎・専門		必修	44	
			選択	25
(小計)			(84)	
合計			124	

注1) A-一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース

注2) 1科目以上を選択し修得すること。

注3) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数				
			A	B	C		
共通基盤教育	導入系	必修	1	1	1	*注1	
	倫理系	必修	2	2	2		
	人文社会系	必修	2	2	2		
		a群	選択	4	4		4
		b群	選択	2	2		2
		c群	選択	2	2		2
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	2	2	2		
	健康・スポーツ系	選択	1	1	1		
	英語基礎系	選択	4	4	4		
	言語応用系	選必	2	2	2		*注2
		選択	1	1	1		
	数理情報系	必修	6	6	6		
キャリア系	必修	3	3	3			
(小計)			(32)	(32)	(32)		
専門教育	必修	34	32	32	*注3		
	選択	41	43	43			
	(小計)	(75)	(75)	(75)			
任意			17	17	17		
合計			124	124	124		

ICTスペシャリスト特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数		
共通基盤教育	導入系	必修	1	*注2	
	倫理系	選必	2		
	人文社会系	必修	6		
		a群	選択		2
		b群	選択		2
		c群	選択		2
	健康・スポーツ系	選択	1		
	英語基礎系	必修	8		
	言語応用系	必修	6		
	数理情報系	必修	2		
	キャリア系	必修	6		
			選択		2
		(小計)	(40)		
専門教育	専門基礎導入	必修	11	*注2	
		a群	選必		2
		b群	選必	2	*注2
	専門基礎・専門	必修	48		
		選択	21		
		(小計)	(84)		
合計			124		

注1) A-一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース

注2) 1科目以上を選択し修得すること。

注3) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

情報学部 情報メディア学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数				
			A	B	C		
共通基盤教育	導入系	必修	1	1	1	*注1	
	倫理系	必修	2	2	2		
	人文社会系	必修	2	2	2		
		a群	選択	4	4		4
		b群	選択	2	2		2
		c群	選択	2	2		2
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	2	2	2		
	健康・スポーツ系	選択	1	1	1		
	英語基礎系	選択	4	4	4		
	言語応用系	選必	2	2	2		*注2
		選択	1	1	1		
	数理情報系	必修	6	6	6		
キャリア系	必修	3	3	3			
(小計)			(32)	(32)	(32)		
専門教育	必修	30	30	30	*注3		
	選択	45	45	45			
	(小計)	(75)	(75)	(75)			
任意			17	17	17		
合計			124	124	124		

ICTスペシャリスト特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要単位数		
共通基盤教育	導入系	必修	1	*注2	
	倫理系	選必	2		
	人文社会系	必修	6		
		a群	選択		2
		b群	選択		2
		c群	選択		2
	健康・スポーツ系	選択	1		
	英語基礎系	必修	8		
	言語応用系	必修	6		
	数理情報系	必修	2		
	キャリア系	必修	6		
	(小計)				(40)
専門教育	必修	11	*注2		
	専門基礎導入	a群		選必	2
		b群		選必	2
	専門基礎・専門	必修		44	
選択			25		
(小計)			(84)		
合計			124		

注1) A一般、B-スポーツ情報科学コース、C-サウンドコミュニケーションコース

注2) 1科目以上を選択し修得すること。

注3) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

創造工学部 自動車システム開発工学科

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選択	2	
	人文社会系		必修	2
		a群	選択	4
		b群	選択	2
	c群	選択	2	
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	4	
	言語応用系	選択	3	
	数理情報系	必修	6	
	キャリア系	必修	3	
	(小計)			(32)
専門教育		必修	21	
	a群～m群	選必	27	
		選択	34	
	(小計)			(82)
任意			10	
合計			124	

注1) 各群から1科目を択一し修得すること。

注2) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO2プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

注3) 専門教育の卒業要件をオーバーした取得単位、他学科・他大学科目に関する一部修得単位。

注4) 専門教育86単位以上には必修科目56単位、選択必修科目12単位以上（マルチボディダイナミクスS、材料強度学S、応用熱力学S、カーエアロダイナミクスS、制御工学Sの5科目中3科目以上。次世代自動車力学、次世代自動車動力、次世代車両構造系ダイナミクス、次世代自動車制御、次世代自動車情報通信、次世代自動車安全の6科目中3科目以上）を修得することを含む。

次世代自動車開発特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a群	選択	2
		b群	選択	2
	c群	選択	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
	(小計)			(38)
	専門教育	専門基礎導入	必修	24
専門基礎		必修	18	
専門			必修	14
			選必	12
			選択	14
	任意	4		
(小計)			(86)	
合計			124	

*注3

*注4

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通基盤 教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選択	2	
	人文社会系		必修	2
		a群	選択	4
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	4	
	言語応用系	必修	2	
		選択	1	
	数理情報系	必修	6	
	キャリア系	必修	3	
		(小計)	(32)	
専門教育		必修	26	
		選必	20	
		選択	36	
			(小計)	(82)
任意			10	
合計			124	

*注1

ロボットクリエイター特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通基盤 教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
			(小計)	(38)
	専門教育	専門基礎導入	a群	必修
b群			選必	2
専門基礎・専門			必修	28
			選必	20
			選択	20
		(小計)	(83)	
任意			3	
合計			124	

注1) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系		必修	2
		a 群	選択	4
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英語基礎系		選択	4
	言語応用系		選択	4
	数理情報系		必修	8
キャリア系		必修	3	
(小計)			(35)	
専門教育		必修	60	
	専門基礎導入	選必	3	
	専門基礎・専門	選必	6	
		選択	7	
(小計)			(76)	
任意			13	
合計			124	

*注1

*注2

*注3

注1) 各群から1科目を択一し修得すること。

注2) 卒業制作プロジェクトあるいは、卒業研究のいずれかの科目を修得すること。

注3) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a 群	選択	2
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英語基礎系		必修	8
	言語応用系		必修	6
	数理情報系		必修	2
	キャリア系		必修	6
(小計)			(38)	
専門教育	専門基礎導入	必修	15	
	専門基礎・専門	必修	58	
		選択	13	
(小計)			(86)	
合計			124	

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系		必修	2
		a 群	選択	4
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	4	
	言語応用系	選択	3	
	数理情報系	必修	6	
キャリア系	必修	3		
(小計)			(32)	
専門教育		必修	46	
		選択	30	
	(小計)		(76)	
任意			16	
合計			124	

医生命科学特別専攻

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通 基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	選必	2	
	人文社会系		必修	6
		a 群	選択	2
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	必修	8	
	言語応用系	必修	6	
	数理情報系	必修	2	
	キャリア系	必修	6	
(小計)			(38)	
専門教育	専門基礎導入	必修	19	
	専門基礎	必修	11	
	専門	必修	41	
		選必	2	
		選択	13	
	(小計)			(86)
合計			124	

注1) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

応用バイオ科学部 栄養生命科学科

教育区分		必選別	卒業必要 単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系	a 群	選択	4
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	2	
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英語基礎系	選択	4	
	言語応用系	選択	3	
	数理情報系	必修	6	
	(小計)		(27)	
専門教育		必修	64	
		選択	29	
		(小計)	(93)	
任意			4	
合計			124	

*注1

注1) 任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他
 大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自
 由科目、教職・学芸員課程に関する一部修得単位

別表第5 卒業要件（2017年度入学生）

看護学部看護学科

教育区分		必選別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導入系	必修	1
	人文社会系	必修	2
	健康・スポーツ系	選択	1
	英語基礎系	選択	2
	言語応用系	必修	5
	数理情報系	必修	2
		選択	4
	(小計)	(17)	
専門基礎導入・ 専門基礎教育	人体の構造機能・疾病と回復促進	必修	19
	健康支援と社会保障制度	必修	6
		選択	4
		(小計)	(29)
専門教育	看護の基本	必修	16
	人間の発達段階と看護活動	必修	38
	看護の統合と発展	必修	15
	看護研究	必修	4
	公衆衛生看護学	必修	1
		選択	4
	(小計)	(78)	
合計			124

別表第6 入学検定料・学生納付金（2017年度入学生）

学 科	費 目	入学検定料	入学金	授業料		合計	
				1年次	2年次	3年次	4年次
工学部	機械工学科 電気電子情報工学科 応用化学科	① 30,000円 ② 15,000円	170,000円	1年次	1,370,000円	1年次	1,540,000円
情報学部	情報工学科 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 情報メディア学科			2年次	1,380,000円	2年次	1,380,000円
				3年次	1,390,000円	3年次	1,390,000円
				4年次	1,400,000円	4年次	1,400,000円
創造工学部	自動車システム開発工学科 ロボット・メカトロニクス学科 ホームエレクトロニクス開発学科						
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科						

学 科	費 目	入学検定料	入学金	授業料		合計	
				1年次	2年次	3年次	4年次
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	① 30,000円 ② 15,000円	170,000円	1年次	1,470,000円	1年次	1,640,000円
工学部	臨床工学科			2年次	1,480,000円	2年次	1,480,000円
				3年次	1,490,000円	3年次	1,490,000円
				4年次	1,500,000円	4年次	1,500,000円
看護学部	看護学科	190,000円	190,000円	1年次	1,460,000円	1年次	1,650,000円
				2年次	1,470,000円	2年次	1,470,000円
				3年次	1,480,000円	3年次	1,480,000円
				4年次	1,490,000円	4年次	1,490,000円
				1年次	1,660,000円	1年次	1,850,000円
				2年次	1,670,000円	2年次	1,670,000円
				3年次	1,680,000円	3年次	1,680,000円
				4年次	1,690,000円	4年次	1,690,000円

- (注) 1. この表の学生納付金は平成28年度以降に入学する学生に適用する。但し、平成27年度以前に入学した学生は、その入学年度に定めた学生納付金を納付する。
2. 表中の入学検定料①は、推薦入試、アドミッションズ・オフィス入試、一般入試並びに編入学、学士入学、再入学の各試験に適用し、②は、センター方式(大学入試センター試験利用による選抜)入試に適用する。
3. 編入学・学士入学・再入学する学生の納付金は、入学検定料及び入学金について当該入学年度の納付金額とし、その他の納付金は、編入学・学士入学・再入学の対象となる学年が納付する金額とする。
4. 休学者は、学生納付金(学籍管理費)として、半期5万円、年間10万円を納付する。

別表第7 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の納付金（2017年度入学生）

研究生及び科目等履修生の納付金

(1) 研究生納付金

費 目	金 額	備 考
入学検定料	15,000円	
入 学 金	100,000円	本学卒業生は入学金を免除する
授 業 料	200,000円	(年額)

(2) 科目等履修生の納付金

費 目	金 額	備 考
入学検定料	15,000円	
履 修 料	10,000円	1単位あたり

(3) 特別聴講学生の納付金

費 目	金 額	備 考
授 業 料	10,000円	1単位あたり

神奈川工科大学学則の一部変更[収容定員変更]

1. 変更事項及び変更理由

- (1) 神奈川工科大学学則第2条(学部・学科及び収容定員)の工学部電気電子情報工学科、情報学部情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、創造工学部自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学部応用バイオ科学科の入学定員、収容定員を変更する。

理由：本学は、社会的な要請や受験生の動向を踏まえ教育研究組織と教育研究環境の整備・充実に努めている。今後も高等教育機関として、使命と役割を一層果たしていくため別紙のとおり入学定員を変更する。

2. 変更年月日

平成29年4月1日

3. 新旧対照表

別添のとおり

以上

神奈川工科大学学則の一部変更[収容定員変更] 新旧対照表

改正 (新)	現行 (旧)																																																																																																										
<p>神奈川工科大学学則 (2017年度)</p> <p>第1条から第1条の5省略</p> <p>(学部・学科及び収容定員)</p> <p>第2条 本学に次の学部及び学科を置き、その収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工学部</td> <td>機械工学科</td> <td>120名</td> <td>480名</td> </tr> <tr> <td>電気電子情報工学科</td> <td>78名</td> <td>312名</td> </tr> <tr> <td>応用化学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td>40名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報学部</td> <td>情報工学科</td> <td>155名</td> <td>620名</td> </tr> <tr> <td>情報ネットワーク・コミュニケーション学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>情報メディア学科</td> <td>165名</td> <td>660名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">創造工学部</td> <td>自動車システム開発工学科</td> <td>55名</td> <td>220名</td> </tr> <tr> <td>ロボット・メカトロニクス学科</td> <td>50名</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>ホームエレクトロニクス開発学科</td> <td>40名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>応用バイオ科学部</td> <td>応用バイオ科学科</td> <td>125名</td> <td>500名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>栄養生命科学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,148名</td> <td>4,592名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 前項の他に教職課程及び学芸員課程を置く。</p> <p>第2条の2から第50条省略</p> <p>附則</p> <p>1. ～42. 省略</p> <p>43. この学則は、平成28年4月1日から施行する。</p> <p>44. この学則は、平成29年4月1日から施行する。</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	工学部	機械工学科	120名	480名	電気電子情報工学科	78名	312名	応用化学科	60名	240名	臨床工学科	40名	160名	情報学部	情報工学科	155名	620名	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	100名	400名	情報メディア学科	165名	660名	創造工学部	自動車システム開発工学科	55名	220名	ロボット・メカトロニクス学科	50名	200名	ホームエレクトロニクス開発学科	40名	160名	応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	125名	500名		栄養生命科学科	80名	320名	看護学部	看護学科	80名	320名		計	1,148名	4,592名	<p>神奈川工科大学学則 (2016年度)</p> <p>第1条から第1条の5省略</p> <p>(学部・学科及び収容定員)</p> <p>第2条 本学に次の学部及び学科を置き、その収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工学部</td> <td>機械工学科</td> <td>120名</td> <td>480名</td> </tr> <tr> <td>電気電子情報工学科</td> <td>70名</td> <td>280名</td> </tr> <tr> <td>応用化学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td>40名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報学部</td> <td>情報工学科</td> <td>140名</td> <td>560名</td> </tr> <tr> <td>情報ネットワーク・コミュニケーション学科</td> <td>95名</td> <td>380名</td> </tr> <tr> <td>情報メディア学科</td> <td>150名</td> <td>600名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">創造工学部</td> <td>自動車システム開発工学科</td> <td>50名</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>ロボット・メカトロニクス学科</td> <td>40名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>ホームエレクトロニクス開発学科</td> <td>40名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>応用バイオ科学部</td> <td>応用バイオ科学科</td> <td>120名</td> <td>480名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>栄養生命科学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,085名</td> <td>4,340名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 前項の他に教職課程及び学芸員課程を置く。</p> <p>第2条の2から第50条省略</p> <p>附則</p> <p>1. ～42. 省略</p> <p>43. この学則は、平成28年4月1日から施行する。</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	工学部	機械工学科	120名	480名	電気電子情報工学科	70名	280名	応用化学科	60名	240名	臨床工学科	40名	160名	情報学部	情報工学科	140名	560名	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	95名	380名	情報メディア学科	150名	600名	創造工学部	自動車システム開発工学科	50名	200名	ロボット・メカトロニクス学科	40名	160名	ホームエレクトロニクス開発学科	40名	160名	応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	120名	480名		栄養生命科学科	80名	320名	看護学部	看護学科	80名	320名		計	1,085名	4,340名
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																								
工学部	機械工学科	120名	480名																																																																																																								
	電気電子情報工学科	78名	312名																																																																																																								
	応用化学科	60名	240名																																																																																																								
	臨床工学科	40名	160名																																																																																																								
情報学部	情報工学科	155名	620名																																																																																																								
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	100名	400名																																																																																																								
	情報メディア学科	165名	660名																																																																																																								
創造工学部	自動車システム開発工学科	55名	220名																																																																																																								
	ロボット・メカトロニクス学科	50名	200名																																																																																																								
	ホームエレクトロニクス開発学科	40名	160名																																																																																																								
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	125名	500名																																																																																																								
	栄養生命科学科	80名	320名																																																																																																								
看護学部	看護学科	80名	320名																																																																																																								
	計	1,148名	4,592名																																																																																																								
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																								
工学部	機械工学科	120名	480名																																																																																																								
	電気電子情報工学科	70名	280名																																																																																																								
	応用化学科	60名	240名																																																																																																								
	臨床工学科	40名	160名																																																																																																								
情報学部	情報工学科	140名	560名																																																																																																								
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	95名	380名																																																																																																								
	情報メディア学科	150名	600名																																																																																																								
創造工学部	自動車システム開発工学科	50名	200名																																																																																																								
	ロボット・メカトロニクス学科	40名	160名																																																																																																								
	ホームエレクトロニクス開発学科	40名	160名																																																																																																								
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	120名	480名																																																																																																								
	栄養生命科学科	80名	320名																																																																																																								
看護学部	看護学科	80名	320名																																																																																																								
	計	1,085名	4,340名																																																																																																								

神奈川工科大学 教授会運営規程

- 第 1 条 教授会の運営については学則第7条に定めるもののほか本規程の定めるところによる。
- 第 2 条 教授会は教授現在員の過半数が出席しなければ開催することができない。但し、長期病欠者及び公務出張者は、ここでの現在員に含まれないものとする。
- 第 3 条 教授会の議事は、出席構成員の過半数によって決し、賛否同数のときは議長の決するところによる。
- 第 4 条 教授会は原則として、月1回開くものとする。但し、学長が必要と認めた場合は、臨時に教授会を開くことができる。
- 第 5 条 本規程は、合同教授会を召集する場合に準用する。
- 第 6 条 本規程の改正は、学長が発議する。
- 附 則 1. 本規程は、平成2年4月1日から施行する。
2. 本規程の改正は、平成27年4月1日から実施する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

平成29年度より、神奈川工科大学の工学部電気電子情報工学科、情報学部情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、創造工学部自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学部応用バイオ科学科の入学定員の変更を行うこととした。

具体的には、工学部電気電子情報工学科の入学定員を70名から78名、情報学部情報工学科の入学定員を140名から155名、情報ネットワーク・コミュニケーション学科の入学定員を95名から100名、情報メディア学科の入学定員を150名から165名、創造工学部自動車システム開発工学科の入学定員を50名から55名、ロボット・メカトロニクス学科の入学定員を40名から50名、応用バイオ科学部応用バイオ科学科の入学定員を120名から125名へと変更することとした。（資料1）

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学では、開学以来、伝統的な工学分野に関する教育研究を中心として、生活の利便向上のための技術教育を展開してきたが、現代社会においては、科学と技術の融合なくしては、真の技術者教育は困難なことから、自然認識を深めるための科学教育を加えた幅広い科学技術教育としての充実を図るとともに、この本学の教育目的を適切に表現するために、昭和63年4月より、大学名称を幾徳工業大学から神奈川工科大学へと改称した。

以来、工学分野における教育内容を基盤として、科学技術としての教育内容の整備と充実に努め、平成15年4月には、工学部の情報系学科の発展的な改組による情報学部を設置し、平成18年4月には、機械工学、電気電子工学、情報工学などの基幹分野における教育内容の融合による自動車システム開発工学科とロボット・メカトロニクス学科、平成20年4月からは、ホームエレクトロニクス開発学科を設置するとともに、上記の3学科構成の創造工学部を新設した。

一方、学則第一章、第一条に掲げている本学の目的である「教育基本法に則り、学校教育法の定める大学として広く知識を授けると共に深く専門の学芸を教授研究し、豊かな教養と円満な人格を備えた有為な人材を育て文化の発展と人類福祉の増進に寄与すること」のさらなる具現化にむけて、特に、「人類福祉の増進に寄与すること」の具現化を目指して、工学分野及び情報分野に加え、生命・健康分野を新たな教育研究対象とすることとした。

具体的には、平成18年4月に工学部の応用化学科の教育内容を基礎として、生命科学やバイオテクノロジーを教育研究対象とし、健康・医療バイオなどに関する教育内容を教授する応用バイオ科学科を設置し、その後、平成20年4月には、工学部から応用バイオ科学科を発展的に独立させ、応用バイオ科学部を設置した。

また、平成22年4月には、地域における保健医療や産業社会の多様化による栄養管理を取り巻く諸情勢を踏まえ、応用バイオ科学部に管理栄養士の養成を目的とする栄養生命科学科を設置し、NST（栄養サポートチーム）に対応できる管理栄養士の育成にむけて、臨床栄養のプロジェクト教育を推進している。

さらに、学則第一章、第一条に掲げている大学の目的を具現化するものとして推進してきた生命・健康分野の新たな教育研究組織として、平成27年4月には、工学部に臨床工学科を設置するとともに、地域社会の要請を踏まえた新たな教育組織として看護学部看護学科を設置し、大学の目的として掲げている「人類福祉の増進に寄与すること」の具現化にむけて、生命・健康分野の教育研究組織の整備と充実を行っている。（資料2）

加えて、本学では、開学以来、常に教育研究環境の整備と充実を努めてきたことから、十分な校舎等施設を有しているが、学術研究の進展などを踏まえた教育研究環境のさらなる整備と充実に向けて、既設キャンパスの再整備計画（第一期：平成16年度～平成21年度、第二期：平成24年度～）を策定し、教育研究環境の整備がなされたところである。

このように、本学では社会的な要請や受験生の動向を踏まえた教育研究組織と教育研究環境の整備・充実を努めてきたところであるが、今後、本学が高等教育機関としての使命と役割を一層果たしていくためには、社会的な要請に対するより積極的な対応が必要であることから、現有の教育研究組織における進学需要や人材需要への対応として、最近の受験生の進学需要や企業等の人材需要の高い分野における養成規模の充実を図ることとし、入学者選抜の機能が低下しない範囲での入学定員の変更を行うこととした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

収容定員変更を計画している電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科における教育課程は、教育上の目的を明確にし、それらを達成するために必要な授業科目を開設するとともに、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、各年次に適切に配当することにより、体系的な教育課程として編成している。

また、高等教育の大衆化に伴う多様な学生の受け入れへの対応や専門教育の基礎重視傾向への対応、さらには、専門教育の学際化や総合化の傾向への対応など、社会環境の急速な変化に伴う基礎教育の充実が求められていることから、この点に十分配慮したうえで、基礎的な専門教育の充実と強化を図ることが重要であるという認識のもとに、平成20年12月の答申「学士課程教育の構築に向けて」を踏まえ、平成24年度から新教育課程をスタートさせ、さらに教育課程の点検・見直しによる整備と充実を努めてきている。

特に、学部段階の専門教育においては、細分化された狭い分野を教えるだけでなく、基礎、

基本を重視し、専門の骨格を正確に把握させることが必要であるとともに、総合的な知識や技能を身に付けることができるような幅広い教育を施すことが重要であるという認識のもとに、基礎、基本を中心として、科目間の関係や履修の順序、単位数等に配慮し、系統性と順次生のある体系的な編成としている。(資料3)

一方、教養教育については、本学の目的である「豊かな教養と円満な人格を備えた有為な人材」の育成にむけて、中央教育審議会答申などで指摘されている重要性や意義を踏まえたうえで、教育上の目的や習得する知識と能力を明確にしたうえで、それらを具現化するための科目群の設定と授業科目の配置による編成としている。(資料4)

このように、本学では大学設置基準における教育課程の編成方針や中央教育審議会答申における学士課程教育の質的転換への方策などを踏まえつつ、教育課程の整備と充実に努めてきていることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えているが、今般、収容定員が増加することから、今後とも必要に応じて、教育課程のさらなる整備と充実に努めることとする。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1 教育方法

同時に授業を行う学生数は、授業の方法や施設・設備等の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげることができるよう適切な設定としており、授業方法ごとの標準的な学生数については、講義形式の授業科目は、最少で10人、最大で250人、演習形式の授業科目は、最少で5人、最大で50人、実習形式及び実践形式の授業科目は、最少で5人、最大で50人としている。

授業の方法については、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態を採るとともに、態度・志向性及び技術や技能の習得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採ることとし、理論的知識や能力を実務に応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実験形式や実習形式による授業形態を採ることとしている。

配当年次については、基礎から基幹へと体系的な学習が可能となるようにするとともに、特に、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技術、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の4年間における制度設計の観点から踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないように配慮した配当としている。

成績評価基準等の明示等については、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等を明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、これに基づき厳格な評価を行うとも

に、客観的な評価基準を適用することから、厳格な成績評価の方法として、GPA制度を導入している。

履修科目の登録の上限については、単位制度の実質化の観点から踏まえ、学生の主体的な学習を促し、教室における授業と教室外の学習を合わせた充実した授業を展開することにより学習効果を高めるために、履修単位数の上限（CAP）を48単位としている。

さらに、本学では教育方法の特色として、現代社会におけるICTを活用した情報管理や情報共有が進展していることを踏まえ、ICTの活用に関する基礎的な素養を涵養することとしており、既設学部等で構築してきたICTを活用した教育方法や授業運営を導入している。

具体的には、キャリアポートフォリオの活用による学修計画の立案・活動成果の蓄積・学習成績の管理、タブレット端末の利用による情報の収集・分析・管理や授業の予習復習・実習支援、電子教材を利用したeラーニングによる授業実践などICTの体験的な活用による教育方法を導入している。

このように、本学では、質保証システムの整備・確立にむけて、教育効果を十分にあげることのできる授業の方法や学生数の設定、単位制度の実質化の観点に立った各種制度の導入、ICTを活用した教育方法や授業運営の導入など、常に教育方法の点検と見直しに努めていることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えているが、今般、収容定員が増加することから、今後とも教育方法のさらなる整備と充実に努めることとする。

2 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、個別のきめ細やかな教育指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行うクラス担任制度を設け、個別の履修相談に応じるなど、学生への履修指導体制を整備している。

また、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であるとの認識のもとに、各専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しているとともに、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるよう養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示している。（資料5）

このように、本学では、質保証システムの整備・確立にむけて、個別の学生に対する履修指導体制を整えていることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えているが、今般、収容定員が増加することから、今後とも履修指導方法のさらなる整備と充実に努めることとする。

(ウ) 教員組織の変更内容

1 大学全体

本学の教員組織は、教育課程の編成方針を踏まえたうえで、主要分野の授業科目数や単位数に応じて、各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置しているとともに、年齢構成においても特定の年齢層に偏ることのないよう配慮しており、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化に支障がない構成となるよう配慮している。(資料6)

現在、大学全体の教員組織としては、大学設置基準に定める基準教員数164人に対して、教授118人、准教授65人、講師5人、助教24人、計212人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を48人上回る十分な専任教員を配置していることから、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えている。なお上記記載の専任教員数には収容定員の増加に伴い、教員組織のより一層の充実を図ることから、平成28年度から前倒し採用した専任教員2人を含むものとしている。(資料7)

また、大学全体における専任教員1人当たりの学生数については、現在約20.5人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率については、約21.7人と若干上がるものの適切な範囲内であることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8)

2 収容定員変更を計画している学科

(1) 工学部 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数8人に対して、11人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を3人上回る専任教員数としている。

また、電気電子情報工学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約25.5人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約28.4人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、電気電子情報工学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、電気電子情報工学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授7人、准教授4人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、30歳代2人、40歳代5人、50歳代2人、60歳代2人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないよう配慮した年齢構成としている。

このように、電気電子情報工学科では、大学設置基準に定める基準教員数を3人上回る専任教員を配置しており、入学定員を70人から78人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考

えている。(資料8、資料9)

(2) 情報学部 情報工学科

情報工学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数10人に対して、20人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を10人上回る専任教員数としている。

また、情報工学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約28.0人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約31.0人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、情報工学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、情報工学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授14人、准教授5人、助教1人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、30歳代1人、40歳代9人、50歳代7人、60歳代3人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、情報工学科では、大学設置基準に定める基準教員数を10人上回る専任教員を配置しており、入学定員を140人から155人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(3) 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワーク・コミュニケーション学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数9人に対して、15人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を6人上回る専任教員数としている。

また、情報ネットワーク・コミュニケーション学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約25.3人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約26.7人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、情報ネットワーク・コミュニケーション学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、情報ネットワーク・コミュニケーション学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授8人、准教授4人、講師1人、助教2人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、30歳代2人、40歳代6人、50歳代5人、60歳代2人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、情報ネットワーク・コミュニケーション学科では、大学設置基準に定める基準教員数を6人上回る専任教員を配置しており、入学定員を95人から100人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(4) 情報学部 情報メディア学科

情報メディア学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数11人に対して、22人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を11人上回る専任教員数としている。

また、情報メディア学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約27.3人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約30.0人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、情報メディア学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、情報メディア学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授9人、准教授9人、助教4人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、30歳代4人、40歳代8人、50歳代3人、60歳代7人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、情報メディア学科では、大学設置基準に定める基準教員数を11人上回る専任教員を配置しており、入学定員を150人から165人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(5) 創造工学部 自動車システム開発工学科

自動車システム開発工学科の専任教員数は、大学設置基準に定める基準教員数8人に対して現在は、平成28年度から着任した新規採用専任教員2人を含め14人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を6人上回る専任教員数となる。

また、自動車システム開発工学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約14.3人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約14.7人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、自動車システム開発工学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、自動車システム開発工学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授8人、准教授2人、助教4人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、40歳代2人、50歳代3人、60歳代9人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、自動車システム開発工学科では、大学設置基準に定める基準教員数を6人上回る専任教員を配置しており、入学定員を50人から55人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(6) 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

ロボット・メカトロニクス学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数8人に対して、9人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を1人上回る専任教員数となる。

また、ロボット・メカトロニクス学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約17.8人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約22.2人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、ロボット・メカトロニクス学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、ロボット・メカトロニクス学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授6人、准教授3人による編成としている。

年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、40歳代4人、50歳代3人、60歳代2人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、ロボット・メカトロニクス学科では、大学設置基準に定める基準教員数を1人上回る専任教員を配置しており、入学定員を40人から50人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(7) 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

応用バイオ科学科の専任教員数は、現在、大学設置基準に定める基準教員数15人に対して、16人の専任教員を配置しており、大学設置基準に定める基準教員数を1人上回る専任教員数としている。

また、応用バイオ科学科の専任教員1人当たりの学生数は、現在約30.0人と適切な比率であり、収容定員を変更した場合の同比率は、約31.3人と若干上がるものの適切な範囲内であると考えている。

教員組織の編成については、応用バイオ科学分野における主要な授業科目を中心として、授業科目数及び単位数に応じて、応用バイオ科学分野における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する教授9人、准教授4人、助教3人による編成として

いる。
年齢構成については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がない構成とすることから、30歳代3人、40歳代7人、50歳代4人、60歳代2人から構成しており、次世代を担う若手教員の育成を視野に入れ、特定の年齢に偏ることのないように配慮した年齢構成としている。

このように、応用バイオ科学科では、大学設置基準に定める基準教員数を1人上回る専任教員を配置しており、入学定員を120人から125人に変更した場合でも専任教員1人当たりの学生数において適切な比率を維持できることから、教育上の支障はないものと考えている。(資料8、資料9)

(エ) 施設・設備の変更内容

1 校地・運動場の整備状況

本学のキャンパスは、神奈川県厚木市下荻野に位置し、現在、校地面積約125,685㎡を有しているとともに、学生の休息その他の利用のための適当な空地を含む十分な校地面積を確保しており、大学教育に相応しい環境を整えている。

運動場は、校舎と同じ敷地内に約38,016㎡の面積を確保しており、運動用の設備としては、全天候対応人工芝フィールド及び陸上400mトラック、サッカー・ラグビー及び長短距離走の競技、フットサルやソフトボール等多目的に活用できるよう整備しているとともに、両翼95m、センター120mの人工芝の野球場を設け、硬式野球、ソフトボールやフットサルにも対応が可能であり、加えて、全天候型テニスコート4面も有して、授業及び課外活動に利用している。

また、校地の中心部には約6,700㎡の緑地公園を設けており、ベンチ(180席)や芝地での学生の休憩やコミュニケーションの場として活用しているとともに、屋外での催し物を開催する際のステージ(1,500人が観覧可能)としての機能や災害時における一時避難場所(2,000人が避難可能)としての機能も兼ね備えている。

2 施設・設備の整備状況

本学では、学術研究の進展などを踏まえた教育研究環境のさらなる整備と充実に向けて、既設キャンパスの再整備計画(第一期：平成16年度～平成21年度、第二期：平成24年度～)を策定し、教育研究環境の整備を進め、現在では34棟の校舎等施設を有し、その延床面積は約100,302㎡となっている。

学部教育に必要となる主要な教室等の内訳としては、講義室77室、演習室34室、実験・

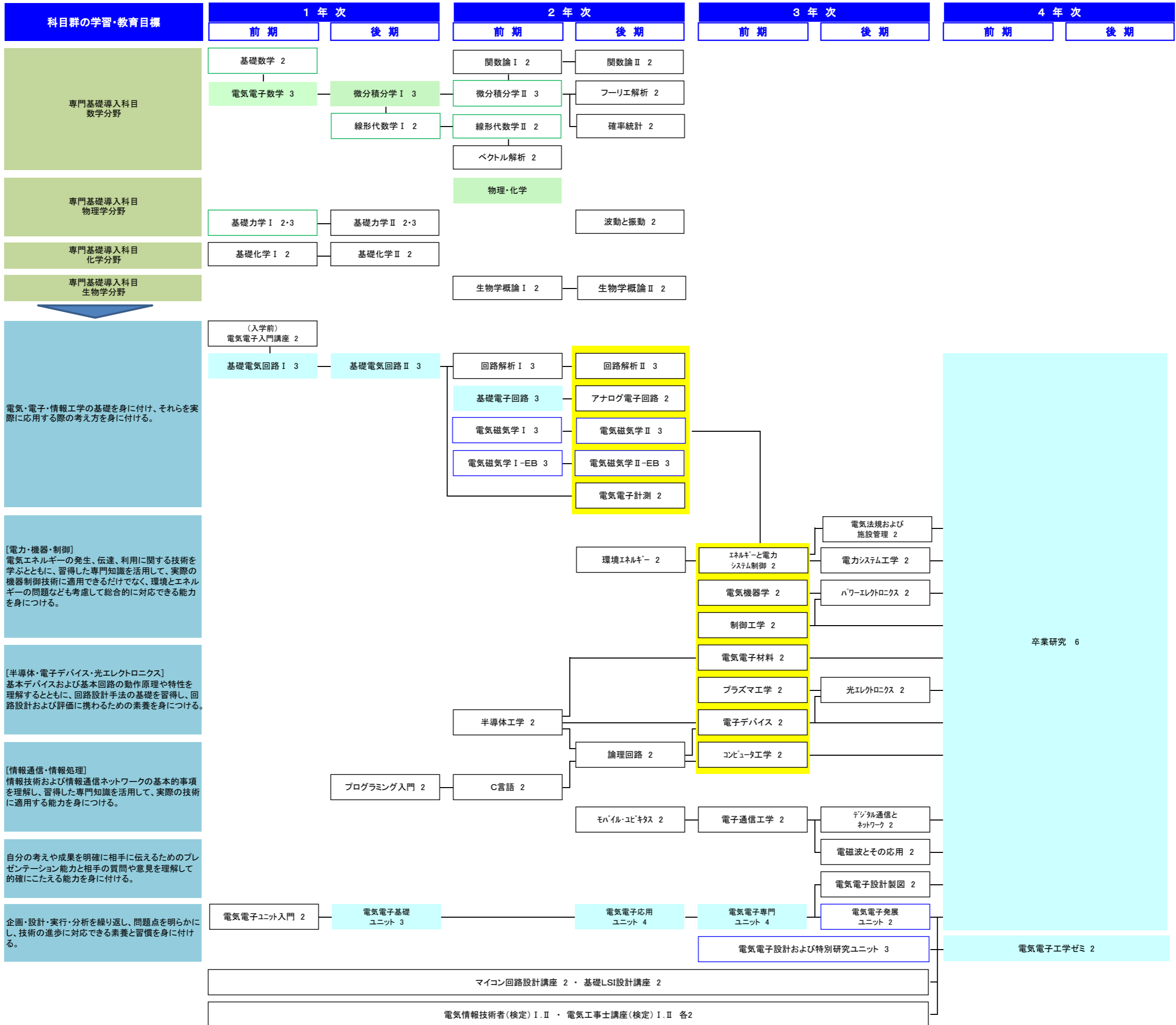
実習室94室、情報処理室14室の他、図書館、学長室、会議室、事務室、保健室、学生自習室、学生食堂などを備えており、これらの施設や設備を有効的に利用することにより、
収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えているが、収容定員が増加することから、今後とも必要に応じて、教育研究環境のさらなる整備と充実を図ることとする。

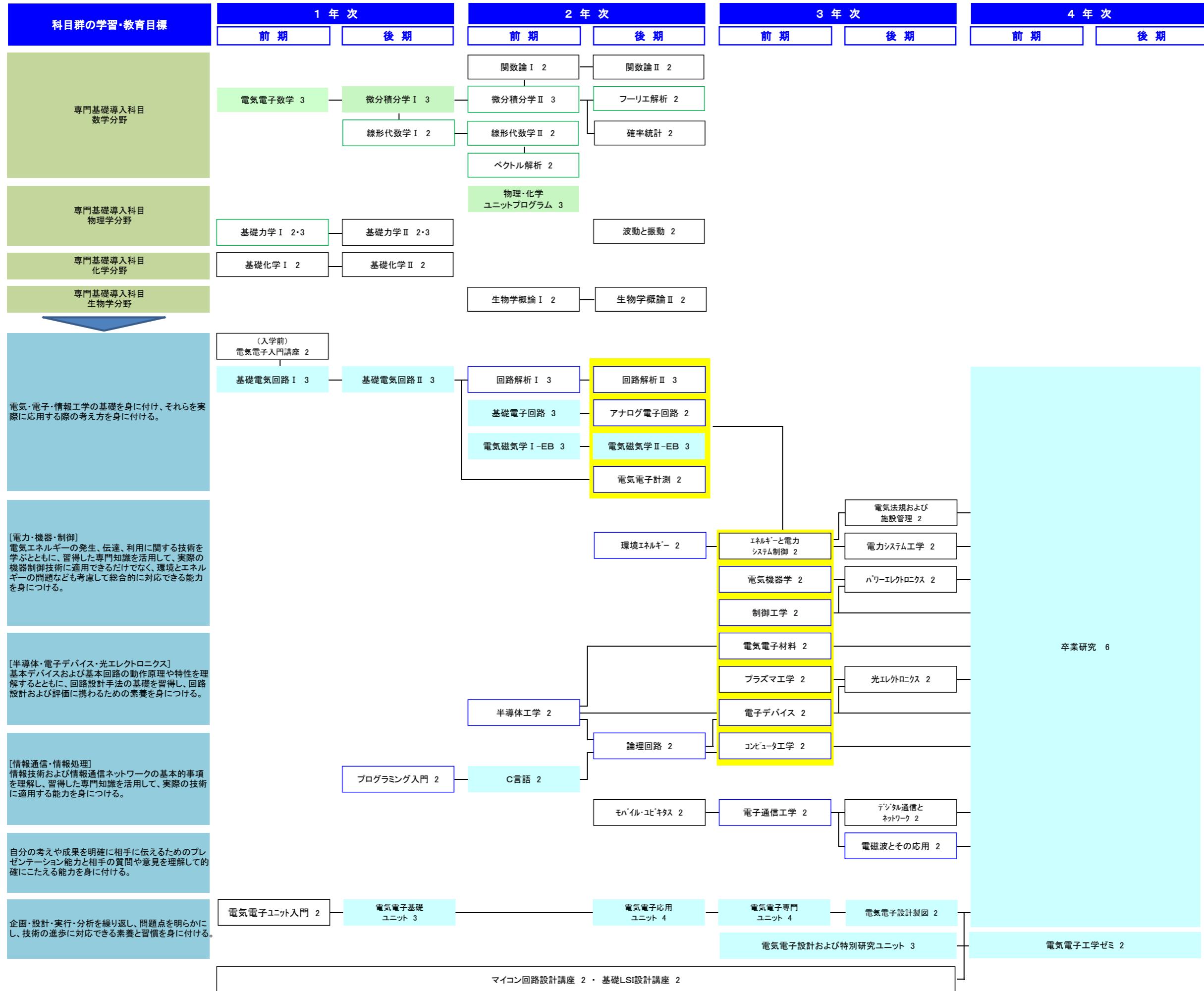
学校法人幾徳学園 収容定員変更認可等に係る組織の移行表

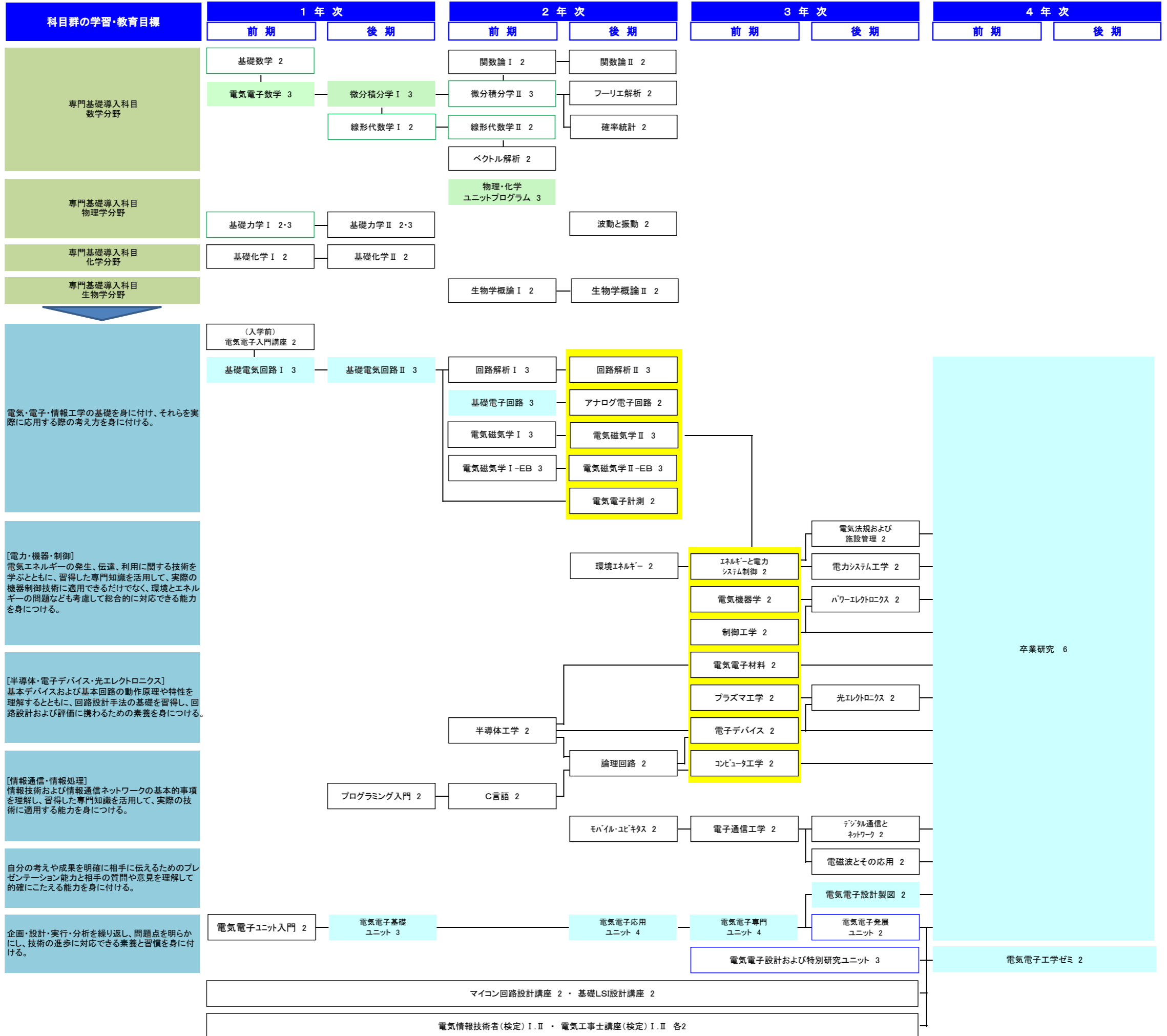
平成28年度	入学 定員	収容 定員		平成29年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
神奈川工科大学				神奈川工科大学			
工学部				工学部			
機械工学科	120	480		機械工学科	120	480	
電気電子情報工学科	70	280	⇒	電気電子情報工学科	78	312	定員変更(8)
応用化学科	60	240		応用化学科	60	240	
臨床工学科	40	160		臨床工学科	40	160	
情報学部				情報学部			
情報工学科	140	560	⇒	情報工学科	155	620	定員変更(15)
情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	95	380	⇒	情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	100	400	定員変更(5)
情報メディア学科	150	600	⇒	情報メディア学科	165	660	定員変更(15)
創造工学部				創造工学部			
自動車システム 開発工学科	50	200	⇒	自動車システム 開発工学科	55	220	定員変更(5)
ロボット・ メカトロニクス学科	40	160	⇒	ロボット・ メカトロニクス学科	50	200	定員変更(10)
ホームエレクトロニクス 開発学科	40	160		ホームエレクトロニクス 開発学科	40	160	
応用バイオ科学部				応用バイオ科学部			
応用バイオ科学科	120	480	⇒	応用バイオ科学科	125	500	定員変更(5)
栄養生命科学科	80	320		栄養生命科学科	80	320	
看護学部				看護学部			
看護学科	80	320		看護学科	80	320	
計	1,085	4,340		計	1,148	4,592	
神奈川工科大学大学院				神奈川工科大学大学院			
工学研究科 博士前期課程				工学研究科 博士前期課程			
機械工学専攻	14	28		機械工学専攻	14	28	
電気電子工学専攻	16	32		電気電子工学専攻	16	32	
応用化学・ バイオサイエンス専攻	16	32		応用化学・ バイオサイエンス専攻	16	32	
機械システム工学専攻	14	28		機械システム工学専攻	14	28	
情報工学専攻	18	36		情報工学専攻	18	36	
ロボット・メカトロニクス システム専攻	6	12		ロボット・メカトロニクス システム専攻	6	12	
計	84	168		計	84	168	
工学研究科 博士後期課程				工学研究科 博士後期課程			
機械工学専攻	2	6		機械工学専攻	2	6	
電気電子工学専攻	2	6		電気電子工学専攻	2	6	
応用化学・ バイオサイエンス専攻	2	6		応用化学・ バイオサイエンス専攻	2	6	
機械システム工学専攻	2	6		機械システム工学専攻	2	6	
情報工学専攻	2	6		情報工学専攻	2	6	
計	10	30		計	10	30	

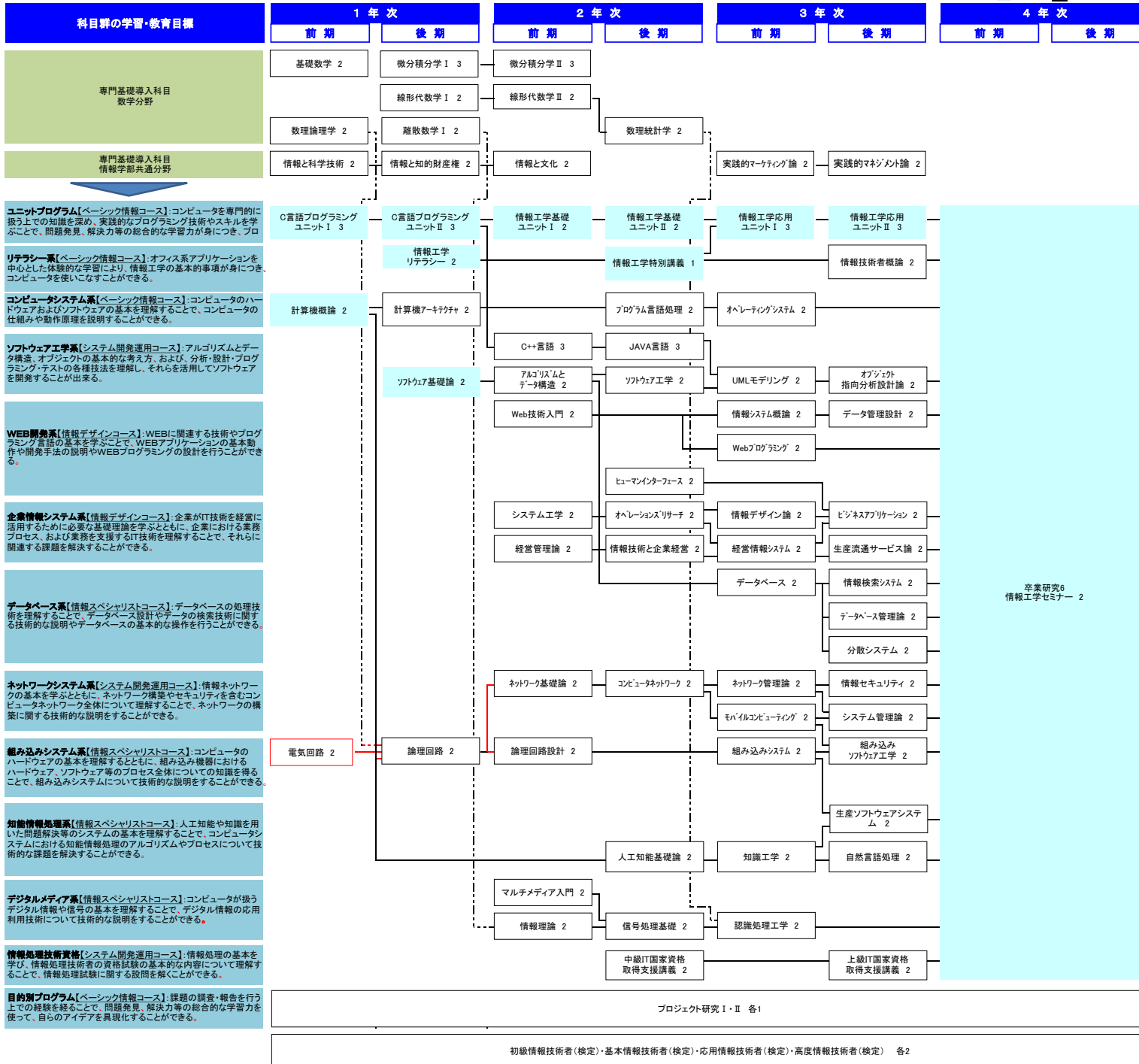
工学、情報、生命・健康分野における学部学科の変遷

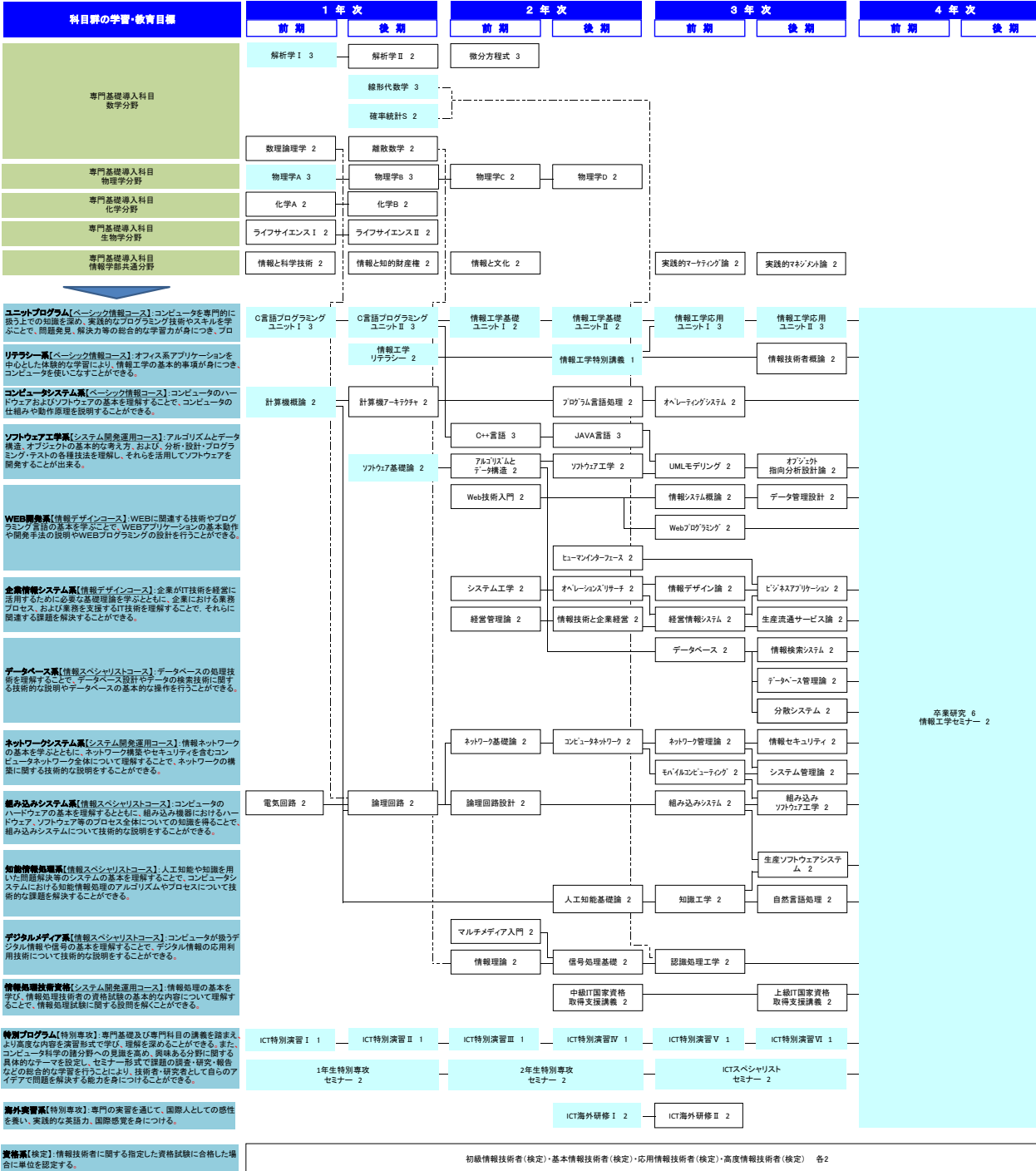
実施年	工学分野	情報分野	生命・健康分野
昭和50年～60年	機械工学科、電気工学科、工業化学工学科		
昭和61年	機械システム工学科を新設	情報工学科を新設	
平成7年	電気工学科を電気電子工学科に学科名称変更		
平成8年	工業化学工学科を応用化学科に学科名称変更		
平成11年	機械システム工学科をシステムデザイン工学科に学科名称変更		
平成12年	福祉システム工学科を新設	情報ネットワーク工学科を新設	
平成15年		情報学部情報工学科を開設	
平成16年		情報学部情報メディア学科新設 工学部情報ネットワーク工学科を改組転換し、 情報学部情報ネットワーク工学科を開設	
平成18年	自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科新設 電気電子工学科を電気電子情報工学科に名称変更 システムデザイン工学科、福祉システム工学科の募集を停止		応用バイオ科学科を新設
平成20年	ホームエレクトロニクス開発学科を新設	情報ネットワーク工学科を同情報ネットワーク・コミュニケーション学科に名称変更	応用バイオ科学部応用バイオ科学科を開設
平成22年			応用バイオ科学部に栄養生命科学科を新設
平成27年			工学部に臨床工学科を新設 看護学部看護学科を開設











情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科【カリキュラムツリー】

■:必修 □:選択

科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎導入科目 数学分野	基礎数学 2	微分積分学 I 3 線形代数学 I 2	微分積分学 II 3 線形代数学 II 2					
専門基礎導入科目 情報学部共通分野	数理論理学 2	離散数学 I 2	情報と文化 2	数理統計学 2	実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2		
【情報基礎系・応用系】 利用する情報機器及びシステムを把握するためのコンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、基本的なアプリケーションソフトが使用できる。	情報ネットワーク工学 I 2	情報ネットワーク工学 II 2 情報ネットワークリテラシー 2	情報理論 2	ソフトウェア工学 2	データベース 2	分散処理 2	情報ネットワークセミナー 2 卒業研究 6	
【情報ネットワーク基盤系】 ネットワークに関する基本的な知識・技術を身につけ、小規模なネットワークやサーバの管理、簡単なWebアプリケーションの開発	情報ネットワーク概論 2	ネットワーク工学 2 インターネットアプリケーション 2	インターネット技術 2 Web技術 2	ネットワークエンジニアリング 2 ネットワークプログラミング 2	ネットワークインターフェース 2 ネットワーク解析技法 2			
【ネットワーク技術系】 有線および無線通信における情報伝送の仕組みと関連する技術を学び、実社会で利用されている各種通信システムの概要について理解する。		通信工学 2	光通信技術 2	デジタル移動通信 2	モバイルネットワーク 2			
【アプリケーション系】 デジタルメディアで扱う新しいコンテンツの実現を可能とする能力を身につけ、コンピュータ上で2D・3D画像や音楽・音声を用いた情報表現を行える。		マルチメディア処理 2	メディア表現工学 2	ヒューマンインターフェース 2	ソーシャルメディア技術 2			
【情報セキュリティ系】 暗号やユーザ認証など情報セキュリティ基礎技術を身につけるとともに、実社会で運用管理するための不正プログラム対策・ネットワークセキュリティ対策技術を習得し、		情報セキュリティ概論 2	情報セキュリティマネジメント 2	情報セキュリティと法制度 2	電子認証 2	ネットワークセキュリティ 2		
【ユニットプログラム・セミナー・卒研】 情報ネットワーク、Webコミュニケーション、情報セキュリティに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実践することにより、プロジェクトの進め方を習得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける。	情報ネットワーク導入ユニット I 4	情報ネットワーク導入ユニット II 4	情報ネットワーク基礎ユニット I 4	情報ネットワーク基礎ユニット II 4	情報ネットワークコースユニット 4	情報ネットワーク応用ユニット 4		
【資格系】 情報技術者に関する指定した資格試験に合格した場合に単位を認定する。	初級情報技術者(検定)・基本情報技術者(検定)・応用情報技術者(検定)・高度情報技術者(検定)・ネットワーク技術者(検定) 各2							
	プロジェクト研究 I・II 各1							

科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎導入科目 数学分野	解析学Ⅰ 3	解析学Ⅱ 2	微分方程式 3					
		線形代数学 3						
		確率統計S 2						
専門基礎導入科目 物理学分野	数学論理学 2	離散数学 2						
専門基礎導入科目 化学分野	物理学A 3	物理学B 3	物理学C 2	物理学D 2				
専門基礎導入科目 生物学分野	化学A 2	化学B 2						
専門基礎導入科目 情報学部共通分野	ライフサイエンスⅠ 2	ライフサイエンスⅡ 2						
	情報と科学技術 2	情報と知的財産権 2	情報と文化 2		実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2		

【情報基礎系・応用系】
利用する情報機器及びシステムを把握するためのコンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、基本的なアプリケーションソフトが使用できる。

【情報ネットワーク基礎系】
ネットワークに関する基本的な知識・技術を身につけ、小規模なネットワークやサーバの管理、簡単なWebアプリケーションの開発ができる。

【ネットワーク技術系】
有線および無線通信における情報伝達の仕組みと関連する技術を学び、実社会で利用されている各種通信システムの概要について理解する。

【アプリケーション系】
デジタルメディアで扱う新しいコンテンツの実現を可能とする能力を身につけ、コンピュータ上で2D・3D画像や音楽・音声を用いた情報表現を行える。

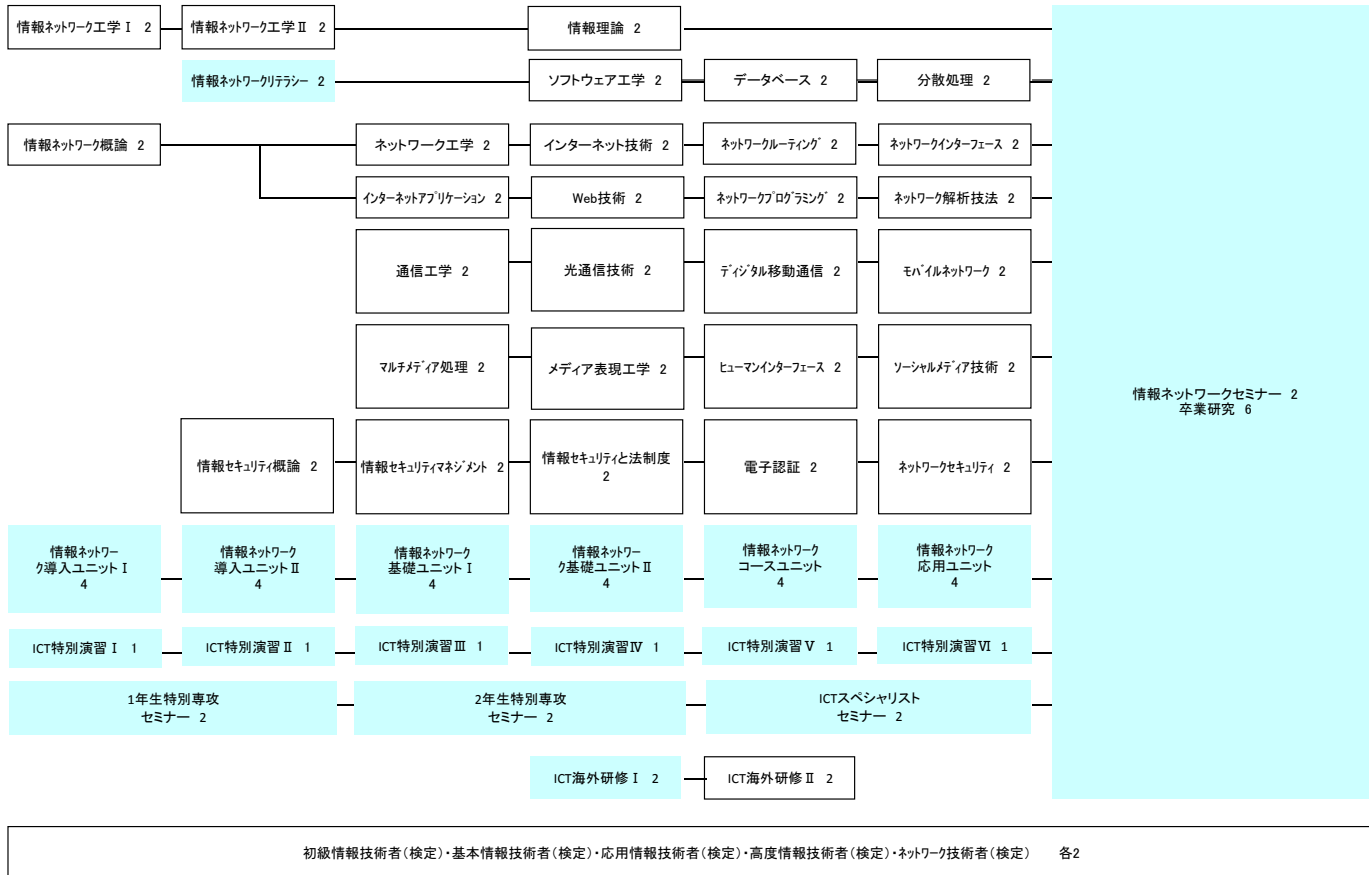
【情報セキュリティ系】
暗号やユーザ認証など情報セキュリティ基礎技術を身につけるとともに、実社会で運用管理するための不正プログラム対策・ネットワークセキュリティ対策技術を習得し、セキュリティマネジメント・法制度について理解する。

【ユニットプログラム】
情報ネットワーク、Webコミュニケーション、情報セキュリティに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実践することにより、プロジェクトの進め方を習得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける。

【特別専攻プログラム】
専門基礎及び専門科目の講義を踏まえ、より高度な内容を演習形式で学び、理解を深めることができる。また、コンピュータ科学の諸分野への見識を高め、興味ある分野に関する具体的なテーマを設定し、セミナー形式で課題の調査・研究・報告などの総合的な学習を行うことにより、技術者・研

【海外実習系】
国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につ

【検定】



科目群の学習・教育目標	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎導入科目 数学分野	基礎数学 2	微分積分学 I 3	微分積分学 II 3					
		線形代数学 I 2	線形代数学 II 2					
	数理論理学 2	離散数学 2		数理統計学 2				
専門基礎導入科目 情報学部共通分野	情報と科学技術 2	情報と知的財産権 2	情報と文化 2		実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2		
【情報メディア基礎】 各種情報メディアで利用されるアプリケーションやコンテンツの制作について、演出意図を効果的に表現する基本的な知識と、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを身につける		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2	情報メディアプロデュース論 2		
			Web制作 2		フィジカルコンピューティング 2			
			マルチメディア入門 2					
【情報技術基礎】 各種情報メディアを実現するコンピュータをはじめとする基盤技術の基本的な知識と、システムの構築に必要なハードウェアおよびソフトウェアを作成する基本的なスキルを身につける	IT基礎 4		計算機構成論 2	情報理論と信号処理 2		メディア・セキュリティ 2		
			応用プログラミングA 3	応用プログラミングB 3	応用プログラミングC 1	ソフトウェア開発 2		
【インタラクティブメディア】 ネットワークやデータベースをはじめとするインタラクティブ技術を習得し、プログラミングなどの体験的演習を通して、Webアプリケーションの開発や携帯コンテンツの制作ができるスキルを身につける			Webシステム 2	モバイル/Web 2	データベース 2	インタラクティブデザイン 2		
【イメージメディア】 画像処理、映像処理などのヒューマンメディア技術と、高度な情報技術を身につけ、メディア技術に精通したエンジニアとしてのスキルを身につける			画像情報処理 2	映像メディアシステム 2	画像認識システム 2	ヒューマンインターフェース 2		
【サウンドメディア】 音楽・音響の両分野に精通し、多分野の音声・音響に関わる制作・編集・音響システムを構築できる技術力とオペレーションスキル、また楽曲を制作する基本的な知識とスキルを身につける			サウンド解析 2	音楽論 2	コンピュータ音楽制作 2	サウンド情報処理 2		
【CGアニメータ】 CGIによるアニメーション制作に必要な技術とノウハウを習得し、演出意図を的確に表現する映像コンテンツを制作できる基本的な知識とスキルを身につける			グラフィックス基礎論 2	CGデザイン 2	CGアニメーション 2	メディアアート 2		
【ゲームクリエイター】 コンテンツ制作の基礎教育と体験的な演習を実施し、技術的な知識とコンテンツ制作に精通したゲーム分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける			ゲームデザイン論 2	ゲームグラフィックス 2	ゲームプログラミング 2	ゲームAI 2		
【キャラクタ】 小説、ドラマ、映画、マンガ、ロボットなどのキャラクターに関する基礎知識と体験的な演習を通じ、多彩な分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける			キャラクタ概論 I 2	キャラクタ概論 II 2	キャラクタ創作論 2	キャラクタ制作 2		
【ユニットプログラム】 情報メディアの各コースに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実践することにより、プロジェクトの進め方を習得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける	情報メディア基礎ユニット 4	情報メディア導入ユニット 4	情報メディア基礎ユニット I 2	情報メディア基礎ユニット II 2	情報メディア専門ユニット I 3	情報メディア専門ユニット II 3		
【海外実習系】 ゲームソフトの制作やツールの学習を通じて、国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につける	国際情報メディア実習 1							
	海外情報メディア研修 I 2 海外情報メディア研修 II 2 海外情報メディア研修 III 2							
【目的別プログラム】 実在する情報メディアシステムで利用できるアプリケーションやコンテンツを制作する。具体的な目標の実現に必要な知識やスキルの習得と、それらを実践して具体的な成果物を作成することで、自主的、能動的な学習力と実践力を身につける	メディア実践講座 2							
	ゲームクリエイター特訓 / フロントCGクリエイター特訓 / キャラクタークリエイター特訓 各2							
	プロジェクト研究 I～VI 各1							
【資格系】 社会的に認められた資格取得に必要な知識を身につける	IT応用 2 情報英語 2							
【検定】	メディア技術者(検定) / 初級情報技術者(検定) / 基本情報技術者(検定) / 応用情報技術者(検定) / 高度情報技術者(検定) 各2							

卒業研究 6
情報メディアセミナー 2

情報学部 情報メディア学科【ICTスペシャリスト特別専攻・カリキュラムツリー】

科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎導入科目 数学分野	解析学Ⅰ 3	解析学Ⅱ 2 線形代数学 3 確率統計S 2	微分方程式 3					
専門基礎導入科目 物理学分野	数理論理学 2	離散数学 2	物理学C 2	物理学D 2				
専門基礎導入科目 化学分野	物理学A 3	物理学B 3						
専門基礎導入科目 化学分野	化学A 2	化学B 2						
専門基礎導入科目 生物学分野	ライフサイエンスⅠ 2	ライフサイエンスⅡ 2						
専門基礎導入科目 情報学部共通分野	情報と科学技術 2	情報と知的財産 2	情報と文化 2		実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2		
【情報メディア基礎】 各種情報メディアで利用されるアプリケーションやコンテンツの制作について、演出意図を効果的に表現する基本的な知識と、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを身につける		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2 Web制作 2 マルチメディア入門 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2 フィジカルコンピューティング 2	情報メディアプロデュース論 2		
【情報技術基礎】 各種情報メディアを実現するコンピュータをはじめとする基盤技術の基本的な知識と、システムの構築に必要なハードウェアおよびソフトウェアを作成する基本的なスキルを身につける	IT基礎 4		計算機構成論 2	情報理論と信号処理 2		メディア・セキュリティ 2		
【インタラクションメディア】 ネットワークやデータベースをはじめとするインタラクション技術を習得し、プログラミングなどの体験的演習を通して、Webアプリケーションの開発や携帯コンテンツの制作ができるスキルを身につける			応用プログラミングA 3	応用プログラミングB 3	応用プログラミングC 1	ソフトウェア開発 2		
【イメージメディア】 画像処理、映像処理などのヒューマンメディア技術と、高度な情報技術を身につけ、メディア技術に精通したエンジニアとしてのスキルを身につける			Webシステム 2	モバイル向けWeb 2	データベース 2	インタラクションデザイン 2		
【サウンドメディア】 音楽・音響の両分野に精通し、多分野の音声・音響に関わる制作・編集・音響システムを構築できる技術力とオペレーションスキル、また楽曲制作する基本的な知識とスキルを身につける			画像情報処理 2	映像メディアシステム 2	画像認識システム 2	ヒューマンインターフェース 2		
【CGアニメータ】 CGによるアニメーション制作に必要な技術とノウハウを習得し、演出意図を的確に表現する映像コンテンツを作成できる基本的な知識とスキルを身につける			サウンド解析 2	音楽論 2	コンピュータ音楽制作 2	サウンド情報処理 2		
【ゲームクリエイター】 コンテンツ制作の基礎教育と体験的な演習を実施し、技術的な知識とコンテンツ制作に精通したゲーム分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける			グラフィックス基礎論 2	CGデザイン 2	CGアニメーション 2	メディアアート 2		
【キャラクタ】 小説、ドラマ、映画、マンガ、ロボットなどのキャラクターに関する基礎知識と体験的な演習を通し、多彩な分野で活躍するクリエイターとしてのスキルを身につける			ゲームデザイン論 2	ゲームグラフィックス 2	ゲームプログラミング 2	ゲームAI 2		
【ユニットプログラム】 情報メディアの各コースに関連する学習課題に対して実験や調査を計画し実施することにより、プロジェクトの進め方を習得するとともに授業で学習した知識・技術の応用力を身につける	情報メディア基礎ユニット 4	情報メディア導入ユニット 4	情報メディア基礎ユニットⅠ 2	情報メディア基礎ユニットⅡ 2	情報メディア専門ユニットⅠ 3	情報メディア専門ユニットⅡ 3		
【特別専攻プログラム】 専門基礎及び専門科目の講義を踏まえ、より高度な内容を演習形式で学び、理解を深めることができる。また、コンピュータ科学の諸分野への見識を高め、興味ある分野に関する具体的なテーマを設定し、セミナー形式で課題の調査・研究・報告などの総合的な学習を行うことにより、技術者・研	ICT特別演習Ⅰ 1	ICT特別演習Ⅱ 1	ICT特別演習Ⅲ 1	ICT特別演習Ⅳ 1	ICT特別演習Ⅴ 1	ICT特別演習Ⅵ 1		
	1年生特別専攻セミナー 2		2年生特別専攻セミナー 2		ICTスペシャリストセミナー 2			
【海外実習系】 ゲームソフトの制作やツールの学習を通じて、国際人としての感性を養い、実践的な英語力、国際感覚を身につける	国際情報メディア実習 1							
				ICT海外研修Ⅰ 2	ICT海外研修Ⅱ 2			
【目的別プログラム】 実在する情報メディアシステムで利用できるアプリケーションやコンテンツを制作する。具体的な目標の実現に必要な知識やスキルの習得と、それらを実践して具体的な成果物を作成することで、自主的、能動的な学習力と実践力を身につける	メディア実践講座 2							
	ゲームクリエイター特別 / プロダクションCGクリエイター特別 / キャラクタークリエイター特別 各2							
【資格系】 社会的に認められた資格取得に必要な知識を身につける			IT応用 2	情報英語 2				
【検定】	メディア技術者(検定) / 初級情報技術者(検定) / 基本情報技術者(検定) / 応用情報技術者(検定) / 高度情報技術者(検定) 各2							

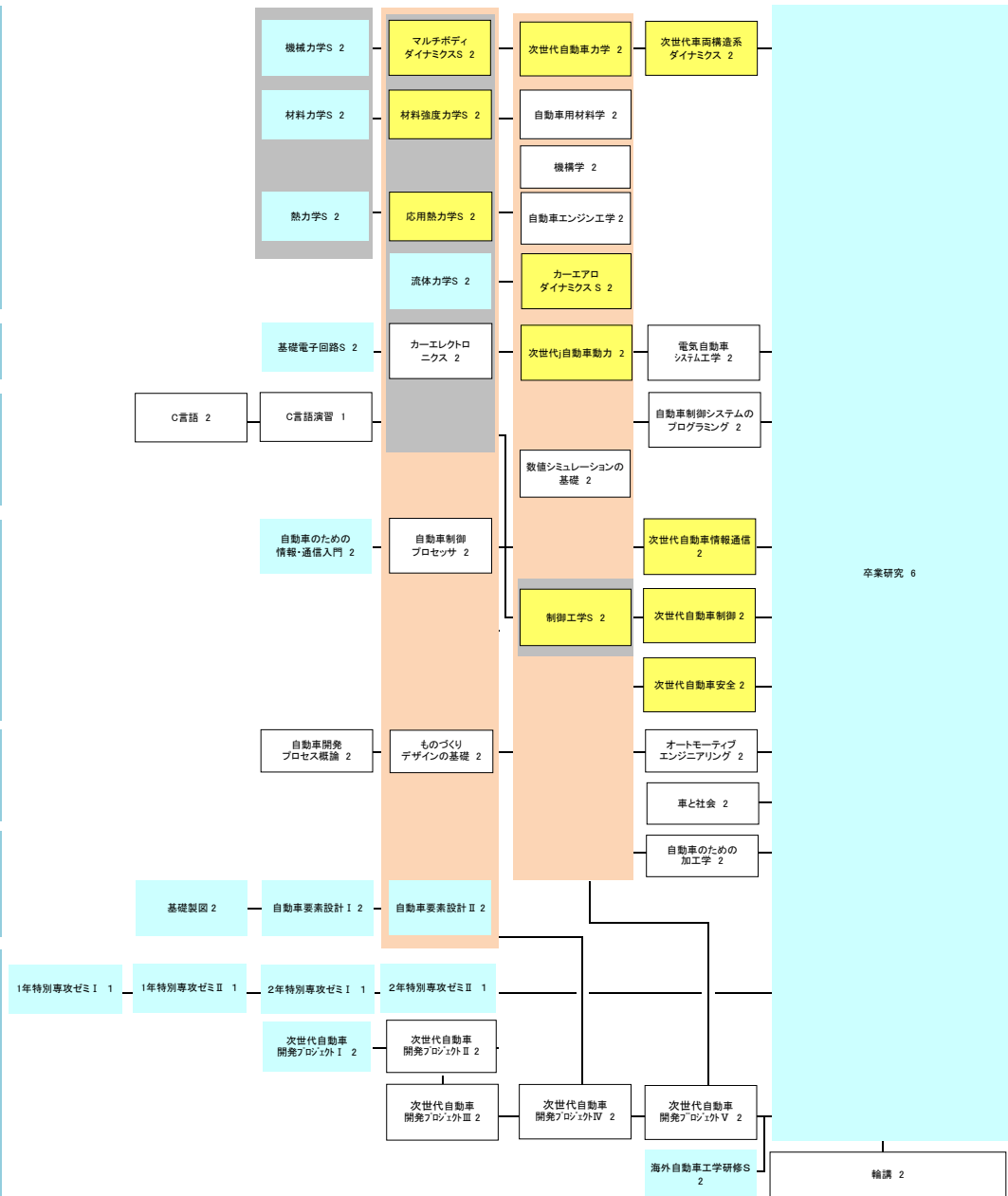
卒業研究 6
情報メディアセミナー 2

創造工学部 自動車システム開発工学科【次世代自動車開発特別専攻・カリキュラムツリー】

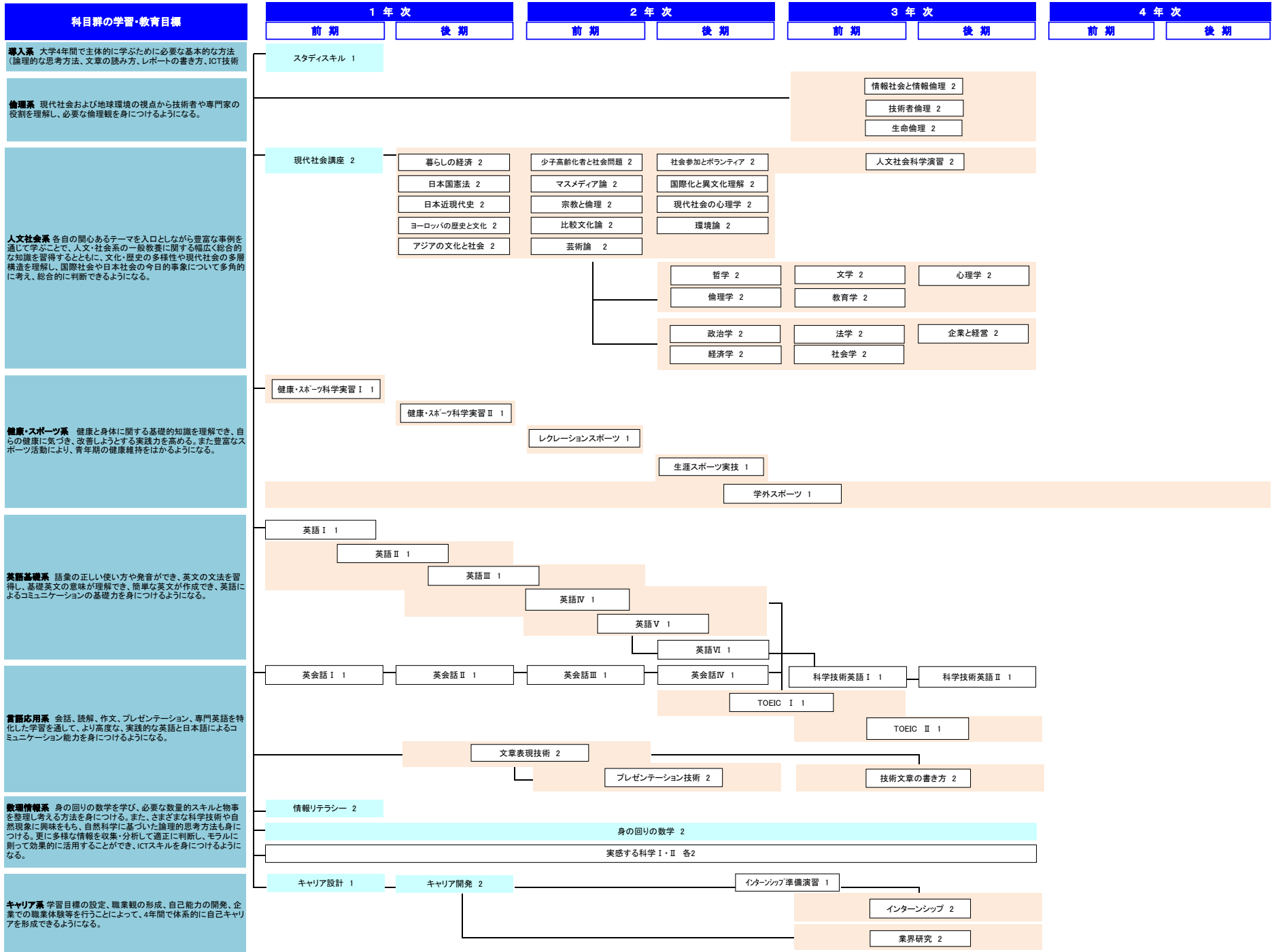
必修 選択必修 選択

科目群の学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎導入科目 数学分野	解析学Ⅰ 3	解析学Ⅱ 2 線形代数学 3 確率統計S 2	微分方程式 3	ベクトル解析 2	フーリエ解析 2			
専門基礎導入科目 物理学分野	物理学A 3	物理学B 3	物理学C 2	物理学D 2				
専門基礎導入科目 化学分野	物理・化学 ユニットプログラムS 3			波動と振動 2				
専門基礎導入科目 化学分野	化学A 2	化学B 2						
専門基礎導入科目 生物学分野	ライフサイエンス 2							

- 自動車開発のために必要とされる物理現象の原理を理解し、自動車の設計・開発の場面で応用できる。
- 電気・電子回路の基礎を理解し、自動車の電装や計測・制御に応用できる。
- プログラミング能力およびコンピュータ関連知識や技術を身に付け、自動車の制御や設計・開発に応用できる。
- 自動制御理論を理解し、自動車のインテリジェント化に応用できる。
- 製品の企画、開発の基礎を学び、統合した製品開発ができる。
- 製品設計における設計力と製図能力を身に付ける。さらに、その生産方法を理解する。
- 卒業で習得した知識・能力を実践を通じて応用できる。自ら情報を入手し、問題を解決できる。柔軟な思考力、独創性を身に付け、組織で活躍するためのコミュニケーション能力や実践力を身に付ける。



共通基盤教育【カリキュラムツリー】



神奈川工科大学工学部電気電子情報学科 EAコース(電力系) 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系				技術者倫理 2			
	人文社会 (必修)	現代社会講座 ②						
	人文社会 (a群)		日本国憲法 2 暮らしの経済 2		環境論 2			
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習Ⅱ 1					
	英語基礎系	英語Ⅱ 1	英語Ⅲ 1	英語Ⅳ 1	英語Ⅴ 1			
	言語応用系		日本語表現技術 2			科学技術英語Ⅰ 1		
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学Ⅰ 2 情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
小計	必修8単位・選択3単位	必修2単位・選択8単位	選択1単位	選択3単位	選択5単位	選択2単位		
専門基礎導入	必修	電気電子数学 ③		物理・化学ユニットプログラム ③				
	a群		微分積分学Ⅰ-d 3					
	b群			微分積分学Ⅱ-d 3				
	c群			ベクトル解析 2				
	d群	基礎力学Ⅰ-d 3						
選択								
小計	必修3単位・選択3単位	選択3単位	必修3単位・選択5単位					
専門基礎	必修	基礎電気回路Ⅰ ③	基礎電気回路Ⅱ ③	基礎電子回路 ③				
	a群			電気磁気学Ⅰ ③				
	b群				電気磁気学Ⅱ ③			
	c群			回路解析Ⅰ 3	回路解析Ⅱ 3 アナログ電子回路 2 電気電子計測 2			
	選択	電気電子ユニット入門 2	プログラミング入門 2					
ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④				
小計	必修3単位・選択2単位	必修6単位・選択2単位	必修6単位・選択3単位	必修7単位・選択7単位				
専門	必修					電気電子設計製図 2		
	a群			環境・エネルギー 2	電気機器学 2 制御工学 2 電子デバイス 2			
	b群							
	c群			電子通信工学 2		電力システム工学 2		
	d群							
	選択			マイコン回路設計講座 2		エネルギーと電力システム制御 2 プラズマ工学 2 デジタル通信とネットワーク 2	電気法規及び施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 光エレクトロニクス 2 モバイル・ユビキタス 2	
	ユニットプログラム					電気電子専門ユニット ④	電気電子発展ユニット ②	電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥
小計			選択2単位	選択4単位	必修4単位・選択12単位	必修2単位・選択12単位		
合計	必修14単位・選択8単位	必修8単位・選択13単位	必修9単位・選択11単位	必修7単位・選択14単位	必修4単位・選択17単位	必修2単位・選択14単位	必修8単位	
年次別合計	43		41		37		8	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川県立工科大学工学部電気電子情報学科 EAコース(半導体・電子デバイス・光エレクトロニクス系) 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系				技術者倫理 2			
	人文社会 (必修)	現代社会講座 ②						
	人文社会 (a群)		日本国憲法 2 暮らしの経済 2		環境論 2			
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習Ⅱ 1					
	英語基礎系	英語Ⅱ 1	英語Ⅲ 1	英語Ⅳ 1	英語Ⅴ 1			
	言語応用系		日本語表現技術 2			科学技術英語Ⅰ 1		
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学Ⅰ 2 情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
小計	必修8単位・選択3単位	必修2単位・選択8単位	選択1単位	選択3単位	選択5単位	選択2単位		
専門基礎導入	必修	電気電子数学 ③		物理・化学ユニットプログラム ③				
	a群		微分積分学Ⅰ-d 3					
	b群			微分積分学Ⅱ-d 3				
	c群			ベクトル解析 2				
	d群	基礎力学Ⅰ-d 3						
	選択							
小計	必修3単位・選択3単位	選択3単位	必修3単位・選択5単位					
専門基礎	必修	基礎電気回路Ⅰ ③	基礎電気回路Ⅱ ③	基礎電子回路 ③				
	a群			電気磁気学Ⅰ ③				
	b群				電気磁気学Ⅱ ③			
	c群			回路解析Ⅰ 3	回路解析Ⅱ 3 アナログ電子回路 2 電気電子計測 2			
	選択	電気電子ユニット入門 2	プログラミング入門 2					
	ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④			
小計	必修3単位・選択2単位	必修6単位・選択2単位	必修6単位・選択3単位	必修7単位・選択7単位				
専門	必修							
	a群				環境・エネルギー 2	電気機器学 2		
	b群				半導体工学 2	電子デバイス 2 電気電子材料 2		
	c群				電子通信工学 2	コンピュータ工学 2		
	d群							
	選択			マイコン回路設計講座 2		電気法規及び施設管理 2 プラズマ工学 2 デジタル通信とネットワーク 2 モバイル・ユビキタス 2	電気法規及び施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 光エレクトロニクス 2 モバイル・ユビキタス 2	
	ユニットプログラム					電気電子専門ユニット ④	電気電子発展ユニット ②	電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥
	小計			選択2単位	選択6単位	必修4単位・選択12単位	必修2単位・選択8単位	
合計	必修14単位・選択8単位	必修8単位・選択13単位	必修9単位・選択11単位	必修7単位・選択16単位	必修4単位・選択17単位	必修2単位・選択10単位	必修8単位	
年次別合計	43		43		33		8	
卒業単位	卒業要件:124単位以上							

神奈川工科大学工学部電気電子情報学科 EAコース(情報通信系) 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系				技術者倫理 2			
	人文社会 (必修)	現代社会講座 ②						
	人文社会 (a群)		日本国憲法 2 暮らしの経済 2		環境論 2			
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習Ⅱ 1					
	英語基礎系	英語Ⅱ 1	英語Ⅲ 1	英語Ⅳ 1	英語Ⅴ 1			
	言語応用系		日本語表現技術 2			科学技術英語Ⅰ 1		
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学Ⅰ 2 情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
小計	必修8単位・選択3単位	必修2単位・選択8単位	選択1単位	選択3単位	選択5単位	選択2単位		
専門基礎導入	必修	電気電子数学 ③		物理・化学ユニットプログラム ③				
	a群		微分積分学Ⅰ-d 3					
	b群			微分積分学Ⅱ-d 3				
	c群			ベクトル解析 2	フーリエ解析 2			
	d群	基礎力学Ⅰ-d 3						
	選択							
小計	必修3単位・選択3単位	選択3単位	必修3単位・選択5単位	選択2単位				
専門基礎	必修	基礎電気回路Ⅰ ③	基礎電気回路Ⅱ ③	基礎電子回路 ③				
	a群			電気磁気学Ⅰ ③				
	b群				電気磁気学Ⅱ ③			
	c群			回路解析Ⅰ 3	回路解析Ⅱ 3 論理回路 2 電気電子計測 2			
	選択	電気電子ユニット入門 2	プログラミング入門 2					
	ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④			
小計	必修3単位・選択2単位	必修8単位・選択2単位	必修6単位・選択3単位	必修7単位・選択7単位				
専門	必修							
	a群				環境・エネルギー 2	電気機器学 2		
	b群					電子デバイス 2		
	c群				電子通信工学 2	コンピュータ工学 2	電磁波とその応用 2	
	d群							
	選択			マイコン回路設計講座 2			電気法規及び施設管理 2	
						プラズマ工学 2	パワーエレクトロニクス 2	
						デジタル通信とネットワーク 2	光エレクトロニクス 2	
							モバイル・ユビキタス 2	
	ユニットプログラム					電気電子専門ユニット ④	電気電子発展ユニット ②	
小計			選択2単位	選択4単位	必修4単位・選択10単位	必修2単位・選択10単位	電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥	
合計	必修14単位・選択8単位	必修8単位・選択13単位	必修9単位・選択11単位	必修7単位・選択17単位	必修4単位・選択15単位	必修2単位・選択12単位	必修8単位	
年次別合計	43		44		33		8	
卒業単位	卒業要件:124単位以上							

神奈川県立大学工学部電気電子情報学科 EBコース 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系					技術者倫理 ②		
	人文社会 (必修)	現代社会講座 ②						
	人文社会 (a群)		日本国憲法 2 暮らしの経済 2		環境論 2			
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習Ⅱ 1					
	英語基礎系	英語Ⅲ 1	英語Ⅳ 1	英語Ⅴ 1	英語Ⅵ 1			
	言語応用系	英会話Ⅰ 1	英会話Ⅱ 1 日本語表現技術 2	英会話Ⅲ 1		科学技術英語Ⅰ 1		
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学Ⅰ 2 情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
小計	必修8単位・選択4単位	必修2単位・選択9単位	選択2単位	選択3単位	必修2単位・選択3単位	選択2単位		
専門基礎導入	必修	電気電子数学 ③		物理・化学ユニットプログラム ③				
	a群		微分積分学Ⅰ-d 3					
	b群			微分積分学Ⅱ-d 3				
	c群			ベクトル解析 2	フーリエ解析 2			
	d群	基礎力学Ⅰ-d 3						
	選択							
小計	必修3単位・選択3単位	選択3単位	必修3単位・選択5単位	選択2単位				
専門基礎	必修	基礎電気回路Ⅰ ③	基礎電気回路Ⅱ ③	電気磁気学Ⅰ-EB ③ C言語 ② 基礎電子回路 ③	電気磁気学Ⅱ-EB ③			
	a群							
	b群							
	c群			回路解析Ⅰ 3	回路解析Ⅱ 3 アナログ電子回路 2 電気電子計測 2			
	選択	電気電子ユニット入門 2	プログラミング入門 2					
	ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④			
小計	必修3単位・選択2単位	必修6単位・選択2単位	必修8単位・選択3単位	必修7単位・選択7単位				
専門	必修					電気電子設計製図 ②		
	a群			環境・エネルギー 2	電気機器学 2 制御工学 2 電子デバイス 2			
	b群							
	c群			電子通信工学 2		電力システム工学 2		
	選択		マイコン回路設計講座 2		エネルギーと電力システム制御 2 プラズマ工学 2 デジタル通信とネットワーク 2	電気法規及び施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 光エレクトロニクス 2 モバイル・ユビキタス 2		
	ユニットプログラム				電気電子専門ユニット ④ 電気電子専門ユニット及び特別研究ユニット ③		電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥	
	小計			選択2単位	選択4単位	必修7単位・選択12単位	必修2単位・選択10単位	
合計	必修14単位・選択9単位	必修8単位・選択14単位	必修11単位・選択12単位	必修7単位・選択16単位	必修9単位・選択15単位	必修2単位・選択12単位	必修8単位	
年次別合計	45単位		46		38		8単位	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学工学部電気電子情報学科 ECコース 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系					技術者倫理 2		
	人文社会 (必修)	現代社会講座 ②						
	人文社会 (a群)		日本国憲法 2 暮らしの経済 2		環境論 2			
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習Ⅱ 1					
	英語基礎系	英語Ⅱ 1	英語Ⅲ 1	英語Ⅳ 1	英語Ⅴ 1			
	言語応用系		日本語表現技術 2			科学技術英語Ⅰ 1		
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学Ⅰ 2 情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
小計	必修8単位・選択3単位	必修2単位・選択8単位	選択1単位	選択3単位	選択5単位	選択2単位		
専門基礎導入	必修	電気電子数学 ③		物理・化学ユニットプログラム ③				
	a群		微分積分学Ⅰ-d 3					
	b群			微分積分学Ⅱ-d 3				
	c群			ベクトル解析 2				
	d群	基礎力学Ⅰ-d 3						
選択								
小計	必修3単位・選択3単位	選択3単位	必修3単位・選択5単位					
専門基礎	必修	基礎電気回路Ⅰ ③	基礎電気回路Ⅱ ③	基礎電子回路 ③				
	a群			電気磁気学Ⅰ ③				
	b群				電気磁気学Ⅱ ③			
	c群			回路解析Ⅰ 3	回路解析Ⅱ 3 アナログ電子回路 2 電気電子計測 2			
	選択	電気電子ユニット入門 2	プログラミング入門 2					
ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④				
小計	必修3単位・選択2単位	必修6単位・選択2単位	必修6単位・選択3単位	必修7単位・選択7単位				
専門	必修					電気電子設計製図 ②		
	a群			環境・エネルギー 2	電気機器学 2 制御工学 2 電子デバイス 2			
	b群					電力システム工学 2		
	c群			電子通信工学 2		電気工事士講座(検定)Ⅱ ②		
	d群					電気法規及び施設管理 2		
	選択			マイコン回路設計講座 2		プラズマ工学 2 デジタル通信とネットワーク 2 光エレクトロニクス 2 モバイル・ユビキタス 2		
	ユニットプログラム					電気電子専門ユニット ④	電気電子発展ユニット ②	
							電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥	
	小計			選択2単位	選択4単位	必修4単位・選択12単位	必修6単位・選択10単位	
	合計	必修14単位・選択8単位	必修8単位・選択13単位	必修9単位・選択11単位	必修7単位・選択14単位	必修4単位・選択17単位	必修6単位・選択12単位	必修8単位
年次別合計	43		41		39		8	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学工学部電気電子情報学科 ETコース(環境エネルギー特別専攻) 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系					技術者倫理 2		
	人文社会 (必修)	新聞理解表現演習 I ①	新聞理解表現演習 II ①	実践プレゼンテーション・スキル ①	社会時事・討論演習 ①	グローバル・コミュニケーション ①	社会・経済事情 ①	
	人文社会 (a群)	マスメディア論 2						
	人文社会 (b群)					倫理学 2		
	人文社会 (c群)						経済学 2	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習 II 1					
	英語基礎系	Reading I ① Listening I ①	Reading II ① Listening II ①	Reading III ① Listening III ①	Reading IV ① Listening IV ①			
	言語応用系					科学技術英語 I ① Reading and Listening A- I ① Reading and Listening B- I ①	科学技術英語 II ① Reading and Listening A- II ① Reading and Listening B- II ①	
	数理情報系	情報リテラシー ②						
	キャリア系	キャリア設計 ①	キャリア開発 ② 早期インターンシップ準備演習 ①	早期インターンシップ ②				
小計	必修7単位・選択2単位	必修6単位・選択1単位	必修5単位	必修3単位	必修4単位・選択4単位	必修4単位・選択2単位		
専門基礎導入	必修	解析学 I ③ 物理学A ③	線形代数学 ③ 物理学B ③	物理・化学ユニットプログラムS ③				
	選択	電気電子数学 3	確率統計S 2					
	小計	必修6単位・選択3単位	必修6単位・選択2単位	必修3単位				
専門基礎	必修	電気回路 I ②	電気回路 II ② 電子回路 I ②	電子回路 II ② 電気磁気学 I-EB ③ 回路解析 I ③	電子回路 III ② 電気磁気学 II-EB ③ 回路解析 II ③			
	選択			C言語 2	電気電子計測 2			
	ユニットプログラム		電気電子基礎ユニット ③		電気電子応用ユニット ④			
	小計	必修2単位	必修7単位	必修8単位・選択2単位	必修12単位・選択2単位			
専門	必修	1年生特別専攻ゼミ I ①	1年生特別専攻ゼミ II ①	2年生特別専攻ゼミ I ①	2年生特別専攻ゼミ II ①		特別専攻海外研修 ②	
	選択必修				環境とエレクトロニクス 2	エネルギーマネジメントシステム	環境と再生可能エネルギー 2	
	選択					電気機器学 2	電力システム工学 2	
						制御工学 2	電気法規及び施設管理 2	
						エネルギーと電力システム制御 2	パワーエレクトロニクス 2	
	ユニットプログラム					電気電子専門ユニット ④ 電気電子専門ユニット及び特別研究ユニット ③	電気電子工学ゼミ ② 卒業研究 ⑥	
小計	必修1単位	必修1単位	必修1単位	必修1単位・選択2単位	必修7単位・選択8単位	必修2単位・選択8単位	必修8単位	
合計	必修16単位・選択5単位	必修20単位・選択3単位	必修17単位・選択2単位	必修16単位・選択4単位	必修11単位・選択12単位	必修6単位・選択10単位	必修8単位	
年次別合計	43		39		39		8	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川県立大学情報学部情報工学科 情報システム開発技術者 履修モデル

(○数字=必修単位数、無印数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル ①						
	倫理系					情報社会と情報倫理 ②		
	人文社会	現代社会講座 ②	日本国憲法 2	アジアの文化と社会 2	日本近現代史 2	政治学 2		
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習 I 1		少子高齢化と社会問題 2	哲学 2	文学 2		
	英語基礎系	英語I 1	英語II 1	英語III 1	英語IV 1			
	言語応用系	英会話 I 1	英会話II 1 文書表現技術 2	英会話III 1	英会話IV 1			
	数理情報系	身の回りの数学 ② 実感する科学 I ②						
	キャリア系	情報リテラシー ② キャリア設計 ①	キャリア開発 ②					
	小計	必修 10 単位, 選択 3 単位	必修 2 単位, 選択 6 単位	選択 7 単位	選択 6 単位	必修 2 単位 選択 4 単位		
	専門基礎導入	数理的基礎	数理論理学 2	離散数学 2 線形代数学 I 2	線形代数学 II 2	数理統計学 2		
専門と社会		情報と科学技術 2	情報と知的財産権 2					
小計		選択 4 単位	選択 6 単位	選択 4 単位	選択 2 単位			
専門基礎	情報工学の基礎	計算機概論 ②	情報工学リテラシー ② ソフトウェア基礎論 ②					
	ユニットプログラム	C言語プログラミングユニット I ③	C言語プログラミングユニット II ③	情報工学基礎ユニット I ②				
	開発技術の基礎	電気回路 2	論理回路 2	WEB技術入門 2 アルゴリズムとデータ構造 2 経営管理論 2				
	小計	必修 5 単位, 選択 2 単位	必修 7 単位 選択 2 単位	必修 2 単位 選択 6 単位				
専門	専門総括				情報工学特別講義 ①			
	プログラミング			C++言語 3	プログラム言語処理 2 Java言語 3			
	開発技術			論理回路設計 2	ソフトウェア工学 2	UMLモデリング 2 オブジェクト指向分析設計論 2 データベース設計 2		
	開発企画・管理技術				情報技術と企業経営 2	情報システム概論 2 システム管理論 2 データベース管理論 2		
	情報工学コア技術				人工知能基礎論 2	モバイルコンピューティング 2 データベース 2	分散システム 2	
	ユニットプログラム				情報工学基礎ユニット II ②	情報工学応用ユニット I ③	情報工学応用ユニット II ③	
	小計			選択 5 単位	必修 3 単位, 選択 11 単位	必修 3 単位, 選択 8 単位	必修 3 単位, 選択 10 単位	情報工学セミナー ② 卒業研究 ⑥
合計	必修 15 単位, 選択 9 単位	必修 9 単位, 選択 14 単位	必修 2 単位 選択 22 単位	必修 3 単位, 選択 19 単位	必修 5 単位, 選択 12 単位	必修 3 単位, 選択 10 単位	必修 8 単位	
年次別合計	47 単位		46 単位		30 単位		8 単位	
卒業単位	卒業要件: 124 単位以上							

神奈川工科大学情報学部ネットワーク・コミュニケーション学科 ネットワークコース 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 2		
	人文社会	現代社会講座 2		国際化と異文化理解 ②	暮らしの経済 ②	政治学 ②	起業と経営 ② 倫理学 ②	
	健康・スポーツ系		健康スポーツ科学実習II ①					
	英語基礎系	英語I ①	英語II ①	英語III ①	英語IV ①			
	言語応用系			プレゼンテーション技術 2		科学技術英語I ①	科学技術英語II ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2 身の回りの数学 2 実感する化学I 2						
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2					
	小計	必修10単位・選択1単位	必修2単位・選択2単位	必修2単位・選択3単位	選択3単位	必修2単位・選択3単位	選択5単位	
専門基礎導入	数学分野	基礎数学 ②	微分積分学I ③		数理統計学 ②			
	情報学部共通分野		情報と知的財産権 ②	情報と文化 ②				
	小計	選択2単位	選択5単位	選択2単位	選択2単位			
専門基礎	情報基礎系・応用系	情報ネットワーク工学I ②	情報ネットワークリテラシー 2 情報ネットワーク工学II ②		情報理論 ② ソフトウェア工学 ②	データベース ②	分散処理 ②	
	情報ネットワーク基盤系	情報ネットワーク概論 ②						
	小計	選択4単位	必修2単位・選択2単位		選択4単位	選択2単位	選択2単位	
専門	情報ネットワーク基盤系			ネットワーク工学 ② インターネットアプリケーション ②	インターネット技術 ② Web技術 ②	ネットワークルーティング ② ネットワークプログラミング ②	ネットワークインタフェース ② ネットワーク解析技法 ②	
	ネットワーク技術系			通信工学 ②	光通信技術 ②	デジタル移動通信 ②	モバイルネットワーク ②	
	アプリケーション系					ヒューマンインターフェース ②	ソーシャルメディア技術 ②	
	情報セキュリティ系		情報セキュリティ概論 ②		情報セキュリティと法制度 ②			
	ユニットプログラム・セミナー・卒研	情報ネットワーク導入ユニットI 4	情報ネットワーク導入ユニットII 4	情報ネットワーク基礎ユニットI 4	情報ネットワーク基礎ユニットII 4	情報ネットワークコースユニット 4	情報ネットワーク応用ユニット 4	情報ネットワークセミナー 2 卒業研究 6
	小計	必修4単位	必修4単位・選択2単位	必修4単位・選択6単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修8単位
合計	必修14単位・選択7単位	必修8単位・選択11単位	必修6単位・選択11単位	必修4単位・選択17単位	必修6単位・選択13単位	必修4単位・選択15単位	必修8単位	
年次別合計	40単位		38単位		38単位		8単位	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学情報学部ネットワーク・コミュニケーション学科 アプリケーションコース 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 2		
	人文社会	現代社会講座 2		国際化と異文化理解 ②	暮らしの経済 ②	政治学 ②	起業と経営 ② 倫理学 ②	
	健康・スポーツ系		健康スポーツ科学実習II ①					
	英語基礎系	英語I ①	英語II ①	英語III ①	英語IV ①			
	言語応用系			プレゼンテーション技術 2		科学技術英語I ①	科学技術英語II ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2 身の回りの数学 2 実感する化学I 2						
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2					
小計	必修10単位・選択1単位	必修2単位・選択2単位	必修2単位・選択3単位	選択3単位	必修2単位・選択3単位	選択5単位		
専門基礎導入	数学分野	基礎数学 ②	微分積分学I ③		数理統計学 ②			
	情報学部共通分野		情報と知的財産権 ②	情報と文化 ②				
	小計	選択2単位	選択5単位	選択2単位	選択2単位			
専門基礎	情報基礎系・応用系	情報ネットワーク工学I ②	情報ネットワークリテラシー 2 情報ネットワーク工学II ②		情報理論 ② ソフトウェア工学 ②	データベース ②	分散処理 ②	
	情報ネットワーク基盤系	情報ネットワーク概論 ②						
	小計	選択4単位	必修2単位・選択2単位		選択4単位	選択2単位	選択2単位	
専門	情報ネットワーク基盤系			ネットワーク工学 ② インターネットアプリケーション ②	インターネット技術 ② Web技術 ②	ネットワークルーティング ② ネットワークプログラミング ②	ネットワークインタフェース ② ネットワーク解析技法 ②	
	ネットワーク技術系				光通信技術 ②			
	アプリケーション系			マルチメディア処理 ②	メディア表現工学 ②	ヒューマンインタフェース ②	ソーシャルメディア技術 ②	
	情報セキュリティ系		情報セキュリティ概論 ②			電子認証 ②	ネットワークセキュリティ ②	
	ユニットプログラム・セミナー・卒研	情報ネットワーク導入ユニットI 4	情報ネットワーク導入ユニットII 4	情報ネットワーク基礎ユニットI 4	情報ネットワーク基礎ユニットII 4	情報ネットワークコースユニット 4	情報ネットワーク応用ユニット 4	情報ネットワークセミナー 2 卒業研究 6
小計	必修4単位	必修4単位・選択2単位	必修4単位・選択6単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修8単位	
合計	必修14単位・選択7単位	必修8単位・選択11単位	必修6単位・選択11単位	必修4単位・選択17単位	必修6単位・選択13単位	必修4単位・選択15単位	必修8単位	
年次別合計	40単位		38単位		38単位		8単位	
卒業単位	卒業要件：124単位以上							

神奈川工科大学情報学部ネットワーク・コミュニケーション学科 セキュリティコース 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 2		
	人文社会	現代社会講座 2		国際化と異文化理解 ②	暮らしの経済 ②	政治学 ②	起業と経営 ②	
	健康・スポーツ系		健康スポーツ科学実習II ①				倫理学 ②	
	英語基礎系	英語I ①	英語II ①	英語III ①	英語IV ①			
	言語応用系			プレゼンテーション技術 2		科学技術英語I ①	科学技術英語II ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2 身の回りの数学 2 実感する化学I 2						
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2					
	小計	必修10単位・選択1単位	必修2単位・選択2単位	必修2単位・選択3単位	選択3単位	必修2単位・選択3単位	選択5単位	
専門基礎導入	数学分野	基礎数学 ②	微分積分学I ③		数理統計学 ②			
	情報学部共通分野		情報と知的財産権 ②	情報と文化 ②				
	小計	選択2単位	選択5単位	選択2単位	選択2単位			
専門基礎	情報基礎系・応用系	情報ネットワーク工学I ②	情報ネットワークリテラシー 2 情報ネットワーク工学II ②		情報理論 ② ソフトウェア工学 ②	データベース ②	分散処理 ②	
	情報ネットワーク基盤系	情報ネットワーク概論 ②						
	小計	選択4単位	必修2単位・選択2単位		選択4単位	選択2単位	選択2単位	
専門	情報ネットワーク基盤系			ネットワーク工学 ② インターネットアプリケーション ②	インターネット技術 ② Web技術 ②	ネットワークルーティング ② ネットワークプログラミング ② デジタル移動通信 ②	ネットワークインタフェース ② ネットワーク解析技法 ② モバイルネットワーク ②	
	ネットワーク技術系							
	アプリケーション系				メディア表現工学 ②			
	情報セキュリティ系		情報セキュリティ概論 ②	情報セキュリティマネジメント ②	情報セキュリティと法制度 ②	電子認証 ②	ネットワークセキュリティ ②	
	ユニットプログラム・セミナー・卒研	情報ネットワーク導入ユニットI 4	情報ネットワーク導入ユニットII 4	情報ネットワーク基礎ユニットI 4	情報ネットワーク基礎ユニットII 4	情報ネットワークコースユニット 4	情報ネットワーク応用ユニット 4	情報ネットワークセミナー 2 卒業研究 6
	小計	必修4単位	必修4単位・選択2単位	必修4単位・選択6単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修4単位・選択8単位	必修8単位
合計	必修14単位・選択7単位	必修8単位・選択11単位	必修6単位・選択11単位	必修4単位・選択17単位	必修6単位・選択13単位	必修4単位・選択15単位	必修8単位	
年次別合計	40単位		38単位		38単位		8単位	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学情報学部情報メディア学科 ICTスペシャリスト特別専攻 コンテンツ制作系コース 履修モデル

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 2 技術者倫理 2 生命倫理 2		
	人文社会	新聞理解表現演習 I 1	新聞理解表現演習 II 1	実践プレゼンテーション・スキル 1	社会時事・討論演習 1	グローバル・コミュニケーション 1	社会・経済事情 1	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習 II 1					
	英語基礎系	Reading I 1 Listening I 1	Reading II 1 Listening II 1	Reading III 1 Listening III 1	Reading IV 1 Listening IV 1			
	言語応用系		文章表現技術 2	プレゼンテーション技術 2		技術文章の書き方 2		
	数理情報系	情報リテラシー 2				科学技術英語 I 1 Reading and Listening A I 1 Reading and Listening B I 1	科学技術英語 II 1 Reading and Listening A II 1 Reading and Listening B II 1	
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2 早期インターンシップ準備演習 1	早期インターンシップ 2		業界研究 2	インターンシップ 2	
小計	必修7単位	必修6単位・選択2単位	必修5単位・選択4単位	必修3単位・選択2単位	必修5単位・選択4単位	必修3単位・選択2単位		
専門基礎導入	専門基礎導入	数理論理学 2 解析学 I 3 物理学A 3 化学A 2 ライフサイエンス I 2 情報と科学技術 2 情報と文化 2	離散数学 2 解析学 II 2 線形代数学 3 確率統計S 2 物理学B 3 化学B 2 ライフサイエンス II 2 情報と知的財産権 2	微分方程式 3 物理学C 2	物理学D 2	実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2	
	小計	必修6単位・選択2単位	必修5単位・選択2単位	選択3単位	選択2単位	選択2単位	選択2単位	
専門基礎	情報メディア基礎		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2 Web制作 2 マルチメディア入門 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2 フィジカルコンピューティング 2	情報メディアプロデュース論 2	
	情報技術基礎	IT基礎 4		計算機構成論 2 応用プログラミングA 2	情報理論と信号処理 2 応用プログラミングB 2	応用プログラミングC 2	メディアセキュリティ 2 ソフトウェア開発 2	
	特別専攻演習	ICT特別演習 I 1	ICT特別演習 II 1	ICT特別演習 III 1	ICT特別演習 IV 1			
小計	必修5単位	必修1単位・選択2単位	必修1単位・選択6単位	必修1単位・選択6単位	選択4単位	選択4単位		
卒業要件	CGアニメータ ゲームクリエイター キャラクタ			グラフィックス基礎論 2 ゲームデザイン論 2 キャラクタ概論 I 2	CGデザイン 2 ゲームグラフィックス 2 キャラクタ概論 II 2	CGアニメーション 2 ゲームプログラミング 2 キャラクタ創作論 2	メディアアート 2 ゲームAI 2 キャラクタ制作 2	
	ユニットプログラム	情報メディア基盤ユニット 4	情報メディア導入ユニット 4	情報メディア基礎ユニット I 2	情報メディア基礎ユニット II 2	情報メディア専門ユニット I 3	情報メディア専門ユニット II 3	
	卒業研究関係	1年生特別専攻セミナー I 1	1年生特別専攻セミナー II 1	2年生特別専攻セミナー I 1	2年生特別専攻セミナー II 1	ICTスペシャリストセミナー 2		卒業研究 6 情報メディアセミナー 2
	海外実習系					国際メディア実習 1 海外情報メディア研修 I 2 海外情報メディア研修 II 2 海外情報メディア研修 III 2		
	目的別プログラム	メディア実践講座 2				ゲームクリエイター特訓 2 プロダクションCGクリエイター特訓 2 キャラクタクリエイター特訓 2		
	検定系			IT応用 2	情報英語 2			
	小計	必修5単位	必修5単位・選択2単位	必修3単位・選択4単位	必修3単位・選択4単位	必修5単位・選択4単位	必修5単位・選択4単位	必修8単位
	合計	必修23単位・選択2単位	必修17単位・選択6単位	必修9単位・選択17単位	必修7単位・選択14単位	必修10単位・選択14単位	必修8単位・選択12単位	必修8単位
	年次別合計	48単位		47単位		44単位		8単位
	卒業単位	卒業要件: 124単位以上						

神奈川工科大学情報学部情報メディア学科 ICTスペシャリスト特別専攻 メディア技術者系コース 履修モデル

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 2 技術者倫理 2 生命倫理 2		
	人文社会	新聞理解表現演習 I 1	新聞理解表現演習 II 1	実践プレゼンテーション・スキル 1	社会時事・討論演習 1	グローバル・コミュニケーション 1	社会・経済事情 1	
	健康・スポーツ系		健康・スポーツ科学実習 II 1					
	英語基礎系	Reading I 1 Listening I 1	Reading II 1 Listening II 1	Reading III 1 Listening III 1	Reading IV 1 Listening IV 1			
	言語応用系		文章表現技術 2	プレゼンテーション技術 2		技術文章の書き方 2		
	数理情報系	情報リテラシー 2				科学技術英語 I 1 Reading and Listening A I 1 Reading and Listening B I 1	科学技術英語 II 1 Reading and Listening A II 1 Reading and Listening B II 1	
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2 早期インターンシップ準備演習 1	早期インターンシップ 2		業界研究 2	インターンシップ 2	
小計	必修7単位	必修6単位・選択2単位	必修5単位・選択4単位	必修3単位・選択2単位	必修5単位・選択4単位	必修3単位・選択2単位		
専門基礎導入	専門基礎導入	数理論理学 2 解析学 I 3 物理学A 3 化学A 2 ライフサイエンス I 2 情報と科学技術 2 情報と文化 2	離散数学 2 解析学 II 2 線形代数学 3 確率統計S 2 物理学B 3 化学B 2 ライフサイエンス II 2 情報と知的財産権 2	微分方程式 3 物理学C 2	物理学D 2	実践的マーケティング論 2	実践的マネジメント論 2	
	小計	必修6単位・選択2単位	必修5単位・選択2単位	選択3単位	選択2単位	選択2単位	選択2単位	
専門基礎	情報メディア基礎		ゲーム制作論 2	メディアコンテンツ制作概論 2 Web制作 2 マルチメディア入門 2	デジタルデザイン 2	ビジュアルシミュレーション 2 フィジカルコンピューティング 2	情報メディアプロデュース論 2	
	情報技術基礎	IT基礎 4		計算機構成論 2 応用プログラミングA 2	情報理論と信号処理 2 応用プログラミングB 2	応用プログラミングC 2	メディアセキュリティ 2 ソフトウェア開発 2	
	特別専攻演習	ICT特別演習 I 1	ICT特別演習 II 1	ICT特別演習 III 1	ICT特別演習 IV 1			
	小計	必修5単位	必修1単位・選択2単位	必修1単位・選択6単位	必修1単位・選択6単位	選択4単位	選択4単位	
専門	インタラクションメディア イメージメディア サウンドメディア			Webシステム 2 画像情報処理 2 サウンド解析 2	コラボレイティブWeb 2 映像メディアシステム 2 音楽論 2	データベース 2 画像認識システム 2 コンピュータ音楽制作 2	インタラクションデザイン 2 ヒューマンインターフェイス 2 サウンド情報処理 2	
	ユニットプログラム	情報メディア基盤ユニット 4	情報メディア導入ユニット 4	情報メディア基礎ユニット I 2	情報メディア基礎ユニット II 2	情報メディア専門ユニット I 3	情報メディア専門ユニット II 3	
	卒業研究関係	1年生特別専攻セミナー I 1	1年生特別専攻セミナー II 1	2年生特別専攻セミナー I 1	2年生特別専攻セミナー II 1	ICTスペシャリストセミナー 2		卒業研究 6 情報メディアセミナー 2
	海外実習系					国際メディア実習 1 海外情報メディア研修 I 2 海外情報メディア研修 II 2 海外情報メディア研修 III 2		
	目的別プログラム	メディア実践講座 2				ゲームクリエイター特訓 2 プロダクションCGクリエイター特訓 2 キャラクタークリエイター特訓 2		
	検定系			IT応用 2	情報英語 2			
	小計	必修5単位	必修5単位・選択2単位	必修3単位・選択4単位	必修3単位・選択4単位	必修5単位・選択4単位	必修5単位・選択4単位	必修8単位
	合計	必修23単位・選択2単位	必修17単位・選択6単位	必修9単位・選択17単位	必修7単位・選択14単位	必修10単位・選択14単位	必修8単位・選択12単位	必修8単位
年次別合計	48単位		47単位		44単位		8単位	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学創造工学部自動車システム開発工学科 履修モデル

(無印数字=必修単位数、()数字=選択必修数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 ②	技術者倫理 ②	
	人文社会	現代社会講座 2		国際化と異文化理解 ②		経済学 ②	哲学 ②	
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習 I ①		現代社会の心理学 ②				
	英語基礎系	英語Ⅲ ①	英語Ⅳ ①	英語Ⅴ ①	英語Ⅵ ①			
	言語応用系	英会話Ⅰ ①	英会話Ⅱ ①	英会話Ⅲ ①		科学技術英語Ⅰ ①	科学技術英語Ⅱ ①	
	数理情報系	実感する科学Ⅰ 2	身の回りの数学 2					
	キャリア系	情報リテラシー 2						
		キャリア設計 1	キャリア開発 2					
	小計	必修8単位・選択3単位	必修4単位・選択2単位	選択6単位	選択1単位	選択5単位	選択5単位	
専門基礎導入	数学系	微分積分学Ⅰ-d (3) 線形代数Ⅰ-b (2)	微分積分学Ⅱ-d (3) 線形代数Ⅱ-b (2)	機械系数学 2				
	物理学系	基礎力学Ⅰ-d (3) 物理・化学ユニットプログラム 3	基礎力学Ⅱ-d (3) 基礎電磁気学Ⅰ-b (2)	基礎電磁気学Ⅱ-b (2)				
	化学系・生物系					化学Ⅰ-a ②		
	小計	必修3単位・選択必修8単位	選択必修10単位	必修2単位・選択必修2単位		選択2単位		
専門基礎	創造工学部共通		C言語 ②	C言語演習 ① 基礎電子回路 (2)				
	学科専門基礎		基礎製図 2	自動車のための情報・通信入門 2 自動車要素設計Ⅰ 2 熱力学 (2)	自動車要素設計Ⅱ 2 機械力学 (2) 材料力学 (2) 流体力学 (2)			
	小計		必修2単位・選択2単位	必修4単位・選択必修4単位 ・選択1単位	必修2単位・選択必修6単位			
専門	インテリジェント化				自動車制御プロセッサ ②	制御工学 ②	自動車制御システムのプログラミング ②	
	電気自動車				カーエレクトロニクス ②		電気自動車システム工学 ②	
	先進自動車性能				マルチボディダイナミクス ②	カーエアロダイナミクス ②		
	スマートストラクチャー				材料強度力学 ②		オートモーティブエンジニアリング ②	
	環境・交通				応用熱力学 ②	自動車エンジン工学 ②		
	ユニットプログラム		自動車システム工学 プロジェクト入門 2	自動車システム工学 プロジェクトⅠ ②	自動車システム工学 プロジェクトⅡ ② 自動車設計プロジェクト ②	自動車開発プロジェクトⅠ ②	自動車開発プロジェクトⅡ ②	
	総合科目							卒業研究 6 輪講 ②
	小計		必修2単位	選択2単位	選択14単位	選択8単位	選択8単位	必修3単位・選択1単位
合計	必修11単位・選択必修8単位 ・選択3単位	必修8単位・選択必修10単位 ・選択4単位	必修6単位・選択必修6単位 ・選択9単位	必修2単位・選択必修6単位 ・選択15単位	選択15単位	選択13単位	必修3単位・選択1単位	必修3単位・選択1単位
年次別合計	44単位		44単位		28単位		8単位	
卒業単位	卒業要件：124単位以上							

神奈川県立大学工学部自動車システム開発工学科 次世代自動車開発特別専攻 履修モデル

(無印数字＝必修単位数、()数字＝選択必修数、○数字＝選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	選入系	スタディスキル 1						
	倫理系					情報社会と情報倫理 (2)		
	人文社会	新聞理解表現演習Ⅰ 1	新聞理解表現演習Ⅱ 1	実践プレゼンテーション・スキル 1	社会時事・討論演習 1	グローバル・コミュニケーション 1	社会・経済事情 1	
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習Ⅰ ①	国際化と異文化理解 ②			倫理学 ②	企業と経営 ②	
	英語基礎系	ReadingⅠ 1	ReadingⅡ 1	ReadingⅢ 1	ReadingⅣ 1			
	言語応用系	ListeningⅠ 1	ListeningⅡ 1	ListeningⅢ 1	ListeningⅣ 1			
	科学技術英語系					科学技術英語Ⅰ 1	科学技術英語Ⅱ 1	
						Reading and Listening A-Ⅰ 1	Reading and Listening A-Ⅱ 1	
						Reading and Listening B-Ⅰ 1	Reading and Listening B-Ⅱ 1	
	数理情報系	情報リテラシー 2						
キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2	早期インターンシップ準備演習 1	早期インターンシップ 2				
小計	必修7単位・選択1単位	必修5単位・選択2単位	必修4単位	必修5単位	必修4単位・選択必修2単位 ・選択2単位	必修4単位・選択2単位		
専門基礎導入	数学系	解析学Ⅰ 3	解析学Ⅱ 2 線形代数学 3	微分方程式 3				
	物理学系	物理学A 3 物理・化学ユニットプログラムS 3	物理学B 3	物理学C 2				
	化学系・生物系	化学A 2						
	小計	必修11単位	必修8単位	必修5単位				
専門基礎	創造工学部共通		C言語 ②	基礎電子回路S 2				
	学科専門基礎		基礎製図 2	自動車のための情報・通信入門 2 自動車要素設計Ⅰ 2 機械力学S 2 材料力学S 2 熱力学S 2	自動車要素設計Ⅱ 2 流体力学S 2			
	小計		必修2単位・選択2単位	必修12単位	必修4単位			
専門	インテリジェント化					制御工学S (2)	次世代自動車制御 (2) 次世代自動車情報通信 (2)	
	電気自動車					次世代自動車動力 (2)		
	先進自動車性能				マルチボディダイナミクスS (2)	次世代自動車力学 (2)		
	スマートストラクチャー				材料強度力学S (2)			
	環境・交通				応用熱力学S (2)	自動車エンジン工学 ②		
	ユニットプログラム			次世代自動車開発プロジェクトⅠ 2	次世代自動車開発プロジェクトⅡ ② 次世代自動車開発プロジェクトⅢ ②	次世代自動車開発プロジェクトⅣ ②	次世代自動車開発プロジェクトⅤ ②	
	総合科目	1年生特別専攻ゼミⅠ 1	1年生特別専攻ゼミⅡ 1	2年生特別専攻ゼミⅠ 1	2年生特別専攻ゼミⅡ 1		海外自動車工学研修S 2	卒業研究 6 輪講 ②
	小計	必修1単位	必修1単位	必修3単位	必修1単位・選択必修6単位 ・選択4単位	選択必修6単位・選択4単位	必修2単位・選択必修4単位 ・選択2単位	必修3単位・選択1単位
合計	必修19単位・選択1単位	必修16単位・選択4単位	必修24単位	必修10単位・選択必修6単位 ・選択4単位	必修4単位・選択必修8単位 ・選択6単位	必修6単位・選択必修4単位 ・選択4単位	必修3単位・選択1単位	必修3単位・選択1単位
年次別合計	40単位		44単位		32単位		8単位	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川県立大学創造工学部学部ロボットメカトロニクス学科 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通基盤	導入系	スタディスキル 1							
	倫理系					技術者倫理 ②			
	人文社会	現代社会講座 2	日本国憲法② 日本近現代史②	比較文化論②		心理学②	経済学②		
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習 I 1							
	英語基礎系	英語 I ①	英語 II ①	英語 III ①	英語 IV ①				
	言語応用系		文章表現技術②				技術文章の書き方 2		
	数理情報系	情報リテラシー 2 実感する科学 I 2			身の回りの数学 2				
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2						
	小計	必修9単位・選択1単位	必修2単位・選択7単位	選択3単位	必修2単位・選択1単位	選択4単位	必修2単位・選択2単位		
専門基礎導入		微分積分学 I -c ③	線形代数学 I -a ②						
	小計		選択3単位	選択2単位					
専門基礎	創造工学部共通科目群	回路設計入門 2	基礎電気回路 2	組み込みソフトウェア設計 2		情報通信技術 2 センサ工学 2			
	ロボット・人間特性基礎科目群	プログラミング 2	応用力学 2 ロボット工学概論 2	設計製図 2 人間工学 ②					
	小計	必修4単位	必修6単位	必修4単位・選択2単位		必修4単位			
専門	ロボット・人間特性応用科目群			機構学 ② アナログ回路 ② 加齢と運動機能 ②	材料力学 ② 機械力学 ② デジタル回路 ② ロボットシミュレーション ② ロボット制御 ② 身体運動の科学 ②	組み込み機器入門 ② Android開発入門 ② プロダクトデザイン開発 I ②			
		ロボット・人間特性発展科目群					画像処理工学 ② メカトロニクス ② 人間工学計測法 ②	知能情報処理 ② ロボット製品設計 ②	
		ユニットプログラム科目群	ロボメカ基礎ユニット I ④	ロボメカ基礎ユニット II ④	ロボット開発設計ユニット I ④	ロボット開発設計ユニット II ④	ロボット開発設計ユニット III ④	ロボット開発設計ユニット IV ④	
		小計	選択4単位	選択4単位	選択10単位	選択16単位	選択16単位	選択8単位	輪講 2 卒業研究 6 必修8単位
	合計	必修13単位・選択5単位	必修8単位・選択14単位	必修4単位・選択17単位	必修2単位・選択17単位	必修4単位・選択20単位	必修2単位・選択10単位	必修8単位	
年次別合計	40単位		40単位		36単位		8単位		
卒業単位	卒業要件: 124単位以上								

神奈川県立工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科 医生命科学特別専攻 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディースキル 1						
	倫理系				生命倫理 2			
	人文社会	新聞理解表現演習I 1	新聞理解表現演習II 1	実践プレゼンテーションスキル 1	社会時事・討論演習 1	グローバルコミュニケーション 1	社会・経済事情 1	
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ実習 I ①	環境論 ②		法学 ②	日本国憲法 ②		
	英語基礎系	Reading I 1	ReadingII 1	Reading III 1	Reading IV 1			
		ListeningI 1	ListeningII 1	ListeningIII 1	ListeningIV 1			
	言語応用系					科学英語I 1	科学英語II 1	
						Reading and Listening A-1 1	Reading and Listening A-2 1	
						Reading and Listening B-1 1	Reading and Listening B-2 1	
	数理情報系	情報リテラシー 2						
キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2	早期インターンシップ準備演習 1	早期インターンシップ 2				
小計	必修7、選択1	必修5、選択2	必修4、選択0	必修5、選択2	必修6、選択2	必修4		
専門基礎導入		基礎化学I-a ②	物理・化学ユニットプログラム 3					
	小計	選択2	必修3					
専門基礎	生命現象理解	生命科学I 2 微生物学 ②	生命科学II 2				輪講 2、卒業研究6	
	バイオの基盤術理解	バイオ工学基礎 2	バイオ物理化学I ②	バイオ物理化学II ②				
	生命を構成する物質とその理解	化学・生物学基礎ユニット 4 有機化学 2	バイオ基礎ユニットプログラム 3 分析化学 2 生化学入門 2 生物無機化学 2					
	小計	必修10、選択2	必修11、選択2	必修0、選択2				
専門	情報処理技術				バイオインフォマティクス実習 ①			
	健康・医療分野専門			基礎医学 ②	病態薬理学 ② 免疫化学 ②	創薬化学 ② 化粧品科学 ② 生理活性物質化学 ②		
	バイオ専門分野			生化学I 2 細胞生物学 ② 生物有機化学 ② 食品化学・微生物学基礎実験 2	生化学II 2 分子生物学 ② 遺伝子工学 ② 応用微生物学 ② 生化学実験 2 バイオ機器分析ユニット 4	高分子科学 ② 植物バイオテクノロジー ② 動物バイオテクノロジー ② 応用バイオ科学実験 2 機器分析実験 2 生物工学 ②		
	バイオ健康・医療周辺分野			公衆衛生学 ② 食品機能科学 ②	環境科学 ② 食品衛生学 ②			
	オプションプログラム			国際コミュニティーバイオ英語I ① バイオ特別実験 ①	国際コミュニティーバイオ英語II ① バイオ総合演習I ①	バイオ総合演習II ① 海外バイオ研修I ② 機器分析特別実験 ②		
	小計	0	0	必修4、選択10	必修8、選択14	必修4、選択11	必修0、選択17	必修8
合計	必修17、選択5	必修19、選択4	必修8、選択12	必修13、選択16	必修10、選択13	必修4、選択17		
年次別合計	必修36、選択9		必修21、選択28		必修14、選択30		必修8	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科 食品・食糧分野 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディースキル 1						
	倫理系					生命倫理 2		
	人文社会	現代社会学講座 2	少子高齢化と社会問題 ②	芸術論 ②				
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ実習 I ①			文学 ②			
	英語基礎系	英語 I～Ⅲ(指定されたレベル) 1	英語 I～Ⅲ(指定されたレベル) 1	英語Ⅲ～Ⅵ(指定されたレベル) 1	英語Ⅲ～Ⅵ(指定されたレベル) 1			
	言語応用系		日本語表現技術 ②				科学技術英語Ⅱ ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2					身の回りの数学 2 実感する科学 2	
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2					
	小計	必修7、選択1	必修3、選択4	必修1、選択2	必修1、選択2	必修6、選択2	選択1	
専門基礎導入		基礎化学I-a ②	物理・化学ユニットプログラム 3					
	小計	選択2	必修3					
専門基礎	生命現象理解	生命科学I 2 微生物学 ②	生命科学II 2					輪講 2、卒業研究6
	バイオの基盤術理解	バイオ工学基礎 2	バイオ物理化学I ②	バイオ物理化学II ②				
	生命を構成する物質とその理解	化学・生物学基礎ユニット 4 有機化学 2	バイオ基礎ユニットプログラム 3 分析化学 2 生化学入門 2 生物無機化学 2					
	小計	必修10、選択2	必修11、選択2	必修0、選択2				
専門	情報処理技術					バイオインフォマティクス実習 ①		
	食品・食糧分野専門			食品機能科学 ②	食品衛生学 ②	食品分析学 ②	食品工学 ② 食品加工学 ② 分子栄養学 ②	
	バイオ専門分野			生化学I 2 細胞生物学 ② 生物有機化学 ② 食品化学・微生物学基礎実験 2	生化学II 2 分子生物学 ② 遺伝子工学 ② 応用微生物学 ② 生化学実験 2 バイオ機器分析ユニット 4	高分子科学 ② 植物バイオテクノロジー ② 動物バイオテクノロジー ② 応用バイオ科学実験 2 機器分析実験 2	先端バイオ科学 ② バイオ製品科学 ② 生物工学 ②	
	食品・食糧周辺分野			公衆衛生学 ②	基礎医学 ② 環境科学 ②	免疫化学 ②		
	オプションプログラム			国際コミュニティーバイオ英語I ① バイオ特別実験 ①	国際コミュニティーバイオ英語II ① バイオ総合演習I ①		バイオ総合演習II ① 海外バイオ研修I ② 機器分析特別実験 ②	
小計	0	0	必修4、選択10	必修8、選択14	必修4、選択11	必修0、選択17	必修8	
合計	必修17、選択5	必修17、選択6	必修5、選択14	必修9、選択16	必修10、選択13	必修0、選択18		
年次別合計	必修34、選択11		必修14、選択30		必修10、選択31		必修8	
卒業単位	卒業要件:124単位以上							

神奈川県立工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科 健康・医療分野 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディースキル 1						
	倫理系					生命倫理 2		
	人文社会	現代社会学講座 2	マスメディア論 ②	国際化と異文化理解 ②				
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習 I ①			倫理学 ②			
	英語基礎系	英語 I～Ⅲ(指定されたレベル) 1	英語 I～Ⅲ(指定されたレベル) 1	英語Ⅲ～Ⅵ(指定されたレベル) 1	英語Ⅲ～Ⅵ(指定されたレベル) 1			
	言語応用系		日本語表現技術 ②				科学技術英語II ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2				身の回りの数学 2		
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2			実感する科学 2		
	小計	必修7、選択1	必修3、選択4	必修1、選択2	必修1、選択2	必修6、選択2	選択1	
専門基礎導入		基礎化学I-a ②	物理・化学ユニットプログラム 3					
	小計	選択2	必修3					
専門基礎	生命現象理解	生命科学I 2 微生物学 ②	生命科学II 2					輪講 2、卒業研究6
	バイオの基盤術理解	バイオ工学基礎 2	バイオ物理化学I ②	バイオ物理化学II ②				
	生命を構成する物質とその理解	化学・生物学基礎ユニット 4 有機化学 2	バイオ基礎ユニットプログラム 3 分析化学 2 生化学入門 2 生物無機化学 2					
	小計	必修10、選択2	必修11、選択2	必修0、選択2				
専門	情報処理技術					バイオインフォマティクス実習 ①		
	健康・医療分野専門				基礎医学 ②	病態薬理学 ② 免疫化学 ②	創薬化学 ② 化粧品科学 ② 生理活性物質化学 ②	
	バイオ専門分野			生化学I 2 細胞生物学 ② 生物有機化学 ② 食品化学・微生物学基礎実験 2	生化学II 2 分子生物学 ② 遺伝子工学 ② 応用微生物学 ② 生化学実験 2 バイオ機器分析ユニット 4	高分子科学 ② 植物バイオテクノロジー ② 動物バイオテクノロジー ② 応用バイオ科学実験 2 機器分析実験 2	先端バイオ科学 ② バイオ製品科学 ② 生物工学 ②	
	バイオ健康・医療周辺分野			公衆衛生学 ② 食品機能科学 ②	環境科学 ② 食品衛生学 ②			
	オプションプログラム			国際コミュニティーバイオ英語I ① バイオ特別実験 ①	国際コミュニティーバイオ英語II ① バイオ総合演習I ①		バイオ総合演習II ① 海外バイオ研修I ② 機器分析特別実験 ②	
	小計	0	0	必修4、選択10	必修8、選択14	必修4、選択11	必修0、選択17	必修8
合計	必修17、選択5	必修17、選択6	必修5、選択14	必修9、選択16	必修10、選択13	必修0、選択18		
年次別合計	必修34、選択11		必修14、選択30		必修10、選択31		必修8	
卒業単位	卒業要件: 124単位以上							

神奈川工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科 環境・エネルギー分野 履修モデル

(無印数字=必修単位数、○数字=選択単位数)

教育区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通基盤	導入系	スタディースキル 1						
	倫理系					生命倫理 2		
	人文社会	現代社会学講座 2	マスメディア論 ②	国際化と異文化理解 ②				
	健康・スポーツ系	健康・スポーツ実習 I ①			倫理学 ②			
	英語基礎系	英語 I ~ III (指定されたレベル) 1	英語 I ~ III (指定されたレベル) 1	英語 III ~ VI (指定されたレベル) 1	英語 III ~ VI (指定されたレベル) 1			
	言語応用系		日本語表現技術 ②				科学技術英語II ①	
	数理情報系	情報リテラシー 2					身の回りの数学 2	
	キャリア系	キャリア設計 1	キャリア開発 2				実感する科学 2	
	小計	必修7、選択1	必修3、選択4	必修1、選択2	必修1、選択2	必修6、選択2	選択1	
専門基礎導入		基礎化学I-a ②	物理・化学ユニットプログラム 3					
	小計	選択2	必修3					
専門基礎	生命現象理解	生命科学I 2 微生物学 ②	生命科学II 2					輪講 2、卒業研究6
	バイオの基盤術理解	バイオ工学基礎 2	バイオ物理化学I ②	バイオ物理化学II ②				
	生命を構成する物質とその理解	化学・生物学基礎ユニット 4 有機化学 2	バイオ基礎ユニットプログラム 3 分析化学 2 生化学入門 2 生物無機化学 2					
	小計	必修10、選択2	必修11、選択2	必修0、選択2				
専門	情報処理技術					バイオインフォマティクス実習 ①		
	環境・エネルギー分野 専門			公衆衛生学 ②	環境科学 ②	環境工学 ② 環境保全学 ②		
	バイオ専門分野			生化学I 2 細胞生物学 ② 生物有機化学 ② 食品化学・微生物学基礎実験 2	生化学II 2 分子生物学 ② 遺伝子工学 ② 応用微生物学 ② 生化学実験 2 バイオ機器分析ユニット 4	高分子科学 ② 植物バイオテクノロジー ② 動物バイオテクノロジー ② 応用バイオ科学実験 2 機器分析実験 2	先端バイオ科学 ② バイオ製品科学 ② 生物工学 ②	
	環境・エネルギー周辺 分野			食品機能科学 ②	食品衛生学 ②	免疫化学 ②		
	オプションプログラム			国際コミュニティーバイオ英語I ① バイオ特別実験 ①	国際コミュニティーバイオ英語II ① バイオ総合演習I ①		バイオ総合演習II ① 海外バイオ研修I ② 機器分析特別実験 ②	
小計	0	0	必修4、選択10	必修8、選択14	必修4、選択13	必修0、選択11	必修8	
合計	必修17、選択5	必修17、選択6	必修5、選択14	必修9、選択16	必修10、選択15	必修0、選択12		
年次別合計	必修34、選択11		必修14、選択30		必修10、選択27		必修8	
卒業単位	卒業要件:124単位以上							

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	25人	33人	24人	16人	1人	99人	
	修 士	人	人	人	5人	2人	3人	人	10人	
	学 士	人	人	人	2人	2人	人	人	4人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	1人	3人	人	5人	
准教授	博 士	人	14人	27人	9人	1人	3人	人	54人	
	修 士	人	1人	4人	3人	1人	人	人	9人	
	学 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
講 師	博 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	1人	2人	人	人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	4人	2人	1人	人	人	人	7人	
	修 士	人	2人	5人	5人	1人	人	人	13人	
	学 士	人	人	人	人	2人	1人	人	3人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
合 計	博 士	人	18人	55人	44人	25人	19人	1人	162人	
	修 士	人	3人	10人	15人	4人	3人	人	35人	
	学 士	人	人	1人	2人	4人	1人	人	8人	
	短期大士学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	2人	1人	3人	人	7人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

教員組織の概要					
学 科 等 の 名 称	教授	准教授	講師	助教	合計
工学部	7	4			11
電気電子情報工学科	(7)	(4)	()	()	(11)
情報学部	14	5		1	20
情報工学科	(14)	(5)	()	(1)	(20)
情報学部	8	4	1	2	15
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	(8)	(4)	(1)	(2)	(15)
情報学部	9	9		4	22
情報メディア学科	(9)	(9)	()	(4)	(22)
創造工学部	8	2		4	14
自動車システム開発工学科	(8)	(2)	()	(4)	(14)
創造工学部	6	3			9
ロボット・メカトロニクス学科	(6)	(3)	()	()	(9)
応用バイオ科学部	9	4		3	16
応用バイオ科学科	(9)	(4)	()	(3)	(16)

※上段：学年進行終了時（平成32年度）の人数

※下段：定員を変更する年度（平成29年度）の人数

専任教員1人当たりの学生数

資料8

学科名	専任教員数	収容定員		ST比	
		現在	変更後	現在	変更後
全体	212	4,340	4,592	20.5	21.7
工学部 電気電子情報工学科	11	280	312	25.5	28.4
情報学部 情報工学科	20	560	620	28.0	31.0
情報学部 情報ネットワーク・ コミュニケーション学科	15	380	400	25.3	26.7
情報学部 情報メディア学科	22	600	660	27.3	30.0
創造工学部 自動車システム開発工学科	14	200	220	14.3	15.7
創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科	9	160	200	17.8	22.2
応用バイオ科学部 応用バイオ科学科	16	480	500	30.0	31.3

専任教員の年齢構成(学科別)										
学科等の名称	職 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
工学部 電気電子情報 工学科	教 授	人	人	4人	2人	人	1人	人	7人	
	准教授	人	2人	1人	人	1人	人	人	4人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	人	人	人	人	人	人	人	
	合 計	人	2人	5人	2人	1人	1人	人	11人	
情報学部 情報工学科	教 授	人	人	5人	7人	1人	1人	人	14人	
	准教授	人	1人	3人	人	1人	人	人	5人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	合 計	人	1人	9人	7人	2人	1人	人	20人	
情報学部 情報ネットワーク・ コミュニケーション 学科	教 授	人	人	3人	3人	1人	1人	人	8人	
	准教授	人	1人	2人	1人	人	人	人	4人	
	講 師	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	助 教	人	1人	人	1人	人	人	人	2人	
	合 計	人	2人	6人	5人	1人	1人	人	15人	
情報学部 情報メディア 学科	教 授	人	人	1人	3人	3人	2人	人	9人	
	准教授	人	2人	6人	人	人	1人	人	9人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	2人	1人	人	人	1人	人	4人	
	合 計	人	4人	8人	3人	3人	4人	人	22人	
創造工学部 自動車システム 開発工学科	教 授	人	人	人	1人	6人	1人	人	8人	
	准教授	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	人	人	2人	2人	人	人	4人	
	合 計	人	人	2人	3人	8人	1人	人	14人	
創造工学部 ロボット・マトロニクス 学科	教 授	人	人	1人	3人	1人	1人	人	6人	
	准教授	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	人	人	人	人	人	人	人	
	合 計	人	人	4人	3人	1人	1人	人	9人	
応用バイオ 科学部 応用バイオ 科学科	教 授	人	人	4人	3人	1人	1人	人	9人	
	准教授	人	1人	2人	1人	人	人	人	4人	
	講 師	人	人	人	人	人	人	人	人	
	助 教	人	2人	1人	人	人	人	人	3人	
	合 計	人	3人	7人	4人	1人	1人	人	16人	

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1 入学定員設定の考え方

入学定員設定の考え方については、電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科の最近5年間における入学者の志願状況や卒業生の就職状況、神奈川県を中心とする高等学校に在籍している高校生に対する進学需要調査、卒業生の採用意向調査の結果による数値などを総合的に踏まえるとともに、専任教員の配置状況や校舎等施設などの教育研究環境の整備状況を踏まえたうえで、各学科における入学者選抜の機能が低下しない範囲内での養成規模の充実を図ることとした。

2 定員を充足する見込み

定員を充足する見込みについては、電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科の最近5年間における志願者数や入学者数などの入学志願者状況等に加えて、神奈川県を中心とする高等学校に在籍している高校生に対する進学需要調査の結果による数値などから、十分な見込みがあるものと考えられる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1 最近5年間の入学志願者状況等

収容定員変更を計画している電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科における最近5年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の実績は、資料1に示す通り、18歳人口の減少期においても安定した志願者状況等を維持している。(資料1)

この最近5年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の実績に基づき、収容定員変更を計画している学科ごとに入学定員に対する志願者数の割合を算出し、収容定員変更後の倍率を予測するとともに、合格者数に対する入学者数の割合から、入学者選抜の機能が低下しない倍率の確保が可能であるかについて考察を行った。

1) 工学部 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度412人、平成25年度429人、平成26年度425人、平成27年度452人、平成28年度299人となっており、最近5年間の平均志願者数は403人、入学定員に対する志願者数の平均割合は5.8倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約5.2倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約3.8倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約2.1倍であることから、入学定員を70人から78人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、電気電子情報工学科の最近5年間の定員充足状況は5年間の平均で約116%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点を踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

2) 情報学部 情報工学科

情報工学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度677人、平成25年度806人、平成26年度691人、平成27年度808人、平成28年度644人と増減はあるものの安定的な傾向を示しており、最近5年間の平均志願者数は725人、入学定員に対する志願者数の平均割合は5.2倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約4.7倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約4.2倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約1.8倍であることから、入学定員を140人から155人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、情報工学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約120%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点を踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

3) 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワーク・コミュニケーション学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度456人、平成25年度415人、平成26年度412人、平成27年度489人、平成28年度437人と微増減はあるものの安定的な傾向を示しており、最近5年間の平均志願者数は442人、入学定員に対する志願者数の平均割合は4.5倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約4.4倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約4.1倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約1.9倍であることから、入学定員を95人から100人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、情報ネットワーク・コミュニケーション学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約113%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み

違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもとと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点から踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

4) 情報学部 情報メディア学科

情報メディア学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度746人、平成25年度704人、平成26年度681人、平成27年度780人、平成28年度755人と微増減はあるものの安定的な傾向を示しており、最近5年間の平均志願者数は733人、入学定員に対する志願者数の平均割合は4.6倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約4.4倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約4.3倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約1.8倍であることから、入学定員を150人から165人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、情報メディア学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約118%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもとと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点から踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

5) 創造工学部 自動車システム開発工学科

自動車システム開発工学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度280人、平成25年度248人、平成26年度356人、平成27年度324人、平成28年度244人となっており、最近5年間の平均志願者数は290人、入学定員に対する志願者数の平均割合は4.6倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約5.3倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約4.4倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約1.7倍であることから、入学定員を50人から55人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、自動車システム開発工学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約110%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもとと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点から踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

6) 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

ロボット・メカトロニクス学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度289人、平成25年度331人、平成26年度469人、平成27年度339人、平成28年度

255人となっており、最近5年間の平均志願者数は337人、入学定員に対する志願者数の平均割合は5.7倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約6.7倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約5.1倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約2.0倍であることから、入学定員を40人から50人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、ロボット・メカトロニクス学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約122%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもとと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点を踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

7) 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

応用バイオ科学科の最近5年間の志願者数は、平成24年度896人、平成25年度860人、平成26年度1,052人、平成27年度863人、平成28年度933人と安定的な傾向を示しており、最近5年間の平均志願者数は921人、入学定員に対する志願者数の平均割合は7.7倍となっている。

この最近5年間の平均志願者数から収容定員変更後の定員に対する志願者数の割合を算定すると志願倍率は約7.4倍となり、最近5年間で最も少ない志願者数による算定においても約6.9倍の志願倍率を見込むことができる。

また、実質的な競争倍率である受験者数に対する合格者数の割合を見ても、最近5年間の平均で約2.2倍であることから、入学定員を120人から125人に変更しても入学者選抜の機能が低下しない受験倍率の確保を見込むことができる。

一方、応用バイオ科学科の最近5年間の定員充足の状況は5年間の平均で約117%となっており、定員超過の事由は合格者の歩留まり率の読み違いによるものであるが、歩留まり率の高さは当該学科への進学需要の高さを示すもとと考えられることから、進学需要への対応として収容定員変更を行うものであり、同時に定員管理の観点を踏まえた定員超過率の是正を図るものである。

2 高校生に対する進学需要調査

電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科の定員変更計画を策定するにあたり、学生確保の見込みについて計量的なデータから検証することを目的として、神奈川県を中心とする近県の高等学校に在籍している2年生を対象とした専門の調査機関による進学意向に関するアンケート調査を実施した。

その結果、神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロ

ニクス学科、応用バイオ科学科への高い進学意向がうかがえることから、定員充足においては十分な見通しがあると考えられる。(資料2)

1) 工学部 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数2,317人の約3.5%にあたる81人が「受験を希望する」と回答しており、電気電子情報工学科に合格した場合の進学希望については、回答者数2,317人の約10.3%にあたる239人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数2,317人の約23.5%にあたる545人となっているが、電気電子情報工学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が239人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-1)

2) 情報学部 情報工学科

情報工学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数5,103人の約5.5%にあたる281人が「受験を希望する」と回答しており、情報工学科に合格した場合の進学希望については、回答者数5,103人の約9.4%にあたる481人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数5,103人の約17.3%にあたる884人となっているが、情報工学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が481人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-2)

3) 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワーク・コミュニケーション学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数3,384人の約4.1%にあたる139人が「受験を希望する」と回答しており、情報ネットワーク・コミュニケーション学科に合格した場合の進学希望については、回答者数3,384人の約9.3%にあたる316人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数3,384人の約26.6%にあたる900人となっているが、情報ネットワーク・コミュニケーション学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が316人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-3)

4) 情報学部 情報メディア学科

情報メディア学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数5,925人

の約4.2%にあたる246人が「受験を希望する」と回答しており、情報メディア学科に合格した場合の進学希望については、回答者数5,925人の約7.8%にあたる463人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数5,925人の約17.0%にあたる1,008人となっているが、情報メディア学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が463人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-4)

5) 創造工学部 自動車システム開発工学科

自動車システム開発工学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数2,835人の約2.3%にあたる66人が「受験を希望する」と回答しており、自動車システム開発工学科に合格した場合の進学希望については、回答者数2,835人の約6.9%にあたる197人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数2,835人の約20.1%にあたる569人となっているが、自動車システム開発工学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が197人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-5)

6) 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

ロボット・メカトロニクス学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数2,302人の約3.3%にあたる76人が「受験を希望する」と回答しており、ロボット・メカトロニクス学科に合格した場合の進学希望については、回答者数2,302人の約7.8%にあたる180人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数2,302人の約20.7%にあたる477人となっているが、ロボット・メカトロニクス学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が180人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-6)

7) 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

応用バイオ科学科の進学需要調査による受験意向については、回答者数3,864人の約4.2%にあたる161人が「受験を希望する」と回答しており、応用バイオ科学科に合格した場合の進学希望については、回答者数3,864人の約8.3%にあたる321人が「進学を希望する」と回答している。

なお、本調査は2年生を対象としていることから、受験希望において「わからない」と回答している者が回答者数3,864人の約19.6%にあたる756人となっている

るが、応用バイオ科学科に合格した場合には「進学を希望する」と回答している者が321人であることから、今後、「わからない」と回答した層に対する広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数の増加を見込むことができるものと思われる。(資料3-7)

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

1 学生確保に向けた組織的な取組

学生確保に向けた募集活動については、常勤の理事を責任者とし、企画入学課主体の募集戦略会議において、外部環境、内部環境を詳細に分析した上で年度戦略を策定し、教職員協働による全学的な募集活動を推進している。

その活動は、大学案内やホームページ、広告代理店・PR会社が制作する進学情報誌や進学情報ネットへの掲載を通じた情報発信だけでなく、教職員が直接、高校の先生や高校生、その保護者と接触することを重視していることから、専門スタッフによる年間約7,000回の高校訪問をはじめ、年7回開催のオープンキャンパス、本学見学会は年間37回、年間148回の出前講義、高校進学ガイダンスは年間500回に及んでいる。本学の教育研究内容を直接広報することに重点をおいた学生募集活動を行っている。

これにより、この8年間で大学全体の志願者数は大きく増加しており、平成19年度入試の志願者数に対して、平成27年度入試では1.89倍となっている。

2 学生確保に向けた具体的な取組

学生確保に向けた具体的な取組として、本学の募集戦略における根幹となる取組(以下、1)~6)参照)と平成28年度からの新しい取組(以下、7)参照)について、下記のとおり具体的に示すこととする。また、募集活動に対する効果、反応を示す資料として、募集活動の実績推移について、別紙に示す。(資料4)

このような学生確保に向けた具体的な取組の成果としては、志願者獲得の分母となり得る「接触者数」が、平成18年度の数に対して、平成26年度は1.77倍となっている。特に接触者の多い「オープンキャンパス」において、平成18年度から着実に増加し、平成26年度では1.68倍の参加者数となった。このことも本学への志願度が年々高まっている要因の一つと考えており、将来においても十分な志願者数及び入学者数を確保できるものと考えている。

1) 広報媒体の活用と大学案内、ホームページでの情報発信

広告代理店・PR会社が制作する進学情報誌や進学情報ネットを通して高校生やその保護者等に情報発信を継続して行うこととする。

また、独自に制作した大学総合案内を全国の高校や予備校に配布し、ホームページでは、最新の話題やイベントをニュースとして適宜アップする等の情報発信を行い、資料請求者の獲得を図っている。

平成26年度に獲得した本学の資料を請求した受験生総数は、29,967人であった。

2) 高校訪問

訪問目的と対象校・タイミングを考慮した情報提供を実施している。平成16年度からは、志願者の多い地域に現地在住の専属の進学アドバイザーを設置し、教職員と連携して各地域の高校と大学とのネットワーク構築の強化を図っている。

平成16年度の進学アドバイザー設置が6県6名であるのに対し、平成27年度は20都道府県23名と大きく拡大しており、重要な募集戦略として位置づけている。

3) オープンキャンパス

開催日ごとにテーマと内容を変え、3月、6月、7月(2回)、8月、9月、11月の年7回実施しており、また、来場者の満足度向上のために、オープンキャンパス内で実施するイベント(各学科の体験実習や展示見学を特に重視)の質を向上させるよう心がけている。

平成26年度のオープンキャンパスの参加者総数は、5,620人であった。

4) 在学生広報活動支援

各回のオープンキャンパスで、その運営に約60名の在学生が関わり、広報活動を支援しており、来場者への受付説明(15分程度)は、全て学生が行っている。

来場者が在学生に直接、学生生活や学科の学び等を語る機会も設定しており、また、積極的に女子学生を登用することにより、「工科大学=男子」のイメージ転換と女子受験生の獲得の活動をしており、さらに女子学生施設を紹介しながら、女子学生と女子高校生の交流を行う「Girl's Program」もすべてのオープンキャンパスで実施している。

5) 高校進学ガイダンス、出前講義

高校からの直接の依頼または広告代理店等が主催する高校進学ガイダンスや出前講義に参加する機会を増やすことで、高校生に直接、大学の魅力を伝えることを重視している。特に、出前講義では、年度初めに「出前講義パンフレット」を制作し、191の講座を紹介する等、高校側が依頼しやすい工夫も行っている。

なお、平成26年度において、高校内での進学ガイダンスに参加した回数は500回、本学教員が高校で行った(本学内実施含む)出前講義は148回に及んでいる。

6) 本学見学会

高校の行事の一環として行われる高校生の大学見学会について、積極的に受け入れを行っており、高校側の希望に合わせて、「大学概要説明会」「体験授業」「施設見学」等を組み合わせて対応するとともに、出来る限り、来校される高校の出身の学生へ協力を依頼し、先輩の活躍している姿を高校生に見てもらえるような内容を盛り込んでおり、平成26年度においては、37校の高校が単独で本学を見学している。

7) 平成28年度入試に向けた新たな取組

先に述べた通常の募集活動に加え、新たに次の方法を導入することで、効果的な学生募集活動を実現する計画である。

○ホームページの受験生サイトを充実させ、スマートフォンサイトやソーシャルネットワークサービスと連動する等、高校生の認知度を高める。

○高校とのネットワーク構築を主とする現状の進学アドバイザーに加え、予備校・塾と

のネットワーク構築を中心に行う進学アドバイザーの充実を図る。

○高校情報を効率的に把握できる高校訪問支援システムを充実させ、資料請求者、オープンキャンパス参加者と高校情報を連携する等、効果的な活用を図る。

○年間7回実施するオープンキャンパスにおいて、収容定員変更を行う学科に関わる説明会を開催し、個別相談にも対応していく。

○収容定員変更を行う学科に関わるパンフレットを高校訪問や進学相談会等で配布し、あわせて、広告代理店等を通して当該学科に関するダイレクトメールを送付することで、当該学科に関心をもつ層の高校生名簿を獲得し、段階的に情報提供を行う。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

1 工学部 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科では、電気電子情報工学に関する理論と技術の基礎を身につけ、それらを実際に応用することができる知識と能力を備えて、幅広い産業分野で活躍できるエンジニアの育成を目的とする。

2 情報学部 情報工学科

情報工学科では、情報工学の専門技術に関する知識を有し、それらを応用できる能力を備えて、情報システムの開発・設計・製造・運用を通して情報技術の発展に貢献できる情報技術者の養成を目的とする。

3 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワーク・コミュニケーション学科では、情報ネットワーク分野の専門技術に関する知識を有し、それらを応用できる能力を備えて、情報ネットワークシステムの開発・設計・製造・運用を通して情報ネットワーク技術の発展に貢献できる技術者の養成を目的とする。

4 情報学部 情報メディア学科

情報メディア学科では、各種情報メディアに関する技術とコンテンツに関する基本的な専門知識を身に付け、新たなシステムやコンテンツを創作できる情報メディア技術者や制作者の養成を目的とする。

5 創造工学部 自動車システム開発工学科

自動車システム開発工学科では、自動車の構造と機能に関する知識と技術や実際に開発・設計する能力とともに、安全確保や環境保全に関する基礎的な技術を有して、自動車産業を支える技術者の養成を目的とする。

6 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

ロボット・メカトロニクス学科では、機械工学、電気電子工学、情報工学などのロボット・メカトロニクスの要素技術に加え、人間工学やプロダクトデザインの知識を習得し、実際のものづくりに活かせる技術者の養成を目的とする。

7 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科

応用バイオ科学科では、生命科学を生活に役立てるための基本的な知識を習得し、生命

科学技術の開発・設計・運用を通して人類社会の利益と安全に貢献できるバイオ技術者やバイオ支援技術者の養成を目的とする。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1 最近5年間の求人状況

神奈川工科大学の最近5年間の求人件数の実績は、平成22年度は就職希望者669人に対して求人件数2,709件で求人倍率は約4.0倍、平成23年度は就職希望者661人に対して求人件数2,343件で求人倍率は約3.5倍、平成24年度は就職希望者742人に対して求人件数2,647件で求人倍率は約3.6倍、平成25年度は就職希望者810人に対して求人件数2,887件で求人倍率は約3.6倍、平成26年度は就職希望者939人に対して求人件数2,708件で求人倍率は約2.9倍となっている。

このように、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、多数の求人件数を得ていることは、神奈川工科大学における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであり、収容定員を増加した場合においても、就職先の確保については十分に見込めるものとする。(資料5)

2 収容定員を増加する学科の就職状況

収容定員変更を計画している電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科の最近5年間の就職実績は、以下の通り、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、高い就職率で推移しており、このことは、神奈川工科大学における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものであり、収容定員を増加した場合でも、卒業後の進路については十分に見込めるものとする。(資料5)

1) 電気電子情報工学科における最近5年間の就職実績

電気電子情報工学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者76人に対して就職者数67人で就職率は約88.2%、平成23年度は就職希望者54人に対して就職者数46人で就職率は約85.2%、平成24年度は就職希望者69人に対して就職者数64人で就職率は約92.8%、平成25年度は就職希望者63人に対して就職者数60人で就職率は約95.2%、平成26年度は就職希望者80人に対して就職者数79人で就職率は約98.8%となっている。

2) 情報工学科における最近5年間の就職実績

情報工学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者85人に対して就職者数73人で就職率は約85.9%、平成23年度は就職希望者102人に対して就職者数84人で就職率は約82.4%、平成24年度は就職希望者94人に対して就職者数88人で就職率は約93.6%、平成25年度は就職希望者92人に対して就職者数86人で就職率は約93.5%、平成26年度は就職希望者102人に対して

就職者数98人で就職率は約96.1%となっている。

3) 情報ネットワーク・コミュニケーション学科における最近5年間の就職実績

情報ネットワーク・コミュニケーション学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者60人に対して就職者数51人で就職率は約85.0%、平成23年度は就職希望者69人に対して就職者数53人で就職率は約76.8%、平成24年度は就職希望者89人に対して就職者数80人で就職率は約89.9%、平成25年度は就職希望者78人に対して就職者数73人で就職率は約93.6%、平成26年度は就職希望者96人に対して就職者数93人で就職率は約96.9%となっている。

4) 情報メディア学科における最近5年間の就職実績

情報メディア学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者106人に対して就職者数80人で就職率は約75.5%、平成23年度は就職希望者81人に対して就職者数59人で就職率は約72.8%、平成24年度は就職希望者95人に対して就職者数88人で就職率は約92.6%、平成25年度は就職希望者129人に対して就職者数110人で就職率は約85.3%、平成26年度は就職希望者154人に対して就職者数139人で就職率は約90.3%となっている。

5) 自動車システム開発工学科における最近5年間の就職実績

自動車システム開発工学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者57人に対して就職者数57人で就職率は約100%、平成23年度は就職希望者57人に対して就職者数55人で就職率は約96.5%、平成24年度は就職希望者55人に対して就職者数54人で就職率は約98.2%、平成25年度は就職希望者44人に対して就職者数43人で就職率は約97.7%、平成26年度は就職希望者35人に対して就職者数34人で就職率は約97.1%となっている。

6) ロボット・メカトロニクス学科における最近5年間の就職実績

ロボット・メカトロニクス学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者67人に対して就職者数57人で就職率は約85.1%、平成23年度は就職希望者48人に対して就職者数34人で就職率は約70.8%、平成24年度は就職希望者62人に対して就職者数55人で就職率は約88.7%、平成25年度は就職希望者60人に対して就職者数47人で就職率は約78.3%、平成26年度は就職希望者62人に対して就職者数58人で就職率は約93.5%となっている。

7) 応用バイオ科学科における最近5年間の就職実績

応用バイオ科学科における最近5年間の就職実績は、平成22年度は就職希望者61人に対して就職者数51人で就職率は約83.6%、平成23年度は就職希望者66人に対して就職者数61人で就職率は約92.4%、平成24年度は就職希望者82人に対して就職者数75人で就職率は約91.5%、平成25年度は就職希望者93人に対して就職者数87人で就職率は約93.5%、平成26年度は就職希望者113人に対して就職者数110人で就職率は約97.3%となっている。

3 企業等への採用意向調査

収容定員変更を計画している電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを客観的根拠となるデータから検証することを目的として、神奈川工科大学の卒業生の就職実績がある企業等の採用担当者を対象として、卒業生の採用意向に関するアンケート調査を実施した。

その結果、過去における卒業生の就職実績がある企業等に限定した調査結果においても、電気電子情報工学科、情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、応用バイオ科学科で学んだ卒業生への高い採用意向がうかがえることから、卒業後の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。

なお、今般の定員変更計画は、既設の学科の収容定員を変更するものであることから、当該学科における養成する人材等について十分に理解している企業等を調査対象とすることが望ましいと判断し、過去における卒業生の就職実績がある企業等を中心して調査を実施した。(資料2)

1) 工学部 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数478社の約82.0%にあたる392社が「採用したい」と回答しており、電気電子情報工学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数478社の約27.8%にあたる133社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数478社の約25.3%にあたる121社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると375人の採用が見込まれる。(資料6-1)

2) 情報学部 情報工学科

情報工学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数469社の約70.8%にあたる332社が「採用したい」と回答しており、情報工学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数469社の約21.1%にあたる99社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数469社の約24.9%にあたる117社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると333人の採用が見込まれる。(資料6-2)

3) 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワーク・コミュニケーション学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数466社の約62.0%にあたる289社が「採用したい」と回答しており、情報ネットワーク・コミュニケーション学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数466社の約19.1%にあたる89社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数466社の約19.1%

にあたる89社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると267人の採用が見込まれる。(資料6-3)

4) 情報学部 情報メディア学科

情報メディア学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数464社の約52.4%にあたる243社が「採用したい」と回答しており、情報メディア学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数464社の約15.5%にあたる72社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数464社の約15.1%にあたる70社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると212人の採用が見込まれる。(資料6-4)

5) 創造工学部 自動車システム開発工学科

自動車システム開発工学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数461社の約53.1%にあたる245社が「採用したい」と回答しており、自動車システム開発工学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数461社の約16.1%にあたる74社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数461社の約11.9%にあたる55社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると184人の採用が見込まれる。(資料6-5)

6) 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

ロボット・メカトロニクス学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数465社の約68.6%にあたる319社が「採用したい」と回答しており、ロボット・メカトロニクス学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数465社の約21.9%にあたる102社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数465社の約14.4%にあたる67社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると236人の採用が見込まれる。(資料6-6)

7) 応用バイオ科学科 応用バイオ科学科

応用バイオ科学科の卒業生に対する採用意向については、調査票回収件数460社の約36.7%にあたる169社が「採用したい」と回答しており、応用バイオ科学科の卒業生の採用人数については、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数460社の約14.6%にあたる67社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数460社の約7.4%にあたる34社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると135人の採用が見込まれる。(資料6-7)

収容定員を変更する学部等の志願者状況及び入学者状況

区分	項目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	5ヶ年平均
電気電子情報工学科	入学定員充足率	(1.10)	(1.21)	(1.07)	(1.24)	(1.22)	(1.16)
	入学定員に対する志願者数の割合	(4.3)	(6.5)	(6.1)	(6.1)	(5.9)	(5.8)
	合格者数に対する受験者数の割合	(1.5)	(2.6)	(2.2)	(2.4)	(2.0)	(2.1)
	志願者数	299	452	425	429	412	403
	受験者数	293	444	418	423	408	397
	合格者数	194	169	192	179	201	187
	入学者数	77	85	75	87	86	82
	入学定員	70	70	70	70	70	
情報工学科	入学定員充足率	(1.10)	(1.29)	(1.36)	(1.17)	(1.10)	(1.20)
	入学定員に対する志願者数の割合	(4.6)	(5.8)	(4.9)	(5.8)	(4.8)	(5.2)
	合格者数に対する受験者数の割合	(1.8)	(2.1)	(1.6)	(1.9)	(1.6)	(1.8)
	志願者数	644	808	691	806	677	725
	受験者数	628	788	681	794	665	711
	合格者数	351	379	414	412	407	393
	入学者数	155	181	191	165	155	169
	入学定員	140	140	140	140	140	
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	入学定員充足率	(1.12)	(1.13)	(1.12)	(1.10)	(1.19)	(1.13)
	入学定員に対する志願者数の割合	(4.6)	(5.1)	(4.1)	(4.2)	(4.6)	(4.5)
	合格者数に対する受験者数の割合	(1.9)	(2.1)	(1.7)	(1.8)	(2.0)	(1.9)
	志願者数	437	489	412	415	456	442
	受験者数	426	468	405	406	445	430
	合格者数	226	225	245	222	219	227
	入学者数	107	108	112	110	119	111
	入学定員	95	95	100	100	100	
情報メディア学科	入学定員充足率	(1.16)	(1.34)	(1.08)	(1.15)	(1.17)	(1.18)
	入学定員に対する志願者数の割合	(5.0)	(5.2)	(4.0)	(4.1)	(4.4)	(4.6)
	合格者数に対する受験者数の割合	(2.1)	(1.8)	(1.6)	(1.8)	(1.7)	(1.8)
	志願者数	755	780	681	704	746	733
	受験者数	740	757	669	685	735	717
	合格者数	352	422	418	385	425	400
	入学者数	175	201	185	196	200	191
	入学定員	150	150	170	170	170	
自動車システム開発工学科	入学定員充足率	(1.14)	(1.06)	(1.13)	(1.12)	(1.09)	(1.10)
	入学定員に対する志願者数の割合	(4.9)	(6.5)	(4.7)	(3.3)	(3.7)	(4.6)
	合格者数に対する受験者数の割合	(1.9)	(2.6)	(1.6)	(1.2)	(1.4)	(1.7)
	志願者数	244	324	356	248	280	290
	受験者数	237	319	352	244	271	285
	合格者数	123	124	215	199	199	172
	入学者数	57	53	85	84	82	72
	入学定員	50	50	75	75	75	
ロボット・メカトロニクス学科	入学定員充足率	(1.25)	(1.20)	(1.38)	(1.23)	(1.08)	(1.22)
	入学定員に対する志願者数の割合	(6.4)	(8.5)	(5.9)	(4.1)	(3.6)	(5.7)
	合格者数に対する受験者数の割合	(2.5)	(3.4)	(1.7)	(1.3)	(1.3)	(2.0)
	志願者数	255	339	469	331	289	337
	受験者数	251	333	462	323	280	330
	合格者数	101	99	269	244	219	186
	入学者数	50	48	111	99	87	79
	入学定員	40	40	80	80	80	
応用バイオ科学科	入学定員充足率	(1.20)	(1.12)	(1.16)	(1.30)	(1.10)	(1.17)
	入学定員に対する志願者数の割合	(7.8)	(7.2)	(8.8)	(7.2)	(7.5)	(7.7)
	合格者数に対する受験者数の割合	(2.0)	(1.8)	(2.5)	(2.2)	(2.3)	(2.2)
	志願者数	933	863	1,052	860	896	921
	受験者数	902	839	1,029	835	882	897
	合格者数	444	458	409	372	385	414
	入学者数	145	135	140	157	132	142
	入学定員	120	120	120	120	120	

※入学定員充足率は小数点第2位まで(小数点第3位を切捨て)を記載しております。

※平成28年度の入学定員充足率は平成28年3月28日現在の小数点第2位まで(小数点第3位を切捨て)を記載しております。

神奈川工科大学
工学部 電気電子情報工学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
電気電子情報工学科に関する質問事項	
電気電子情報工学科への興味・関心	4
電気電子情報工学科への受験希望	5
電気電子情報工学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
電気電子情報工学分野の人材養成の必要性	8
電気電子情報工学分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の電気電子情報工学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の電気電子情報工学科の必要性	10
神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 学科概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）
- 学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より工学部の電気電子情報工学科の収容定員の変更を計画しており、この電気電子情報工学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 23 校

回答者数：2,317 人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数2,317人の約67.8%にあたる1,572人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数2,317人の約44.8%にあたる1,039人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	1039	44.8
2	短期大学進学	140	6.0
3	専門学校進学	393	17.0
4	就職	700	30.2
5	その他	36	1.6
	未回答・不明	9	0.4
	合計	2317	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「工学関係」と回答した者が回答者数2,317人の約15.1%にあたる350人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約9.0%にあたる208人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約8.8%にあたる205人となっており、進学を希望する分野においては、「工学関係」が最も上位に位置している。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	208	9.0	180	7.8
教育学・保育学関係	205	8.8	214	9.2
法学・政治学関係	49	2.1	86	3.7
社会学・福祉学関係	59	2.5	114	4.9
経済学・経営学関係	140	6.0	128	5.5
工学関係	350	15.1	175	7.6
理学関係	146	6.3	185	8.0
情報学関係	140	6.0	181	7.8
看護学関係	96	4.1	90	3.9
医療技術学関係	87	3.8	104	4.5
栄養学関係	81	3.5	93	4.0
その他	318	13.7	119	5.1
未回答・不明	438	18.9	648	28.0
合計	2317	100.0	2317	100.0

<電気電子情報工学科に関する質問事項>

3. 電気電子情報工学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の電気電子情報工学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 2,317 人の約 14.8%にあたる 342 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の電気電子情報工学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 電気電子情報工学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	342	14.8
2	興味・関心がない	1061	45.8
3	わからない	704	30.4
	未回答・不明	210	9.1
	合計	2317	100.0

<電気電子情報工学科に関する質問事項>

4. 電気電子情報工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の電気電子情報工学科への受験希望について質問したところ、回答者数2,317人の約3.5%にあたる81人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数2,317人の約23.5%にあたる545人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 電気電子情報工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	81	3.5
2	受験を希望しない	1477	63.7
3	わからない	545	23.5
	未回答・不明	214	9.2
	合計	2317	100.0

<電気電子情報工学科に関する質問事項>

5. 電気電子情報工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の電気電子情報工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 2,317 人の約 10.3%にあたる 239 人が「進学を希望する」と回答していることから、電気電子情報工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、電気電子情報工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 電気電子情報工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	239	10.3
2	進学を希望しない	1018	43.9
3	わからない	827	35.7
	未回答・不明	233	10.1
	合計	2317	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

II. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より工学部の電気電子情報工学科の収容定員の変更を計画しており、この電気電子情報工学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：478件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 電気電子情報工学分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、電気電子情報工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 478 社の約 95.4% にあたる 456 社が「必要性を感じる」と回答していることから、電気電子情報工学分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 電気電子情報工学分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	456	95.4
2	必要性を感じない	3	0.6
3	わからない	17	3.6
	未回答・不明	2	0.4
	合計	478	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 電気電子情報工学分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、電気電子情報工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 478 社の約 94.1% にあたる 450 社が「必要性を感じる」と回答していることから、電気電子情報工学分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 電気電子情報工学分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	450	94.1
2	必要性を感じない	2	0.4
3	わからない	25	5.2
	未回答・不明	1	0.2
	合計	478	100.0

<神奈川工科大学の電気電子情報工学科に関する質問事項>

3. 神奈川工科大学の電気電子情報工学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の電気電子情報工学科の必要性について質問したところ、回答件数 478 社の約 93.7%にあたる 448 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の電気電子情報工学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問 3 神奈川工科大学の電気電子情報工学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	448	93.7
2	必要性を感じない	1	0.2
3	わからない	28	5.9
	未回答・不明	1	0.2
	合計	478	100.0

<神奈川工科大学の電気電子情報工学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 478 社の約 82.0%にあたる 392 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	392	82.0
2	採用は考えない	12	2.5
3	わからない	44	9.2
4	その他	29	6.1
	未回答・不明	1	0.2
	合計	478	100.0

<神奈川工科大学の電気電子情報工学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数478社の約27.8%にあたる133社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数478社の約25.3%にあたる121社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると375人となり、この採用人数からも電気電子情報工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	133	27.8
2	2人以上	121	25.3
3	わからない	126	26.4
4	その他	94	19.7
	未回答・不明	4	0.8
	合計	478	100.0

問5 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	133	133
2	採用したい/2人	121	242
	合計	254	375

III. 參考資料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科の進学意向に関するアンケート調査
(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に)

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の工学部の電気電子情報工学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の工学部の電気電子情報工学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の工学部の電気電子情報工学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 電気電子情報工学科の概要



□学科概要

- * 学部学科：工学部 電気電子情報工学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員70名／収容定員280名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分

□教育目的

- * 基礎学力の修得を重視し、体験型授業によりコミュニケーション能力、問題解決（デザイン）能力、情報活用力を養い、社会的要請に応えられる能力を備えた技術者を養成します。特に、学生の個性を生かした有為な技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・電気電子情報工学の基礎・専門技術を身に付け、それらを実際に応用することができる能力を身に付けます。
- ・個々の適性に応じた専門分野の基礎を身に付け、それらを活用し、社会に貢献できる態度を身に付けます。
- ・日本語の論述力、研究発表やグループ討論等でのコミュニケーション能力を身につけ、自己の考え方を表現・発表ができる能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科に関連した種々の課題を解決できる能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、柔軟な技術の展開と同時にその社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
- ・時間的効率と期限を考えて、計画を進めることができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・技術者として必要な数学、自然科学および情報技術の基礎が理解できる能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科の専門技術に関する知識能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科に関連した種々の課題を理解できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・探求心を持ち、向上意欲のある技術者を目指し、自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・国際性を含めた幅広い視野と教養を持ち、技術者としての責任と倫理観を身につけ、社会に対応できる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 -参考-
- 東海大学 工学部 電気電子工学科 160万円
- 神奈川大学 工学部電気電子情報工学科 153万円
- 関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

* 授業料給費スカラーシップ（給付）

- ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
- 学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。

* 幾徳学園奨学金（貸与）

- ・新生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科人材需要調査

【回答欄】

問1 電気電子情報工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 電気電子情報工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川工科大学の電気電子情報工学科について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について、

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川工科大学の電気電子情報工学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 電気電子情報工学科の概要



□学科概要

- * 学部学科：工学部 電気電子情報工学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員70名／収容定員280名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分

□教育目的

- * 基礎学力の修得を重視し、体験型授業によりコミュニケーション能力、問題解決（デザイン）能力、情報活用力を養い、社会的要請に応えられる能力を備えた技術者を養成します。特に、学生の個性を生かした有為な技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・電気電子情報工学の基礎・専門技術を身に付け、それらを実際に応用することができる能力を身に付けます。
- ・個々の適性に応じた専門分野の基礎を身に付け、それらを活用し、社会に貢献できる態度を身に付けます。
- ・日本語の論述力、研究発表やグループ討論等でのコミュニケーション能力を身につけ、自己の考え方を表現・発表ができる能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科に関連した種々の課題を解決できる能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、柔軟な技術の展開と同時にその社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
- ・時間的効率と期限を考えて、計画を進めることができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・技術者として必要な数学、自然科学および情報技術の基礎が理解できる能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科の専門技術に関する知識能力を身に付けます。
- ・電気電子情報工学科に関連した種々の課題を理解できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・探求心を持ち、向上意欲のある技術者を目指し、自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・国際性を含めた幅広い視野と教養を持ち、技術者としての責任と倫理観を身につけ、社会に対応できる態度を身に付けます。

神奈川工科大学
情報学部 情報工学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
情報工学科に関する質問事項	
情報工学科への興味・関心	4
情報工学科への受験希望	5
情報工学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
情報工学分野の人材養成の必要性	8
情報工学分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の情報工学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の情報工学科の必要性	10
神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

アンケート協力依頼高等学校一覧

アンケート調査票（高校生）

学科概要（高校生）

人材需要調査関係

アンケート協力依頼民間企業等一覧

アンケート調査票（民間企業等）

学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報工学科の収容定員の変更を計画しており、この情報工学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 33校

回答者数：5,103人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数 5,103 人の約 83.6%にあたる 4,265 人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数 5,103 人の約 55.0%にあたる 2,808 人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	2808	55.0
2	短期大学進学	254	5.0
3	専門学校進学	1203	23.6
4	就職	705	13.8
5	その他	107	2.1
	未回答・不明	26	0.5
	合計	5103	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「文学・史学・哲学関係」と回答した者が回答者数5,103人の約10.9%にあたる558人で最も多く、次いで「教育学・保育学関係」と回答した者が約10.8%にあたる550人、「経済学・経営学関係」と回答した者が約10.4%にあたる531人となっている。

なお、情報工学科の対象分野である「情報学関係」と回答した者は、回答者数5,103人の約5.9%にあたる300人となっている。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	558	10.9	417	8.2
教育学・保育学関係	550	10.8	551	10.8
法学・政治学関係	136	2.7	218	4.3
社会学・福祉学関係	109	2.1	281	5.5
経済学・経営学関係	531	10.4	382	7.5
工学関係	453	8.8	298	5.8
理学関係	337	6.6	418	8.2
情報学関係	300	5.9	320	6.3
看護学関係	301	5.9	213	4.2
医療技術学関係	248	4.9	267	5.2
栄養学関係	189	3.7	276	5.4
その他	910	17.8	277	5.4
未回答・不明	481	9.4	1185	23.2
合計	5103	100.0	5103	100.0

<情報工学科に関する質問事項>

3. 情報工学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報工学科への興味・関心について質問したところ、回答者数5,103人の約10.5%にあたる538人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の情報工学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 情報工学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	538	10.5
2	興味・関心がない	2442	47.9
3	わからない	2029	39.8
	未回答・不明	94	1.8
	合計	5103	100.0

<情報工学科に関する質問事項>

4. 情報工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報工学科への受験希望について質問したところ、回答者数5,103人の約5.5%にあたる281人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数5,103人の約17.3%にあたる884人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 情報工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	281	5.5
2	受験を希望しない	3836	75.2
3	わからない	884	17.3
	未回答・不明	102	2.0
	合計	5103	100.0

<情報工学科に関する質問事項>

5. 情報工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川県立工科大学の情報工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 5,103 人の約 9.4%にあたる 481 人が「進学を希望する」と回答していることから、情報工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 情報工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	481	9.4
2	進学を希望しない	2270	44.5
3	わからない	2239	43.9
	未回答・不明	113	2.2
	合計	5103	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

II. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報工学科の収容定員の変更を計画しており、この情報工学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：469件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 情報工学分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 469 社の約 93.6%にあたる 439 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報工学分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 情報工学分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	439	93.6
2	必要性を感じない	4	0.9
3	わからない	25	5.3
	未回答・不明	1	0.2
	合計	469	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 情報工学分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 469 社の約 93.2%にあたる 437 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報工学分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 情報工学分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	437	93.2
2	必要性を感じない	4	0.9
3	わからない	27	5.8
	未回答・不明	1	0.2
	合計	469	100.0

<神奈川工科大学の情報工学科に関する質問事項>

3. 神奈川工科大学の情報工学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報工学科の必要性について質問したところ、回答件数 469 社の約 90.6%にあたる 425 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の情報工学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学の情報工学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	425	90.6
2	必要性を感じない	2	0.4
3	わからない	41	8.7
	未回答・不明	1	0.2
	合計	469	100.0

<神奈川工科大学の情報工学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 469 社の約 70.8%にあたる 332 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問4 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	332	70.8
2	採用は考えない	28	6.0
3	わからない	77	16.4
4	その他	31	6.6
	未回答・不明	1	0.2
	合計	469	100.0

<神奈川工科大学の情報工学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数469社の約21.1%にあたる99社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数469社の約24.9%にあたる117社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると333人となり、この採用人数からも情報工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	99	21.1
2	2人以上	117	24.9
3	わからない	154	32.8
4	その他	90	19.2
	未回答・不明	9	1.9
	合計	469	100.0

問5 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	99	99
2	採用したい/2人	117	234
	合計	216	333

III. 參考資料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 情報学部 情報工学科の進学意向に関するアンケート調査

(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に)

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報工学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報工学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報工学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 情報工学科の概要



□学科概要

- * 学部学科：情報学部情報工学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員140名／収容定員560名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分

□教育目的

- * 情報工学は電気、制御、数理などの工学分野と密接な関係を持ち、さらに、生命科学、社会科学、人文科学、経営科学をも基盤とします。また、極めて広範囲の応用分野を持つ特性を踏まえ、各種のシステム・ソフトウェア技術を機軸とする高度な専門性ととも、多方面の専門家と協調しつつ問題解決を図るコミュニケーション力と、深い教養と幅広い視野を身につけた創造性豊かな情報技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

- * 技能・表現
 - ・技術者として、情報システムの開発・設計・製造・運用を通して情報技術の発展に貢献できる能力を身に付けます。
 - ・自らの考えを他者に理解できるように伝達できると共に、相手の考えを十分に把握し、論理的な討論ができる能力を身に付けます。
- * 思考・判断
 - ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、情報技術に対する社会的な影響について倫理観を自覚できる態度を身に付けます。
 - ・品質、コスト、期限などを考慮し、計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。
- * 知識・理解
 - ・コンピュータのハードウェア、ソフトウェアに関する要素技術が理解できる能力を身に付けます。
 - ・情報工学の専門技術に関する知識を有し、それらを応用・展開できる能力を身に付けます。
 - ・情報工学に関連した種々の工学的課題を解決できる能力を身に付けます。
- * 関心・意欲・態度
 - ・自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
 - ・共通教育を通じて自然・社会・歴史・文化に対する幅広い教養を持ち、情報技術との関わりについて認識を持つことで社会に対応できる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 情報学部 情報工学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 -参考-
 - 東海大学 情報理工学部 情報科学科 160万円
 - 神奈川大学 工学部情報システム創成学科 153万円
 - 関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

- * 授業料給費スカラーシップ（給付）
 - ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
 - 学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。
- * 幾徳学園奨学金（貸与）
 - ・新生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川県立大学情報学部 情報工学科人材需要調査

【回答欄】

問1 情報工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 情報工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川県立大学の情報工学科について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川県立大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川県立大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について、
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川県立大学の情報工学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。
ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 情報工学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：情報学部情報工学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員140名／収容定員560名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- * 情報工学は電気、制御、数理などの工学分野と密接な関係を持ち、さらに、生命科学、社会科学、人文科学、経営科学をも基盤とします。また、極めて広範囲の応用分野を持つ特性を踏まえ、各種のシステム・ソフトウェア技術を機軸とする高度な専門性ととも、多方面の専門家と協調しつつ問題解決を図るコミュニケーション力と、深い教養と幅広い視野を身につけた創造性豊かな情報技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・ 技術者として、情報システムの開発・設計・製造・運用を通して情報技術の発展に貢献できる能力を身に付けます。
- ・ 自らの考えを他者に理解できるように伝達できると共に、相手の考えを十分に把握し、論理的な討論ができる能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・ 技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、情報技術に対する社会的な影響について倫理観を自覚できる態度を身に付けます。
- ・ 品質、コスト、期限などを考慮し、計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・ コンピュータのハードウェア、ソフトウェアに関する要素技術が理解できる能力を身に付けます。
- ・ 情報工学の専門技術に関する知識を有し、それらを応用・展開できる能力を身に付けます。
- ・ 情報工学に関連した種々の工学的課題を解決できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・ 自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・ 共通教育を通じて自然・社会・歴史・文化に対する幅広い教養を持ち、情報技術との関わりについて認識を持つことで社会に対応できる態度を身に付けます。

神奈川工科大学 情報学部

情報ネットワーク・コミュニケーション学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項	
情報ネットワーク・コミュニケーション学科への興味・関心	4
情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望	5
情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
情報ネットワーク・コミュニケーション分野の人材養成の必要性	8
情報ネットワーク・コミュニケーション分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の必要性	10
神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で 学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で 学んだ卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 学科概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）
- 学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の収容定員の変更を計画しており、この情報ネットワーク・コミュニケーション学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 27 校

回答者数：3,384 人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成 27 年 12 月～平成 28 年 2 月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜大学全般に関する質問事項＞

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数3,384人の約81.4%にあたる2,753人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数3,384人の約52.2%にあたる1,768人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	1768	52.2
2	短期大学進学	159	4.7
3	専門学校進学	826	24.4
4	就職	511	15.1
5	その他	73	2.2
	未回答・不明	47	1.4
	合計	3384	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「教育学・保育学関係」と回答した者が回答者数3,384人の約13.0%にあたる439人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約11.0%にあたる373人、「工学関係」と回答した者が約9.5%にあたる322人となっている。

なお、情報ネットワーク・コミュニケーション学科の対象分野である「情報学関係」と回答した者は、回答者数3,384人の約6.1%にあたる207人となっている。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	373	11.0	274	8.1
教育学・保育学関係	439	13.0	359	10.6
法学・政治学関係	103	3.0	143	4.2
社会学・福祉学関係	93	2.7	197	5.8
経済学・経営学関係	245	7.2	231	6.8
工学関係	322	9.5	206	6.1
理学関係	207	6.1	282	8.3
情報学関係	207	6.1	220	6.5
看護学関係	204	6.0	153	4.5
医療技術学関係	177	5.2	182	5.4
栄養学関係	119	3.5	194	5.7
その他	600	17.7	251	7.4
未回答・不明	295	8.7	692	20.4
合計	3384	100.0	3384	100.0

<情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項>

3. 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科への興味・関心について質問したところ、回答者数3,384人の約11.6%にあたる393人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の情報ネットワーク・コミュニケーション学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	393	11.6
2	興味・関心がない	1386	41.0
3	わからない	1529	45.2
	未回答・不明	76	2.2
	合計	3384	100.0

＜情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項＞

4. 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望について質問したところ、回答者数3,384人の約4.1%にあたる139人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数3,384人の約26.6%にあたる900人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	139	4.1
2	受験を希望しない	2261	66.8
3	わからない	900	26.6
	未回答・不明	84	2.5
	合計	3384	100.0

<情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項>

5. 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数3,384人の約9.3%にあたる316人が「進学を希望する」と回答していることから、情報ネットワーク・コミュニケーション学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	316	9.3
2	進学を希望しない	1484	43.9
3	わからない	1499	44.3
	未回答・不明	85	2.5
	合計	3384	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

Ⅱ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の収容定員の変更を計画しており、この情報ネットワーク・コミュニケーション学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：466件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜人材需要全般に関する質問事項＞

1. 情報ネットワーク・コミュニケーション分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報ネットワーク・コミュニケーション分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 466 社の約 91.6%にあたる 427 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報ネットワーク・コミュニケーション分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 情報ネットワーク・コミュニケーション分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	427	91.6
2	必要性を感じない	8	1.7
3	わからない	29	6.2
	未回答・不明	2	0.4
	合計	466	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 情報ネットワーク・コミュニケーション分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報ネットワーク・コミュニケーション分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 466 社の約 90.8%にあたる 423 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報ネットワーク・コミュニケーション分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 情報ネットワーク・コミュニケーション分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	423	90.8
2	必要性を感じない	7	1.5
3	わからない	34	7.3
	未回答・不明	2	0.4
	合計	466	100.0

＜神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項＞

3. 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の必要性について質問したところ、回答件数 466 社の約 87.8% にあたる 409 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	409	87.8
2	必要性を感じない	7	1.5
3	わからない	48	10.3
	未回答・不明	2	0.4
	合計	466	100.0

<神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 466 社の約 62.0%にあたる 289 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	289	62.0
2	採用は考えない	42	9.0
3	わからない	102	21.9
4	その他	31	6.7
	未回答・不明	2	0.4
	合計	466	100.0

<神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数466社の約19.1%にあたる89社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数466社の約19.1%にあたる89社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると267人となり、この採用人数からも情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	89	19.1
2	2人以上	89	19.1
3	わからない	172	36.9
4	その他	105	22.5
	未回答・不明	11	2.4
	合計	466	100.0

問5 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	89	89
2	採用したい/2人	89	178
	合計	178	267

III. 參考資料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科の進学意向に関するアンケート調査
(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に)

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報ネットワーク・コミュニケーション学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に合格した場合、進学を希望しますか。次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 情報ネットワーク・コミュニケーション学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員95名／収容定員380名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- * インターネットや携帯電話を初めとする日常生活の重要な社会基盤である情報ネットワークのさらなる高度化を実現する担い手として、情報処理基礎技術とネットワーク技術およびその応用技術の全てに精通した、新しい情報ネットワーク技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

- * 技能・表現
 - ・技術者として、情報ネットワークシステムの開発・設計・製造・運用を通して情報ネットワーク技術の発展に貢献できる能力を身に付けます。
 - ・自らの考えを他者に理解できるように伝達できると共に、相手の考えを十分に把握し、論理的な討論ができる能力を身に付けます。
- * 思考・判断
 - ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、情報ネットワーク技術における社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
 - ・品質、コスト、期限、安全性等を考慮し、計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。
- * 知識・理解
 - ・情報、ネットワーク、セキュリティに関する要素技術が理解できる能力を身に付けます。
 - ・情報ネットワーク分野の専門技術に関する知識を有し、それらを応用できる能力を身に付けます。
 - ・情報ネットワーク分野に関連した種々の現実的課題を解決できる能力を身に付けます。
- * 関心・意欲・態度
 - ・自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
 - ・共通基盤教育を通じて自然・社会・歴史・文化に対する幅広い教養を持ち、情報ネットワーク技術との関わりについて認識を持つことで社会に対応できる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 ー参考ー
 - 東海大学 情報理工学部 情報科学科 160万円
 - 神奈川大学 工学部情報システム創成学科 153万円
 - 関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

- * 授業料給費スカラシップ（給付）
 - ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
 - (2016年度入試実績)
 - 学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。
- * 幾徳学園奨学金（貸与）
 - ・新入生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
 - 34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川工科大学 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科人材需要調査

【回答欄】

問1 情報ネットワーク・コミュニケーション分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのよう
にお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 情報ネットワーク・コミュニケーション分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのよ
うにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用について、どのよ
うにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数について、
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書
きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 情報ネットワーク・コミュニケーション学科の概要

□学科概要

- *学部学科：情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科（4年制）
- *学生定員：入学定員95名／収容定員380名
- *設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- *アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- *インターネットや携帯電話を初めとする日常生活の重要な社会基盤である情報ネットワークのさらなる高度化を実現する担い手として、情報処理基礎技術とネットワーク技術およびその応用技術の全てに精通した、新しい情報ネットワーク技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

*技能・表現

- ・技術者として、情報ネットワークシステムの開発・設計・製造・運用を通して情報ネットワーク技術の発展に貢献できる能力を身に付けます。
- ・自らの考えを他者に理解できるように伝達できると共に、相手の考えを十分に把握し、論理的な討論ができる能力を身に付けます。

*思考・判断

- ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、情報ネットワーク技術における社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
- ・品質、コスト、期限、安全性等を考慮し、計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。

*知識・理解

- ・情報、ネットワーク、セキュリティに関する要素技術が理解できる能力を身に付けます。
- ・情報ネットワーク分野の専門技術に関する知識を有し、それらを応用できる能力を身に付けます。
- ・情報ネットワーク分野に関連した種々の現実的課題を解決できる能力を身に付けます。

*関心・意欲・態度

- ・自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・共通基盤教育を通じて自然・社会・歴史・文化に対する幅広い教養を持ち、情報ネットワーク技術との関わりについて認識を持つことで社会に対応できる態度を身に付けます。

神奈川工科大学
情報学部 情報メディア学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
情報メディア学科に関する質問事項	
情報メディア学科への興味・関心	4
情報メディア学科への受験希望	5
情報メディア学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
情報メディア分野の人材養成の必要性	8
情報メディア分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の情報メディア学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の情報メディア学科の必要性	10
神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

アンケート協力依頼高等学校一覧

アンケート調査票（高校生）

学科概要（高校生）

人材需要調査関係

アンケート協力依頼民間企業等一覧

アンケート調査票（民間企業等）

学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報メディア学科の収容定員の変更を計画しており、この情報メディア学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 44 校

回答者数：5,925 人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

＜大学全般に関する質問事項＞

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数5,925人の約84.5%にあたる5,007人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数5,925人の約63.0%にあたる3,731人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	3731	63.0
2	短期大学進学	234	3.9
3	専門学校進学	1042	17.6
4	就職	718	12.1
5	その他	152	2.6
	未回答・不明	48	0.8
	合計	5925	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「文学・史学・哲学関係」と回答した者が回答者数5,925人の約11.8%にあたる697人で最も多く、次いで「経済学・経営学関係」と回答した者が約9.8%にあたる580人、「工学関係」と回答した者が約9.5%にあたる560人となっている。

なお、情報メディア学科の対象分野である「情報学関係」と回答した者は、回答者数5,925人の約6.4%にあたる379人となっている。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	697	11.8	546	9.2
教育学・保育学関係	556	9.4	663	11.2
法学・政治学関係	204	3.4	315	5.3
社会学・福祉学関係	171	2.9	279	4.7
経済学・経営学関係	580	9.8	470	7.9
工学関係	560	9.5	397	6.7
理学関係	463	7.8	534	9.0
情報学関係	379	6.4	372	6.3
看護学関係	296	5.0	232	3.9
医療技術学関係	324	5.5	273	4.6
栄養学関係	195	3.3	288	4.9
その他	1030	17.4	386	6.5
未回答・不明	470	7.9	1170	19.7
合計	5925	100.0	5925	100.0

<情報メディア学科に関する質問事項>

3. 情報メディア学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報メディア学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 5,925 人の約 10.0%にあたる 590 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の情報メディア学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 情報メディア学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	590	10.0
2	興味・関心がない	2895	48.9
3	わからない	2337	39.4
	未回答・不明	103	1.7
	合計	5925	100.0

<情報メディア学科に関する質問事項>

4. 情報メディア学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報メディア学科への受験希望について質問したところ、回答者数 5,925 人の約 4.2%にあたる 246 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 5,925 人の約 17.0%にあたる 1008 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問 4 情報メディア学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	246	4.2
2	受験を希望しない	4539	76.6
3	わからない	1008	17.0
	未回答・不明	132	2.2
	合計	5925	100.0

<情報メディア学科に関する質問事項>

5. 情報メディア学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報メディア学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数5,925人の約7.8%にあたる463人が「進学を希望する」と回答していることから、情報メディア学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報メディア学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 情報メディア学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	463	7.8
2	進学を希望しない	2765	46.7
3	わからない	2566	43.3
	未回答・不明	131	2.2
	合計	5925	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

II. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より情報学部の情報メディア学科の収容定員の変更を計画しており、この情報メディア学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：464件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 情報メディア分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報メディア分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 464 社の約 84.3%にあたる 391 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報メディア分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 情報メディア分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	391	84.3
2	必要性を感じない	17	3.7
3	わからない	54	11.6
	未回答・不明	2	0.4
	合計	464	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 情報メディア分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、情報メディア分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 464 社の約 84.1%にあたる 390 社が「必要性を感じる」と回答していることから、情報メディア分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 情報メディア分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	390	84.1
2	必要性を感じない	17	3.7
3	わからない	55	11.9
	未回答・不明	2	0.4
	合計	464	100.0

<神奈川工科大学の情報メディア学科に関する質問事項>

3. 神奈川工科大学の情報メディア学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報メディア学科の必要性について質問したところ、回答件数 464 社の約 81.0%にあたる 376 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の情報メディア学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学の情報メディア学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	376	81.0
2	必要性を感じない	18	3.9
3	わからない	68	14.7
	未回答・不明	2	0.4
	合計	464	100.0

<神奈川工科大学の情報メディア学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 464 社の約 52.4%にあたる 243 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問4 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	243	52.4
2	採用は考えない	56	12.1
3	わからない	134	28.9
4	その他	28	6.0
	未回答・不明	3	0.6
	合計	464	100.0

<神奈川工科大学の情報メディア学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数464社の約15.5%にあたる72社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数464社の約15.1%にあたる70社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると212人となり、この採用人数からも情報メディア学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	72	15.5
2	2人以上	70	15.1
3	わからない	203	43.8
4	その他	105	22.6
	未回答・不明	14	3.0
	合計	464	100.0

問5 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	72	72
2	採用したい/2人	70	140
	合計	142	212

III. 参 考 资 料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科の進学意向に関するアンケート調査

(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に

)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に

第1希望

第2希望

)

問3 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報メディア学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報メディア学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の情報学部の情報メディア学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 情報メディア学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：情報学部情報メディア学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員150名／収容定員600名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- * 職業・社会・人生において適切な判断のできる教養と広い視野を有し、創造・制作・構築への意欲と能力のある情報メディア技術者・制作者を養成することを目的としています。そのため、教養科目では問題意識と価値観を持たせること、専門科目では、科目や分野への興味と社会での必要性を理解させること、少数の必修科目をしっかりと身に付けさせること、講義科目による知識の修得以外に、体験科目により、問題発見と問題解決の態度・方法を身に付けさせることを方針とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・各種情報メディアに関する技術とコンテンツについて基本的な専門知識を身に付け、新たなシステムやコンテンツを創作できる能力を身に付けます。
- ・自分の思考や判断のプロセスを口頭表現や文章表現によつて的確に伝えることができるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・科学・技術・環境の関係を認識し、社会に及ぼす影響を理解しつつ、自立的かつ論理的な判断ができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・技術者やクリエイターとして必要な数学、自然科学および情報技術の理系の基礎知識を身に付け、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを持ち、理系と製作系の両者を理解できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・他者の声に耳を傾ける態度で、世界的な視野から現状を的確に分析し、根源的な問題を見出し、解決に必要な知識を自ら習得し継続的に学習する意欲と関心をもつことができる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 ー参考ー
- 東海大学 情報理工学部 情報科学科 160万円
- 神奈川大学 工学部情報システム創成学科 153万円
- 関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

* 授業料給費スカラシップ（給付）

- ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
- 学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。

* 幾徳学園奨学金（貸与）

- ・新入生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科人材需要調査

【回答欄】

問1 情報メディア分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 情報メディア分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川工科大学の情報メディア学科について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数について、

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川工科大学の情報メディア学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 情報メディア学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：情報学部情報メディア学科（４年制）
- * 学生定員：入学定員１５０名／収容定員６００名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野１０３０
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約２３分



□教育目的

- * 職業・社会・人生において適切な判断のできる教養と広い視野を有し、創造・制作・構築への意欲と能力のある情報メディア技術者・制作者を養成することを目的としています。そのため、教養科目では問題意識と価値観を持たせること、専門科目では、科目や分野への興味と社会での必要性を理解させること、少数の必修科目をしっかり身に付けさせること、講義科目による知識の修得以外に、体験科目により、問題発見と問題解決の態度・方法を身に付けさせることを方針とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・各種情報メディアに関する技術とコンテンツについて基本的な専門知識を身に付け、新たなシステムやコンテンツを創作できる能力を身に付けます。
- ・自分の思考や判断のプロセスを口頭表現や文章表現によつて的確に伝えることができるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・科学・技術・環境の関係を認識し、社会に及ぼす影響を理解しつつ、自立的かつ論理的な判断ができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・技術者やクリエイターとして必要な数学、自然科学および情報技術の理系の基礎知識を身に付け、芸術的創造性を発揮できる基礎的なスキルを持ち、理系と製作系の両者を理解できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・他者の声に耳を傾ける態度で、世界的な視野から現状を的確に分析し、根源的な問題を見出し、解決に必要な知識を自ら習得し継続的に学習する意欲と関心をもつことができる態度を身に付けます。

神奈川工科大学

創造工学部 自動車システム開発工学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
自動車システム開発工学科に関する質問事項	
自動車システム開発工学科への興味・関心	4
自動車システム開発工学科への受験希望	5
自動車システム開発工学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
自動車システム開発工学分野の人材養成の必要性	8
自動車システム開発工学分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の自動車システム開発工学科の必要性	10
神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ 卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 学科概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）
- 学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より創造工学部の自動車システム開発工学科の収容定員の変更を計画しており、この自動車システム開発工学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 22 校

回答者数：2,835 人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数2,835人の約78.1%にあたる2,214人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数2,835人の約49.5%にあたる1,402人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	1402	49.5
2	短期大学進学	147	5.2
3	専門学校進学	665	23.5
4	就 職	546	19.3
5	その他	68	2.4
	未回答・不明	7	0.2
	合計	2835	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「工学関係」と回答した者が回答者数2,835人の約13.0%にあたる368人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約11.6%にあたる328人、「理学関係」と回答した者が約8.3%にあたる235人となっており、進学を希望する分野においては、「工学関係」が最も上位に位置している。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	328	11.6	218	7.7
教育学・保育学関係	229	8.1	299	10.5
法学・政治学関係	93	3.3	109	3.8
社会学・福祉学関係	89	3.1	150	5.3
経済学・経営学関係	184	6.5	183	6.5
工学関係	368	13.0	176	6.2
理学関係	235	8.3	246	8.7
情報学関係	132	4.7	192	6.8
看護学関係	124	4.4	112	4.0
医療技術学関係	107	3.8	119	4.2
栄養学関係	97	3.4	122	4.3
その他	521	18.4	179	6.3
未回答・不明	328	11.6	730	25.7
合計	2835	100.0	2835	100.0

<自動車システム開発工学科に関する質問事項>

3. 自動車システム開発工学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科への興味・関心について質問したところ、回答者数2,835人の約9.5%にあたる269人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の自動車システム開発工学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 自動車システム開発工学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	269	9.5
2	興味・関心がない	1442	50.9
3	わからない	1029	36.3
	未回答・不明	95	3.4
	合計	2835	100.0

<自動車システム開発工学科に関する質問事項>

4. 自動車システム開発工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科への受験希望について質問したところ、回答者数 2,835 人の約 2.3%にあたる 66 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 2,835 人の約 20.1%にあたる 569 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 自動車システム開発工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	66	2.3
2	受験を希望しない	2092	73.8
3	わからない	569	20.1
	未回答・不明	108	3.8
	合計	2835	100.0

<自動車システム開発工学科に関する質問事項>

5. 自動車システム開発工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数2,835人の約6.9%にあたる197人が「進学を希望する」と回答していることから、自動車システム開発工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、自動車システム開発工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 自動車システム開発工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	197	6.9
2	進学を希望しない	1460	51.5
3	わからない	1068	37.7
	未回答・不明	110	3.9
	合計	2835	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

Ⅱ. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より創造工学部の自動車システム開発工学科の収容定員の変更を計画しており、この自動車システム開発工学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：461件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 自動車システム開発工学分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、自動車システム開発工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 461 社の約 89.4%にあたる 412 社が「必要性を感じる」と回答していることから、自動車システム開発工学分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 自動車システム開発工学分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	412	89.4
2	必要性を感じない	11	2.4
3	わからない	36	7.8
	未回答・不明	2	0.4
	合計	461	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 自動車システム開発工学分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、自動車システム開発工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 461 社の約 87.0%にあたる 401 社が「必要性を感じる」と回答していることから、自動車システム開発工学分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 自動車システム開発工学分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	401	87.0
2	必要性を感じない	11	2.4
3	わからない	47	10.2
	未回答・不明	2	0.4
	合計	461	100.0

<神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に関する質問事項>

3. 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科の必要性について質問したところ、回答件数 461 社の約 84.8%にあたる 391 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	391	84.8
2	必要性を感じない	10	2.2
3	わからない	58	12.6
	未回答・不明	2	0.4
	合計	461	100.0

<神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 461 社の約 53.1%にあたる 245 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	245	53.1
2	採用は考えない	45	9.8
3	わからない	133	28.9
4	その他	36	7.8
	未回答・不明	2	0.4
	合計	461	100.0

<神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数461社の約16.1%にあたる74社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数461社の約11.9%にあたる55社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると184人となり、この採用人数からも自動車システム開発工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	74	16.1
2	2人以上	55	11.9
3	わからない	214	46.4
4	その他	112	24.3
	未回答・不明	6	1.3
	合計	461	100.0

問5 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	74	74
2	採用したい/2人	55	110
	合計	129	184

III. 参 考 资 料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 創造工学部 自動車システム開発工学科の進学意向に関するアンケート調査
(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に)

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の創造工学部の自動車システム開発工学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の創造工学部の自動車システム開発工学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の創造工学部の自動車システム開発工学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 自動車システム開発工学科の概要



□学科概要

- * 学部学科：創造工学部自動車システム開発工学科（4年制）
- * 学生定員：入学定員50名／収容定員200名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分

□教育目的

- * 基礎となる工学技術を統合し、それらを自動車に代表される製品開発に応用できる技術者を養成します。つまり、製品開発の源流（市場調査や企画）を含め、製品の仕様決定、概念設計、詳細設計、実験、製造等の一連の過程を担え、自らの手で情報を入手し、適切に判断できる技術者を育成します。とりわけ、自動車におけるインテリジェント化、環境、安全性、快適性に対する理解を深め、これからの自動車産業を支える技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・自動車および関連する産業界において製品の企画・開発・設計・製造・運用・評価を通して、自動車の技術革新と人間の社会生活・産業・福祉の発展に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語の高い論述力を身に付け、研究発表やグループ討論を十分に行え、組織の一員として自動車の開発・設計・製造の業務を担うことができ能力を身に付けます。
- ・技術的な内容について英語によるコミュニケーションができ、自動車産業で国際的に活躍できる能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・論理的な思考に基づき合理的な判断ができる能力を身に付けます。
- ・技術者としての倫理観を持ち、科学技術の展開とその社会的な影響と責任について自覚できる態度を身に付けます。
- ・組織内でコミュニケーションをとりながら、期限と能率を考慮して計画的に仕事を進めることができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・自然科学、情報技術および工学の基礎を修得し、それらを応用できる、さらに、関連する新たな学問を自ら学ぶことができる能力を身に付けます。
- ・自動車工学およびその周辺知識を持ち、力学を駆使して自動車の性能と安全性の向上を図った開発、設計ができる能力を身に付けます。
- ・電気電子、通信、制御などに関する基礎的な知識とコンピュータ運用能力を持ち、それらを応用して自動車の電子化・情報化に寄与できる能力を身に付けます。
- ・製図、機械要素、設計法、加工法を学び、自動車の設計、製造の過程を理解し、関連する業務を担うことができる能力を身に付けます。
- ・学んだ専門知識を統合、発展させ、自動車に代表される知的に集約された製品開発を担える、また、関連した種々の課題を見つけ解決できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・柔軟な思考と論理性、創造力、企画力を有し、工学的諸問題への解決策を創出でき、変革の著しい自動車産業界および社会の変化に対応できる能力を身に付けます。
- ・幅広い学問分野に興味を持ち続け、継続的に自己成長できる態度を身に付けます。
- ・自然現象・社会・文化・人間と科学技術との関わりについて認識を持ち、語学力を身につけ国際社会に対応できる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 創造工学部 自動車システム開発工学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 -参考-
 - 東海大学 工学部 動力機械工学科 160万円
 - 神奈川大学 工学部機械工学科 153万円
 - 関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

- * 授業料給費スカラシップ（給付）
 - ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
 - ・学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。
- * 幾徳学園奨学金（貸与）
 - ・新入生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川工科大学創造工学部 自動車システム開発工学科人材需要調査

【回答欄】

問1 自動車システム開発工学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 自動車システム開発工学分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数について、

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 自動車システム開発工学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：創造工学部自動車システム開発工学科（４年制）
- * 学生定員：入学定員５０名／収容定員２００名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野１０３０
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約２３分



□教育目的

- * 基礎となる工学技術を統合し、それらを自動車に代表される製品開発に応用できる技術者を養成します。つまり、製品開発の源流（市場調査や企画）を含め、製品の仕様決定、概念設計、詳細設計、実験、製造等の一連の過程を担え、自らの手で情報を入力し、適切に判断できる技術者を育成します。とりわけ、自動車におけるインテリジェント化、環境、安全性、快適性に対する理解を深め、これからの自動車産業を支える技術者を養成することを目的とします。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・自動車および関連する産業界において製品の企画・開発・設計・製造・運用・評価を通して、自動車の技術革新と人間の社会生活・産業・福祉の発展に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語の高い論述力を身に付け、研究発表やグループ討論を十分に行え、組織の一員として自動車の開発・設計・製造の業務を担うことができる能力を身に付けます。
- ・技術的な内容について英語によるコミュニケーションができ、自動車産業で国際的に活躍できる能力を身に付けます。

* 思考・判断

- ・論理的な思考に基づき合理的な判断ができる能力を身に付けます。
- ・技術者としての倫理観を持ち、科学技術の展開とその社会的な影響と責任について自覚できる態度を身に付けます。
- ・組織内でコミュニケーションをとりながら、期限と能率を考慮して計画的に仕事を進めることができる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・自然科学、情報技術および工学の基礎を修得し、それらを応用できる、さらに、関連する新たな学問を自ら学ぶことができる能力を身に付けます。
- ・自動車工学およびその周辺知識を持ち、力学を駆使して自動車の性能と安全性の向上を図った開発、設計ができる能力を身に付けます。
- ・電気電子、通信、制御などに関する基礎的な知識とコンピュータ運用能力を持ち、それらを応用して自動車の電子化・情報化に寄与できる能力を身に付けます。
- ・製図、機械要素、設計法、加工法を学び、自動車の設計、製造の過程を理解し、関連する業務を担うことができる能力を身に付けます。
- ・学んだ専門知識を統合、発展させ、自動車に代表される知的に集約された製品開発を担える、また、関連した種々の課題を見つけ解決できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・柔軟な思考と論理性、創造力、企画力を有し、工学的諸問題への解決策を創出でき、変革の著しい自動車産業界および社会の変化に対応できる能力を身に付けます。
- ・幅広い学問分野に興味を持ち続け、継続的に自己成長できる態度を身に付けます。
- ・自然現象・社会・文化・人間と科学技術との関わりについて認識を持ち、語学力を身につけ国際社会に対応できる態度を身に付けます。

神奈川工科大学

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科の
進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
ロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項	
ロボット・メカトロニクス学科への興味・関心	4
ロボット・メカトロニクス学科への受験希望	5
ロボット・メカトロニクス学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
ロボット・メカトロニクス分野の人材養成の必要性	8
ロボット・メカトロニクス分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項	
神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科の必要性	10
神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ 卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 学科概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）
- 学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より創造工学部のロボット・メカトロニクス学科の収容定員の変更を計画しており、このロボット・メカトロニクス学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 23 校

回答者数：2,302 人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数2,302人の約67.5%にあたる1,554人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数2,302人の約44.0%にあたる1,013人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	1013	44.0
2	短期大学進学	101	4.4
3	専門学校進学	440	19.1
4	就職	599	26.0
5	その他	50	2.2
	未回答・不明	99	4.3
	合計	2302	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「工学関係」と回答した者が回答者数2,302人の約12.6%にあたる291人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約9.7%にあたる223人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約9.3%にあたる215人となっており、進学を希望する分野においては、「工学関係」が最も上位に位置している。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	223	9.7	151	6.6
教育学・保育学関係	215	9.3	200	8.7
法学・政治学関係	53	2.3	72	3.1
社会学・福祉学関係	52	2.3	108	4.7
経済学・経営学関係	114	5.0	121	5.3
工学関係	291	12.6	163	7.1
理学関係	118	5.1	171	7.4
情報学関係	136	5.9	144	6.3
看護学関係	87	3.8	77	3.3
医療技術学関係	80	3.5	108	4.7
栄養学関係	39	1.7	82	3.6
その他	300	13.0	146	6.3
未回答・不明	594	25.8	759	33.0
合計	2302	100.0	2302	100.0

<ロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項>

3. ロボット・メカトロニクス学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 2,302 人の約 12.8%にあたる 295 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生のロボット・メカトロニクス学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 ロボット・メカトロニクス学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	295	12.8
2	興味・関心がない	1045	45.4
3	わからない	722	31.4
	未回答・不明	240	10.4
	合計	2302	100.0

<ロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項>

4. ロボット・メカトロニクス学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科への受験希望について質問したところ、回答者数 2,302 人の約 3.3%にあたる 76 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 2,302 人の約 20.7%にあたる 477 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 ロボット・メカトロニクス学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	76	3.3
2	受験を希望しない	1500	65.2
3	わからない	477	20.7
	未回答・不明	249	10.8
	合計	2302	100.0

<ロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項>

5. ロボット・メカトロニクス学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 2,302 人の約 7.8%にあたる 180 人が「進学を希望する」と回答していることから、ロボット・メカトロニクス学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、ロボット・メカトロニクス学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 ロボット・メカトロニクス学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	180	7.8
2	進学を希望しない	1112	48.3
3	わからない	753	32.7
	未回答・不明	257	11.2
	合計	2302	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

II. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より創造工学部のロボット・メカトロニクス学科の収容定員の変更を計画しており、このロボット・メカトロニクス学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：465件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. ロボット・メカトロニクス分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、ロボット・メカトロニクス分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 465 社の約 93.1%にあたる 433 社が「必要性を感じる」と回答していることから、ロボット・メカトロニクス分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 ロボット・メカトロニクス分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	433	93.1
2	必要性を感じない	4	0.9
3	わからない	26	5.6
	未回答・不明	2	0.4
	合計	465	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. ロボット・メカトロニクス分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、ロボット・メカトロニクス分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 465 社の約 92.7%にあたる 431 社が「必要性を感じる」と回答していることから、ロボット・メカトロニクス分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 ロボット・メカトロニクス分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	431	92.7
2	必要性を感じない	4	0.9
3	わからない	28	6.0
	未回答・不明	2	0.4
	合計	465	100.0

＜神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項＞

3. 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科の必要性について質問したところ、回答件数 465 社の約 89.7%にあたる 417 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	417	89.7
2	必要性を感じない	3	0.6
3	わからない	43	9.2
	未回答・不明	2	0.4
	合計	465	100.0

＜神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項＞

4. 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 465 社の約 68.6% にあたる 319 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問4 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	319	68.6
2	採用は考えない	24	5.2
3	わからない	84	18.1
4	その他	36	7.7
	未回答・不明	2	0.4
	合計	465	100.0

＜神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に関する質問事項＞

5. 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数465社の約21.9%にあたる102社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数465社の約14.4%にあたる67社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると236人となり、この採用人数からもロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	102	21.9
2	2人以上	67	14.4
3	わからない	179	38.5
4	その他	109	23.4
	未回答・不明	8	1.7
	合計	465	100.0

問5 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	102	102
2	採用したい/2人	67	134
	合計	169	236

III. 参 考 资 料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科の進学意向に関するアンケート調査
(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 文学・史学・哲学関係
- 2 教育学・保育学関係
- 3 法学・政治学関係
- 4 社会学・福祉学関係
- 5 経済学・経営学関係
- 6 工学関係
- 7 理学関係
- 8 情報学関係
- 9 看護学関係
- 10 医療技術学関係
- 11 栄養学関係
- 12 その他(具体的に)

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の創造工学部のロボット・メカトロニクス学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の創造工学部のロボット・メカトロニクス学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の創造工学部のロボット・メカトロニクス学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川工科大学 ロボット・メカトロニクス学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：創造工学部ロボット・メカトロニクス学科
(4年制)
- * 学生定員：入学定員40名／収容定員160名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- * 確かな技術力と幅広い視野を身につけ、自ら問題を発見して解決できる能力を有する高度な技術者を育成することを目的とします。具体的には、人々の生活を豊かにする次世代の“ロボット”や“生活支援機器”を開発する技術者を育てます。そのため、機械工学、電気電子工学、情報工学などのロボット・メカトロニクスの要素技術に加え、人と関わり合う“次世代ロボット”に必要な人間工学やプロダクトデザインの知識も学びます。さらに、システムインテグレーションの代表であるロボットやマイクロコンピュータを利用した組み込み機器などをテーマにした創造教育により、修得した知識を実際のものづくりに活かせる確かな技術者を養成します。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・技術者として、ロボットや組み込み機器技術の活用および創造などの実践活動によって、豊かで、安心、安全な社会の実現に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語で自分の考えを説明し、的確に伝えるための記述やプレゼンテーションができ、他者の考えを尊重した討論ができ、また、国際的な素養も身に付けます。

* 思考・判断

- ・技術者として、自然、社会、人間などで起こる事象や問題を多面的、複眼的な視点から論理的に考えて、その本質や機序を見抜くことができる態度を身に付けます。
- ・適用する技術が人間、社会、自然におよぼす影響を倫理観と責任感を持って正しく判断できる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・自然科学、情報技術および工学の基礎を修得し、それらを応用できる能力を身に付けます。
- ・機械工学、電気電子工学および情報工学の専門知識およびそれらを統合したメカトロニクス技術を修得し、それらを応用できる能力を身に付けます。
- ・人間特性およびプロダクトデザインの知識を修得し、それらを次世代ロボットおよび高機能な福祉機器の開発に応用できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・自ら課題を設定し、実行するために必要な専門知識、技術を修得するための学習を自主的・継続的にできる態度を身に付けます。
- ・幅広い視野を持ち、自ら問題を発見し解決することができる態度を身に付けます。

□学費

- * 神奈川工科大学 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- * 神奈川県内の私立大学の学費 ー参考ー 東海大学 工学部 機械工学科 160万円
神奈川大学 工学部機械工学科 153万円
関東学院大学 理工学部 理工学科 153万円

□奨学金

* 授業料給費スカラシップ（給付）

- ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。

* 幾徳学園奨学金（貸与）

- ・新生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川工科大学創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科人材需要調査

【回答欄】

問1 ロボット・メカトロニクス分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 ロボット・メカトロニクス分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数について、

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 ロボット・メカトロニクス学科の概要

□学科概要

- * 学部学科：創造工学部ロボット・メカトロニクス学科
(4年制)
- * 学生定員：入学定員40名／収容定員160名
- * 設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- * アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

確かな技術力と幅広い視野を身につけ、自ら問題を発見して解決できる能力を有する高度な技術者を育成することを目的とします。具体的には、人々の生活を豊かにする次世代の“ロボット”や“生活支援機器”を開発する技術者を育てます。そのため、機械工学、電気電子工学、情報工学などのロボット・メカトロニクスの要素技術に加え、人と関わり合う“次世代ロボット”に必要な人間工学やプロダクトデザインの知識も学びます。さらに、システムインテグレーションの代表であるロボットやマイクロコンピュータを利用した組み込み機器などをテーマにした創造教育により、修得した知識を実際のものづくりに活かせる確かな技術者を養成します。

□人材養成／習得する知識や能力

* 技能・表現

- ・技術者として、ロボットや組み込み機器技術の活用および創造などの実践活動によって、豊かで、安心、安全な社会の実現に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語で自分の考えを説明し、的確に伝えるための記述やプレゼンテーションができ、他者の考えを尊重した討論ができ、また、国際的な素養も身に付けます。

* 思考・判断

- ・技術者として、自然、社会、人間などで起こる事象や問題を多面的、複眼的な視点から論理的に考えて、その本質や機序を見抜くことができる態度を身に付けます。
- ・適用する技術が人間、社会、自然におよぼす影響を倫理観と責任感を持って正しく判断できる態度を身に付けます。

* 知識・理解

- ・自然科学、情報技術および工学の基礎を修得し、それらを応用できる能力を身に付けます。
- ・機械工学、電気電子工学および情報工学の専門知識およびそれらを統合したメカトロニクス技術を修得し、それらを応用できる能力を身に付けます。
- ・人間特性およびプロダクトデザインの知識を修得し、それらを次世代ロボットおよび高機能な福祉機器の開発に応用できる能力を身に付けます。

* 関心・意欲・態度

- ・自ら課題を設定し、実行するために必要な専門知識、技術を修得するための学習を自主的・継続的にできる態度を身に付けます。
- ・幅広い視野を持ち、自ら問題を発見し解決することができる態度を身に付けます。

神奈川工科大学

応用バイオ科学部 応用バイオ科学科の

進学需要等に関するアンケート調査結果報告書

平成28年2月

目 次

I. 進学需要調査（集計結果）

調査対象等	1
調査結果概要	2～6
大学全般に関する質問事項	
高等学校卒業後の進路	2
進学を希望する分野	3
応用バイオ科学科に関する質問事項	
応用バイオ科学科への興味・関心	4
応用バイオ科学科への受験希望	5
応用バイオ科学科への進学希望	6

II. 人材需要調査（集計結果）

調査対象等	7
調査結果概要	8～12
人材需要全般に関する質問事項	
応用バイオ科学分野の人材養成の必要性	8
応用バイオ科学分野の大学教育の必要性	9
神奈川工科大学の情報工学科に関する質問事項	
神奈川工科大学の応用バイオ科学科の必要性	10
神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用	11
神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用予定人数	12

III. 参考資料

進学需要調査関係

- アンケート協力依頼高等学校一覧
- アンケート調査票（高校生）
- 学科概要（高校生）

人材需要調査関係

- アンケート協力依頼民間企業等一覧
- アンケート調査票（民間企業等）
- 学科概要（民間企業等）

1. 進学需要調査（集計結果）

1. 進学需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より応用バイオ科学部の応用バイオ科学科の収容定員の変更を計画しており、この応用バイオ科学科の収容定員を変更するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生を対象とした進学需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校 36校

回答者数：3,864人

②調査方法

高等学校単位での一括配布、一括回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<大学全般に関する質問事項>

1. 高等学校卒業後の進路

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後の進路について質問したところ、回答者数3,864人の約87.0%にあたる3,361人が「4年制大学」「短期大学」「専門学校」への進学を希望しており、そのうち「4年制大学」への進学を希望している者は、回答者数3,864人の約68.5%にあたる2,647人と最も高い数値を示していることから、4年制大学への進学意向の高さをうかがうことができる。

問1 高等学校卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	4年制大学進学	2647	68.5
2	短期大学進学	144	3.7
3	専門学校進学	570	14.8
4	就 職	379	9.8
5	その他	97	2.5
	未回答・不明	27	0.7
	合計	3864	100.0

<大学全般に関する質問事項>

2. 進学を希望する分野

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、高等学校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望するかについて質問したところ、第1希望においては「理学関係」と回答した者が回答者数3,864人の約11.1%にあたる430人で最も多く、次いで「文学・史学・哲学関係」と回答した者が約10.7%にあたる412人、「教育学・保育学関係」と回答した者が約9.0%にあたる349人となっている。

問2 進学を希望する分野

進学希望分野	第1希望		第2希望	
	件数/人	全体/%	件数/人	全体/%
文学・史学・哲学関係	412	10.7	317	8.2
教育学・保育学関係	349	9.0	423	10.9
法学・政治学関係	120	3.1	185	4.8
社会学・福祉学関係	101	2.6	213	5.5
経済学・経営学関係	313	8.1	238	6.2
工学関係	303	7.8	243	6.3
理学関係	430	11.1	370	9.6
情報学関係	142	3.7	196	5.1
看護学関係	293	7.6	182	4.7
医療技術学関係	230	6.0	260	6.7
栄養学関係	231	6.0	228	5.9
その他	695	18.0	261	6.8
未回答・不明	245	6.3	748	19.4
合計	3864	100.0	3864	100.0

<応用バイオ科学科に関する質問事項>

3. 応用バイオ科学科への興味・関心

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科への興味・関心について質問したところ、回答者数 3,864 人の約 13.8%にあたる 532 人が「興味・関心がある」と回答していることから、高校生の応用バイオ科学科への興味・関心の高さをうかがうことができる。

問3 応用バイオ科学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	興味・関心がある	532	13.8
2	興味・関心がない	1987	51.4
3	わからない	1276	33.0
	未回答・不明	69	1.8
	合計	3864	100.0

<応用バイオ科学科に関する質問事項>

4. 応用バイオ科学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科への受験希望について質問したところ、回答者数3,864人の約4.2%にあたる161人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数3,864人の約19.6%にあたる756人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 応用バイオ科学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	161	4.2
2	受験を希望しない	2861	74.0
3	わからない	756	19.6
	未回答・不明	86	2.2
	合計	3864	100.0

<応用バイオ科学科に関する質問事項>

5. 応用バイオ科学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 3,864 人の約 8.3%にあたる 321 人が「進学を希望する」と回答していることから、応用バイオ科学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、応用バイオ科学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 応用バイオ科学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	321	8.3
2	進学を希望しない	2050	53.1
3	わからない	1393	36.1
	未回答・不明	100	2.6
	合計	3864	100.0

II. 人材需要調査（集計結果）

II. 人材需要調査（集計結果）

【調査対象等】

神奈川工科大学では、平成29年4月より応用バイオ科学部の応用バイオ科学科の収容定員の変更を計画しており、この応用バイオ科学科の収容定員を変更するにあたり、人材需要の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査を実施した。

①調査対象

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等及び本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業等

②調査方法

民間企業等への郵送による配布、回収

③調査実施

平成27年12月～平成28年2月

④調査件数

回答件数：460件

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

<人材需要全般に関する質問事項>

1. 応用バイオ科学分野の人材養成の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、応用バイオ科学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成の必要性について質問したところ、回答件数 460 社の約 84.6%にあたる 389 社が「必要性を感じる」と回答していることから、応用バイオ科学分野の人材養成の必要性の高さをうかがうことができる。

問1 応用バイオ科学分野の人材養成の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	389	84.6
2	必要性を感じない	16	3.5
3	わからない	55	12.0
	未回答・不明	0	0.0
	合計	460	100.0

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 応用バイオ科学分野の大学教育の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、応用バイオ科学分野に関する教育研究を目的とする大学教育の必要性について質問したところ、回答件数 460 社の約 85.0%にあたる 391 社が「必要性を感じる」と回答していることから、応用バイオ科学分野の大学教育の必要性の高さをうかがうことができる。

問2 応用バイオ科学分野の大学教育の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	391	85.0
2	必要性を感じない	13	2.8
3	わからない	56	12.2
	未回答・不明	0	0.0
	合計	460	100.0

＜神奈川工科大学の応用バイオ科学科に関する質問事項＞

3. 神奈川工科大学の応用バイオ科学科の必要性

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の応用バイオ科学科の必要性について質問したところ、回答件数 460 社の約 79.3%にあたる 365 社が「必要性を感じる」と回答しており、神奈川工科大学の応用バイオ科学科の必要性の高さをうかがうことができる。

問3 神奈川工科大学の応用バイオ科学科の必要性

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	必要性を感じる	365	79.3
2	必要性を感じない	12	2.6
3	わからない	83	18.0
	未回答・不明	0	0.0
	合計	460	100.0

<神奈川工科大学の応用バイオ科学科に関する質問事項>

4. 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 460 社の約 36.7%にあたる 169 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問4 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	169	36.7
2	採用は考えない	93	20.2
3	わからない	128	27.8
4	その他	69	15.0
	未回答・不明	1	0.2
	合計	460	100.0

<神奈川工科大学の応用バイオ科学科に関する質問事項>

5. 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県及び隣接圏に所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数1人」と回答した民間企業等は、回答件数460社の約14.6%にあたる67社、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等は、回答件数460社の約7.4%にあたる34社となっている。

なお、「採用人数2人以上」と回答した民間企業等の採用人数を2人として、これらの採用人数を合計すると135人となり、この採用人数からも応用バイオ科学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県及び隣接圏に所在する一部の民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問5 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1人	67	14.6
2	2人以上	34	7.4
3	わからない	222	48.3
4	その他	118	25.7
	未回答・不明	19	4.1
	合計	460	100.0

問5 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1人	67	67
2	採用したい/2人	34	68
	合計	101	135

III. 參考資料

進学需要調査関係

神奈川工科大学 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科の進学意向に関するアンケート調査

(回答した内容によって将来の進路が制限されることはありません)

問1 あなたは高校卒業後、どのような進路をお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 4年制大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他(具体的に)

問2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

- | | | |
|--------------|---------------|------|
| 1 文学・史学・哲学関係 | 7 理学関係 | 第1希望 |
| 2 教育学・保育学関係 | 8 情報学関係 | |
| 3 法学・政治学関係 | 9 看護学関係 | 第2希望 |
| 4 社会学・福祉学関係 | 10 医療技術学関係 | |
| 5 経済学・経営学関係 | 11 栄養学関係 | 第2希望 |
| 6 工学関係 | 12 その他(具体的に) | |

第1希望

第2希望

問3 あなたは神奈川工科大学の応用バイオ科学部の応用バイオ科学科に興味・関心がありますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 興味・関心がある
- 2 興味・関心がない
- 3 わからない

問4 あなたは神奈川工科大学の応用バイオ科学部の応用バイオ科学科の受験についてどうお考えですか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 受験を考えたい
- 2 受験を考えない

問5 あなたは神奈川工科大学の応用バイオ科学部の応用バイオ科学科に合格した場合、進学を希望しますか。

次の中から一つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 進学を希望しない
- 3 わからない

問6 神奈川工科大学に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

神奈川県立工科大学 応用バイオ科学科の概要

□学科概要

- *学部学科：応用バイオ科学部応用バイオ科学科（4年制）
- *学生定員：入学定員120名／収容定員480名
- *設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- *アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- *生命科学を生活に役立てるための基本的な知識を持ち、さらに最新の生命科学技術を学ぶことにより、地域社会はもとより、地球社会に貢献でき、国際性豊かに活躍できるバイオ技術者、バイオ支援技術者を養成することを目的とする。

□人材養成／習得する知識や能力

*技能・表現

- ・技術者として、生命科学技術（医薬品・診断法・医療機器、食糧生産技術、環境診断・浄化技術など）の開発・設計・運用を通して人類社会の利益と安全に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語の論述力、研究発表やグループ討論のコミュニケーション、英語による国際的なコミュニケーションができる能力を身に付けます。

*思考・判断

- ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、柔軟な技術の展開と同時にその社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
- ・時間的効率と期限を考慮して計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。

*知識・理解

- ・数学、自然科学および情報技術の理系基礎が理解できる能力を身に付けます。
- ・生命科学の専門技術に関する知識を応用できる能力を身に付けます。
- ・生命科学に関連した種々の課題を解決できる能力を身に付けます。

*関心・意欲・態度

- ・自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・共通教育を通じて自然現象・社会・文化と科学技術との関わりについて認識を持ち、語学力を身に付け国際社会に対応できる態度を身に付けます。

□学費

- *神奈川県立工科大学 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 154万円
(初年度納付金／入学金17万円・授業料等137万円)
- *神奈川県内の私立大学の学費 -参考-

明治大学 農学部 生命科学科	172万円
東京農業大学 農学部 農学科	137万円
日本大学 生物資源科学部 生命化学科	166万円

□奨学金

- *授業料給費スカラシップ（給付）
 - ・入試成績により年間授業料のうち50万円を給費します。
(2016年度入試実績)
 - ・学年ごとに所定の成績基準を満たせば4年間の利用が可能です。
- *幾徳学園奨学金（貸与）
 - ・新生を対象にした無利子で貸与する奨学金です。
34千円／月、貸与期間は入学後4年間です。

人材需要調査関係

神奈川県立工科大学 応用バイオ科学部 応用バイオ科学科人材需要調査

【回答欄】

問1 応用バイオ科学分野の専門的な知識や技術を有する人材養成について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問2 応用バイオ科学分野に関する教育研究を目的とする大学教育について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問3 神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 必要性を感じる
- 2 必要性を感じない
- 3 わからない

問4 神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したい
- 2 採用は考えない
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問5 神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数について、
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1人
- 2 2人以上
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に

)

問6 神奈川県立工科大学の応用バイオ科学科に対するご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

貴社名

ご担当者名

住所

電話番号

神奈川工科大学 応用バイオ科学科の概要

□学科概要

- *学部学科：応用バイオ科学部応用バイオ科学科（4年制）
- *学生定員：入学定員120名／収容定員480名
- *設置場所：神奈川県厚木市下荻野1030
- *アクセス：小田急本厚木駅からバスで約23分



□教育目的

- *生命科学を生活に役立てるための基本的な知識を持ち、さらに最新の生命科学技術を学ぶことにより、地域社会はもとより、地球社会に貢献でき、国際性豊かに活躍できるバイオ技術者、バイオ支援技術者を養成することを目的とする。

□人材養成／習得する知識や能力

*技能・表現

- ・技術者として、生命科学技術（医薬品・診断法・医療機器、食糧生産技術、環境診断・浄化技術など）の開発・設計・運用を通して人類社会の利益と安全に貢献できる能力を身に付けます。
- ・日本語の論述力、研究発表やグループ討論のコミュニケーション、英語による国際的なコミュニケーションができる能力を身に付けます。

*思考・判断

- ・技術者として、科学・技術・社会・環境の連携を認識し、柔軟な技術の展開と同時にその社会的な影響と責任を自覚できる態度を身に付けます。
- ・時間的効率と期限を考慮して計画的に物事を進めることができる態度を身に付けます。

*知識・理解

- ・数学、自然科学および情報技術の理系基礎が理解できる能力を身に付けます。
- ・生命科学の専門技術に関する知識を応用できる能力を身に付けます。
- ・生命科学に関連した種々の課題を解決できる能力を身に付けます。

*関心・意欲・態度

- ・自己成長意欲をもち自主的・継続的に学習できる態度を身に付けます。
- ・共通教育を通じて自然現象・社会・文化と科学技術との関わりについて認識を持ち、語学力を身に付け国際社会に対応できる態度を身に付けます。

□電気電子情報工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の電気電子情報工学科への受験希望について質問したところ、回答者数2,317人の約3.5%にあたる81人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数2,317人の約23.5%にあたる545人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 電気電子情報工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	81	3.5
2	受験を希望しない	1477	63.7
3	わからない	545	23.5
	未回答・不明	214	9.2
	合計	2317	100.0

□電気電子情報工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の電気電子情報工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数2,317人の約10.3%にあたる239人が「進学を希望する」と回答していることから、電気電子情報工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、電気電子情報工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 電気電子情報工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	239	10.3
2	進学を希望しない	1018	43.9
3	わからない	827	35.7
	未回答・不明	233	10.1
	合計	2317	100.0

□情報工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報工学科への受験希望について質問したところ、回答者数 5,103 人の約 5.5%にあたる 281 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 5,103 人の約 17.3%にあたる 884 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問 4 情報工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	281	5.5
2	受験を希望しない	3836	75.2
3	わからない	884	17.3
	未回答・不明	102	2.0
	合計	5103	100.0

□情報工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 5,103 人の約 9.4%にあたる 481 人が「進学を希望する」と回答していることから、情報工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問 5 情報工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	481	9.4
2	進学を希望しない	2270	44.5
3	わからない	2239	43.9
	未回答・不明	113	2.2
	合計	5103	100.0

□情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望について質問したところ、回答者数3,384人の約4.1%にあたる139人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数3,384人の約26.6%にあたる900人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	139	4.1
2	受験を希望しない	2261	66.8
3	わからない	900	26.6
	未回答・不明	84	2.5
	合計	3384	100.0

□情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数3,384人の約9.3%にあたる316人が「進学を希望する」と回答していることから、情報ネットワーク・コミュニケーション学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 情報ネットワーク・コミュニケーション学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	316	9.3
2	進学を希望しない	1484	43.9
3	わからない	1499	44.3
	未回答・不明	85	2.5
	合計	3384	100.0

□情報メディア学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報メディア学科への受験希望について質問したところ、回答者数 5,925 人の約 4.2%にあたる 246 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 5,925 人の約 17.0%にあたる 1008 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問 4 情報メディア学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	246	4.2
2	受験を希望しない	4539	76.6
3	わからない	1008	17.0
	未回答・不明	132	2.2
	合計	5925	100.0

□情報メディア学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の情報メディア学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 5,925 人の約 7.8%にあたる 463 人が「進学を希望する」と回答していることから、情報メディア学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、情報メディア学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問 5 情報メディア学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	463	7.8
2	進学を希望しない	2765	46.7
3	わからない	2566	43.3
	未回答・不明	131	2.2
	合計	5925	100.0

□自動車システム開発工学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科への受験希望について質問したところ、回答者数 2,835 人の約 2.3%にあたる 66 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 2,835 人の約 20.1%にあたる 569 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問 4 自動車システム開発工学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	66	2.3
2	受験を希望しない	2092	73.8
3	わからない	569	20.1
	未回答・不明	108	3.8
	合計	2835	100.0

□自動車システム開発工学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 2,835 人の約 6.9%にあたる 197 人が「進学を希望する」と回答していることから、自動車システム開発工学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、自動車システム開発工学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問 5 自動車システム開発工学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	197	6.9
2	進学を希望しない	1460	51.5
3	わからない	1068	37.7
	未回答・不明	110	3.9
	合計	2835	100.0

□ロボット・メカトロニクス学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科への受験希望について質問したところ、回答者数 2,302 人の約 3.3%にあたる 76 人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数 2,302 人の約 20.7%にあたる 477 人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問 4 ロボット・メカトロニクス学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	76	3.3
2	受験を希望しない	1500	65.2
3	わからない	477	20.7
	未回答・不明	249	10.8
	合計	2302	100.0

□ロボット・メカトロニクス学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数 2,302 人の約 7.8%にあたる 180 人が「進学を希望する」と回答していることから、ロボット・メカトロニクス学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、ロボット・メカトロニクス学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問 5 ロボット・メカトロニクス学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	180	7.8
2	進学を希望しない	1112	48.3
3	わからない	753	32.7
	未回答・不明	257	11.2
	合計	2302	100.0

□応用バイオ科学科への受験希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の応用バイオ科学科への受験希望について質問したところ、回答者数3,864人の約4.2%にあたる161人が「受験を希望する」と回答している。

また、「わからない」と回答している者は、回答者数3,864人の約19.6%にあたる756人となっていることから、当該回答者層への広報活動を通じた積極的な働きかけを行うことにより、受験者数のさらなる増加を見込むことができるものと思われる。

問4 応用バイオ科学科への受験希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	受験を希望する	161	4.2
2	受験を希望しない	2861	74.0
3	わからない	756	19.6
	未回答・不明	86	2.2
	合計	3864	100.0

□応用バイオ科学科への進学希望

神奈川県及び隣接圏に所在する高等学校の2年生に、神奈川工科大学の応用バイオ科学科に合格した場合の進学希望について質問したところ、回答者数3,864人の約8.3%にあたる321人が「進学を希望する」と回答していることから、応用バイオ科学科に対する進学意向の高さがうかがえる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する一部の高等学校の2年生に限定した調査結果においても、応用バイオ科学科への進学希望の高さがうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

問5 応用バイオ科学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数/人	全体/%
1	進学を希望する	321	8.3
2	進学を希望しない	2050	53.1
3	わからない	1393	36.1
	未回答・不明	100	2.6
	合計	3864	100.0

学生募集活動の実績推移

年度	資料請求者数	オープンキャンパス 参加者数	高校進学ガイダンス 実施回数	高校出前講義実施 回数	高校団体本学見学 会実施回数	志願者総数
平成18年度	16,937	3,346	216	77	29	3,530
平成19年度	14,836	2,729	265	74	23	3,663
平成20年度	16,436	3,453	298	78	21	3,880
平成21年度	20,042	4,202	336	117	31	4,415
平成22年度	24,490	4,530	344	133	38	5,085
平成23年度	25,571	4,260	425	164	39	5,682
平成24年度	26,721	4,955	524	165	44	5,602
平成25年度	25,858	4,703	500	130	34	6,020
平成26年度	29,967	5,620	500	148	37	6,677

大学全体の求人件数及び収容定員を変更する学科の就職率の状況

区分	年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	5ヶ年平均
神奈川工科大学							
大学合計	求人件数	2,708	2,887	2,647	2,343	2,709	2,659
	就職希望者	939	810	742	661	669	764
	求人倍率	2.9	3.6	3.6	3.5	4.0	3.5

区分	年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	5ヶ年平均
神奈川工科大学							
大学合計	就職希望者	939	810	742	661	669	764
	就職者数	901	750	677	556	584	694
	就職率	96.0%	92.6%	91.2%	84.1%	87.3%	90.8%
工学部 電気電子情報工学科	就職希望者	80	63	69	54	76	68
	就職者	79	60	64	46	67	63
	就職率	98.8%	95.2%	92.8%	85.2%	88.2%	92.6%
情報学部 情報工学科	就職希望者	102	92	94	102	85	95
	就職者	98	86	88	84	73	86
	就職率	96.1%	93.5%	93.6%	82.4%	85.9%	90.5%
情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科	就職希望者	96	78	89	69	60	78
	就職者	93	73	80	53	51	70
	就職率	96.9%	93.6%	89.9%	76.8%	85.0%	89.7%
情報学部 情報メディア学科	就職希望者	154	129	95	81	106	113
	就職者	139	110	88	59	80	95
	就職率	90.3%	85.3%	92.6%	72.8%	75.5%	84.1%
創造工学部 自動車システム開発工学科	就職希望者	35	44	55	57	57	50
	就職者	34	43	54	55	57	49
	就職率	97.1%	97.7%	98.2%	96.5%	100.0%	98.0%
創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科	就職希望者	62	60	62	48	67	60
	就職者	58	47	55	34	57	50
	就職率	93.5%	78.3%	88.7%	70.8%	85.1%	83.3%
応用バイオ科学部 応用バイオ科学科	就職希望者	113	93	82	66	61	83
	就職者	110	87	75	61	51	77
	就職率	97.3%	93.5%	91.5%	92.4%	83.6%	92.8%

※求人倍率および就職率は、小数点第2位を四捨五入しております。

□神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 478 社の約 82.0%にあたる 392 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	392	82.0
2	採用は考えない	12	2.5
3	わからない	44	9.2
4	その他	29	6.1
	未回答・不明	1	0.2
	合計	478	100.0

□神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 478 社の約 27.8%にあたる 133 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 478 社の約 25.3%にあたる 121 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 375 人となり、この採用人数からも電気電子情報工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心に所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	133	27.8
2	2 人以上	121	25.3
3	わからない	126	26.4
4	その他	94	19.7
	未回答・不明	4	0.8
	合計	478	100.0

問 5 神奈川工科大学の電気電子情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	133	133
2	採用したい／2 人	121	242
	合計	254	375

□神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 469 社の約 70.8%にあたる 332 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	332	70.8
2	採用は考えない	28	6.0
3	わからない	77	16.4
4	その他	31	6.6
	未回答・不明	1	0.2
	合計	469	100.0

□神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 469 社の約 21.1%にあたる 99 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 469 社の約 24.9%にあたる 117 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 333 人となり、この採用人数からも情報工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	99	21.1
2	2 人以上	117	24.9
3	わからない	154	32.8
4	その他	90	19.2
	未回答・不明	9	1.9
	合計	469	100.0

問 5 神奈川工科大学の情報工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	99	99
2	採用したい／2 人	117	234
	合計	216	333

□神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 466 社の約 62.0%にあたる 289 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	採用したい	289	62.0
2	採用は考えない	42	9.0
3	わからない	102	21.9
4	その他	31	6.7
	未回答・不明	2	0.4
	合計	466	100.0

□神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 466 社の約 19.1%にあたる 89 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 466 社の約 19.1%にあたる 89 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 267 人となり、この採用人数からも情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心として所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/%
1	1 人	89	19.1
2	2 人以上	89	19.1
3	わからない	172	36.9
4	その他	105	22.5
	未回答・不明	11	2.4
	合計	466	100.0

問 5 神奈川工科大学の情報ネットワーク・コミュニケーション学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数/社	全体/人
1	採用したい/1 人	89	89
2	採用したい/2 人	89	178
	合計	178	267

□神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 464 社の約 52.4%にあたる 243 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	243	52.4
2	採用は考えない	56	12.1
3	わからない	134	28.9
4	その他	28	6.0
	未回答・不明	3	0.6
	合計	464	100.0

□神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 464 社の約 15.5%にあたる 72 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 464 社の約 15.1%にあたる 70 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 212 人となり、この採用人数からも情報メディア学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心に所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	72	15.5
2	2 人以上	70	15.1
3	わからない	203	43.8
4	その他	105	22.6
	未回答・不明	14	3.0
	合計	464	100.0

問 5 神奈川工科大学の情報メディア学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	72	72
2	採用したい／2 人	70	140
	合計	142	212

□神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 461 社の約 53.1%にあたる 245 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	245	53.1
2	採用は考えない	45	9.8
3	わからない	133	28.9
4	その他	36	7.8
	未回答・不明	2	0.4
	合計	461	100.0

□神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 461 社の約 16.1%にあたる 74 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 461 社の約 11.9%にあたる 55 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 184 人となり、この採用人数からも自動車システム開発工学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心として所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	74	16.1
2	2 人以上	55	11.9
3	わからない	214	46.4
4	その他	112	24.3
	未回答・不明	6	1.3
	合計	461	100.0

問 5 神奈川工科大学の自動車システム開発工学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	74	74
2	採用したい／2 人	55	110
	合計	129	184

□神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 465 社の約 68.6%にあたる 319 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	319	68.6
2	採用は考えない	24	5.2
3	わからない	84	18.1
4	その他	36	7.7
	未回答・不明	2	0.4
	合計	465	100.0

□神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 465 社の約 21.9%にあたる 102 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 465 社の約 14.4%にあたる 67 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 236 人となり、この採用人数からもロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心として所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	102	21.9
2	2 人以上	67	14.4
3	わからない	179	38.5
4	その他	109	23.4
	未回答・不明	8	1.7
	合計	465	100.0

問 5 神奈川工科大学のロボット・メカトロニクス学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	102	102
2	採用したい／2 人	67	134
	合計	169	236

□神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 460 社の約 36.7%にあたる 169 社が「採用したい」と回答しており、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用に積極的な意向を示している。

問 4 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	採用したい	169	36.7
2	採用は考えない	93	20.2
3	わからない	128	27.8
4	その他	69	15.0
	未回答・不明	1	0.2
	合計	460	100.0

□神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

神奈川県を中心とした関東エリアに所在する民間企業等に対して、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数について質問したところ、「採用人数 1 人」と回答した民間企業等は、回答件数 460 社の約 14.6%にあたる 67 社、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等は、回答件数 460 社の約 7.4%にあたる 34 社となっている。

なお、「採用人数 2 人以上」と回答した民間企業等の採用人数を 2 人として、これらの採用人数を合計すると 135 人となり、この採用人数からも応用バイオ科学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような神奈川県を中心に所在する民間企業等に限定した調査結果においても、神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については十分な見通しがあると考えられる。

問 5 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／%
1	1 人	67	14.6
2	2 人以上	34	7.4
3	わからない	222	48.3
4	その他	118	25.7
	未回答・不明	19	4.1
	合計	460	100.0

問 5 神奈川工科大学の応用バイオ科学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／社	全体／人
1	採用したい／1 人	67	67
2	採用したい／2 人	34	68
	合計	101	135

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	コヤマ カズミ 小宮 一三 <平成21年4月>		工学博士		神奈川工科大学 学長 (平成21.4)